

平成22年度認知症介護研究・研修仙台センター運営事業費研究事業

認知症介護における初任者養成手法の開発に関する研究

研究事業報告書

平成23年3月

社会福祉法人 東北福祉会
認知症介護研究・研修仙台センター

目 次

認知症介護における初任者養成手法の開発に関する研究

A. 研究目的	1
B. 研究方法	
1. 調査対象者	2
2. 調査方法	2
3. 分析方法	3
C. 結果	
1. 回答者属性	4
2. 認知症介護に関する教育や研修の状況	1 2
3. 自己学習教材の有用性検証	2 4
D. 結論	8 5

巻末資料

1. 付表
2. 調査の流れ
3. 調査票

< 研究組織 >

(敬称略、順不同)

研究協力者

大久保 幸積 (社会福祉法人幸清会 理事長)
保坂 昌知 (社会福祉法人宏友会法人本部 教育研修副部長)
秋田谷 一 (特別養護老人ホーム祥光苑 統括部長)
益岡 賢示 (有限会社プレミアム・ダン 代表取締役)
池田 泉 (社会福祉法人愛誠会 特別養護老人ホーム唐松荘 事務長)
喜井 茂雅 (有限会社スローライフ 代表取締役)
中島 康晴 (特定非営利法人地域の絆 代表理事)

研究事務局

加藤 伸司 (認知症介護研究・研修仙台センター センター長)
阿部 哲也 (認知症介護研究・研修仙台センター 研究・研修部長)
矢吹 知之 (認知症介護研究・研修仙台センター 主任研修研究員)
吉川 悠貴 (認知症介護研究・研修仙台センター 主任研究員)

所属・職名は平成23年3月31日現在

認知症介護における初任者養成手法の開発に関する研究

本研究は、介護初任者の基礎能力の向上を目的とした食事、入浴、排泄に関する認知症介護の自己学習教材（介護チェック表及び解説集）の検証を目的とし 22 か所の介護保険事業所における介護職員 208 名を対象に教材の効果に関する調査を実施した。その結果、本教材によって自分のケアをチェックし、学習することは介護経験 1 年未満者（介護初任者）のアセスメント視点数やケアの選択肢を増加させる効果が認められ、選択肢の増加について本教材の効果が示唆された。また、量的な変化だけでなく、質的な効果については、全 9 場面に共通する効果として、環境への視点や環境へのケアに関する方略が増加し、新たな視点を学習する効果が認められた。一方、介護経験 1 年以上の介護経験者においてもアセスメント視点やケア方略の選択肢を増加させるような学習効果が確認され、本教材の使用による学習効果が介護経験の如何によらず認められた。今後の課題としては、本教材の使用によってアセスメント及びケアに関する具体的な選択肢が増加することが確認されたが、ケア行動の変容に関する検証が必要であろう。

A.研究目的

近年の認知症高齢者の急増に伴い認知症対応型共同生活介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、介護老人福祉施設のユニット化などの例に見られるように、介護事業所の小規模化による個別ケアの推進、生活継続性を考慮した住居形態、地域密着性等、認知症ケアサービスの量的整備は進行している。一方で、事業所の量的拡充に応じた介護人材の確保および養成においては、在宅、施設を問わず介護事業所全体に占める新規学卒者や非正規職員の割合は急増し、初任者の基礎能力の向上と安定化が課題となっている。20010 年 3 月に開催された「第 1 回今後の介護人材養成の在り方に関する検討会」では、今後に向けた介護人材に求められる役割として認知症介護の重要性が掲げられ、さらに介護領域に限らず総体的な労働人口の減少化に対して、新規学卒者や異業種からの人材確保の必要性も指摘されている。これらのことから、介護初任者における認知症介護技術の向上は早急に着手すべき課題であり、認知症介護に特化した初任者養成手法の開発が重要と考えられる。

現在、認知症介護に関する初任者用研修は、介護職員基礎研修や認知症介護養成事業における実践者研修、あるいは自治体、職能団体、学術団体、民間団体等によって開催され、研修方法も講義法、演習法、実習法と多様な教育法によって、知識習得、技術習得が促進されている。一方で、研修で得た知識や技術は、事業所における教育体制や、教育方法上の限界によって職場での活用や継続性が困難であるという課題も指摘されている。人材養成は、OJT、Off-JT、自己学習の適切な組合せによる相互補完的な運用による教育効果が、人材の質を効率的に向上させるといわれている。OJTによる養成は、個別性や応用力が求められる認知症介護の教育において最も有効であるが、組織規模に比例しており、小規模な事業所では指導人材の不足から効果的な運用が困難であることが予測される。これらOJT及びOff-JTの課題を補完しうする方法が自己学習であり、基礎知識や基礎理論の習得効率、主体性、能動性、簡便性といった点で最も学習効果の高い方法である。しかし、学習意欲、継続性、学習教材、学習方法、助言者の質如何により効果は半減し、学習者によって習得内容に格差が生じやすい側面をもっている。以上のことから、介護人材養成上の重点課題はOJTトレーナーの指導内容明確化と、指導方法の向上及び初任者向け自己学習内容の明確化と効果的な学習方法のシステム化である。

他方、認知症介護教育における初任者向けの学習内容は、全国で実施される認知症介護

実践者研修を例にとると「認知症の理解」「心理的理解」「理念構築」「コミュニケーション技法」「リスクマネジメント手法」「生活アセスメント法」「権利擁護」「環境支援法」「地域支援法」「生活支援方法」等、多種多様に渡り、広範囲で高度な知識や技術習得が期待されている。理想の認知症介護人材には多様な知識と高度な技術が必要であるが、全ての能力を短期間で習得し実践する事は困難であり、初任者の基礎能力の安定には多大な時間を要することが予測される。今後、急増する介護人材とりわけ初任者の基礎能力を短期間で効率的に向上するためには、優先的な教育内容を明確化し、効率的な教育方法を開発する必要がある。認知症介護の究極の目的は認知症者の生活安定であり、生活の安定を実現しうる食事、入浴、排泄等の基本的な生活行為に関する介護能力の養成は優先的な課題である。従来より、食事、入浴、排泄に関する三大介護は基本介護技術として定着しているが、認知症者の食事、入浴、排泄に関する介護能力は認知機能の低下を起因としているため、身体介護技術とは異質であり、認知症介護教育において最も、基本的かつ優先的な教育課題である。よって認知症介護教育における重点課題として認知症者の基本的な生活行為である食事、入浴、排泄に関する課題解決力の向上は、認知症介護人材の優先的、基本的能力として早急に着手すべき教育課題である。

当センターでは、認知症者の基本的な生活課題を解決しうるケアのモデル構築を目的に平成 18 年度～20 年度において厚生労働科学研究費補助事業「認知症におけるケアモデルの構築に関する研究」事業を実施し、介護困難度、生起頻度の高い食事、入浴、排泄に関する課題に関するアセスメント視点及び解決方法に関するモデル整理及びモデルをベースとした生活課題別の認知症介護評価指標及び解説集を開発した。これらのツールは初任者用自己学習ツールとしての活用と、教育担当者の指導基準としての活用が期待されるが、特に介護初任者への教育効果についての検証は優先すべき課題である。そこで本研究では、当センターで作製した介護初任者向けの自己学習教材の有用性に関する検証調査を実施し、認知症介護における初任者の自己学習の円滑化及び認知症者の食事、入浴、排泄課題への介護能力の向上に関する養成手法の検討を目的としている。

B. 研究方法

1. 調査対象者

教材開発に協力いただいた研究協力者 7 名が所属する社会福祉法人 7 カ所、計 22 事業所（介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、通所介護事業所）に在籍する調査への協力同意を得られた介護経験 1 年未満 114 名、介護経験 1 年以上 94 名、計 208 名の介護職員を調査対象とした。

2. 調査方法

研究協力者を調査対象事業所の調査担当とし、調査票及び調査手続き書類一式を担当宛に郵送し、担当者を経由して調査対象者への説明、同意、配布及び調査票の郵送回収を依頼した。

1) 調査手続き（巻末資料）

調査方法は、調査対象者を介護経験 1 年未満で介護チェック票使用群（教育介入群）と未使用群（比較群①）、介護経験 1 年以上の職員を介護経験群（比較群②）の 3 群に分類した。教育介入群と介護経験群は指定の生活課題へのケアを実施後、チェック表による介護の自己確認及び解説集による学習をケアの実施毎に行うことを義務づけ、介護経験群とともに調査開始前、開始 10 日後、開始 20 日後の 3 回、ケア及びアセスメントに関する調査票への回答を依頼した。

2) 調査内容（巻末資料）

教育効果に関する調査内容については、記入者属性（年齢、介護経験、所属事業種、資格等）及び認知症介護に関する教育経験を基本項目とし、食事・入浴・排泄

に関する 9 つの生活課題へのアセスメント視点及びケアに関する自由記述式の設問を設け、事前、中間、事後の調査内容は同様のものを使用した。

3) 調査期間

平成 22 年 3 月 1 日～3 月 31 日までの 21 日間

3. 分析方法

回答者の基本属性データについて、連続量について平均値、最小値、最大値、標準偏差を算出し、離散量については、選択項目ごとの度数及び割合を算出し、教育介入及び介護経験による群間比較を行い、集団の特性を把握した。教育効果の分析については、生活課題事例ごとのケア列記数及び視点列記数に関する変化量について、分散分析及び多重比較を実施し群間の比較を行った。教育歴と視点列記数及びケア列記数の相関については相関分析を実施し、教育経験による教育効果への影響について検討した。

(倫理面への配慮)

本研究では、研究協力者である介護職員に対して、個人情報の取り扱いや人権擁護に配慮し、十分なインフォームドコンセントを保証することを最優先し、研究等によって被ることが予測される不利益について説明文書を作成し、調査担当者を経由して説明を実施し、調査票への回答によって同意を得ることとしている。なお、研究者所属機関における定例の研究倫理審査委員会にて研究方法における倫理審査を行い倫理上の承認を得る事を義務づけている。

C. 結果

1. 回答者属性

回収票 181 件の中から、本調査の目的にかなうものとして、3 回ともに回答し、初任者群と介護経験者群を明確に区分できた 156 件（全回収票に対して 86.2%）を分析対象とした。その内訳は、初任者群 57 件（36.5%）、介護経験群 99 件（63.5%）である。

回答者の年齢、性別、学歴、卒業後年数、入職年齢、職務名、資格、勤続年数、介護業務および認知症介護の総経験年数、事業所の種類、事業所開設年数、事業所全体の利用者定員数、所属ユニットのスタッフ数、所属ユニットの利用者定員数について割合を算出した。

（1）年齢

初任者群と介護経験群の年齢はほぼ同様で、平均すると 33 歳前後である。

初任者群では平均 32.1 歳（SD10.3 歳）で、最少 19 歳、最高 54 歳であり、介護経験群では平均 33.5 歳（SD10.9 歳）で、最少 18 歳、最高 58 歳である。（表 1－1 参照）

（表 1－1）年齢

		（平均、分散）				
		有効 回答数	平均 歳	標準偏差 歳	最小値 歳	最大値 歳
合計		155	33.0	10.7	18	58
群別	初任者群小計	57	32.1	10.3	19	54
	初任者チェック表使用群	45	31.1	10.0	19	54
	初任者チェック表未使用群	12	35.8	11.1	20	54
	介護経験群小計	98	33.5	10.9	18	58
	介護経験 1～3 年群	42	28.6	10.0	18	56
	介護経験 4 年以上群	56	37.2	10.1	23	58

（2）性別割合

両群ともに女性が多く、その割合はほぼ似通っており、男性 35% 対女性 65% 前後である。

初任者群では男性が 22 件（38.6%）、女性が 35 件（61.4%）である。介護経験群では男性が 34 件（34.3%）、女性が 65 件（65.7%）である。（表 1－2 参照）

（表 1－2）性別

		【実数】			【比率】			
		有効 回答数	男	女	有効 回答数	男	女	
合計		156	56	100	合計	100.0	35.9	64.1
群別	初任者群小計	57	22	35	群別 初任者群小計	100.0	38.6	61.4
	初任者チェック表使用群	45	16	29	初任者チェック表使用群	100.0	35.6	64.4
	初任者チェック表未使用群	12	6	6	初任者チェック表未使用群	100.0	50.0	50.0
	介護経験群小計	99	34	65	介護経験群小計	100.0	34.3	65.7
	介護経験 1～3 年群	43	20	23	介護経験 1～3 年群	100.0	46.5	53.5
	介護経験 4 年以上群	56	14	42	介護経験 4 年以上群	100.0	25.0	75.0

（3）学歴の割合

両群ともに高校が最も多く 4 割強であるが、初任者群では専門学校（福祉系以外）と大学（福祉系以外）が比較的多く、介護経験群では専門学校（福祉系）が比較的多い、という違いがみられる。

初任者群では高校が 24 件 (42.1%) と最多で、専門学校 (福祉系以外) と大学 (福祉系以外) が各 9 件 (15.8%)、専門学校 (福祉系) が 3 件 (5.3%) である。介護経験群では高校が 44 件 (45.8%) と最多で、専門学校 (福祉系) が 18 件 (18.8%)、専門学校 (福祉系以外) 10 件 (10.4%)、大学 (福祉系以外) 6 件 (6.3%) である。
(表 1－3 参照)

(表 1－3) 学歴

		【実数】								(複数回答)
		有効 回答数	高校	専門学校 (福祉系)	専門学校 (福祉系 以外)	短大 (福 祉系)	短大 (福 祉系以 外)	大学 (福 祉系)	大学 (福 祉系以 外)	その他
合計		153	68	21	19	10	11	9	15	7
群別	初任者群小計	57	24	3	9	3	5	3	9	5
	初任者チェック表使用群	45	18	3	7	3	4	3	6	3
	初任者チェック表未使用群	12	6	0	2	0	1	0	3	2
	介護経験群小計	96	44	18	10	7	6	6	6	2
	介護経験 1～3 年群	43	17	6	6	3	2	4	3	2
	介護経験 4 年以上群	53	27	12	4	4	4	2	3	0
		【比率】								
		有効 回答数	高校	専門学校 (福祉系)	専門学校 (福祉系 以外)	短大 (福 祉系)	短大 (福 祉系以 外)	大学 (福 祉系)	大学 (福 祉系以 外)	その他
合計		100.0	44.4	13.7	12.4	6.5	7.2	5.9	9.8	4.6
群別	初任者群小計	100.0	42.1	5.3	15.8	5.3	8.8	5.3	15.8	8.8
	初任者チェック表使用群	100.0	40.0	6.7	15.6	6.7	8.9	6.7	13.3	6.7
	初任者チェック表未使用群	100.0	50.0	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	25.0	16.7
	介護経験群小計	100.0	45.8	18.8	10.4	7.3	6.3	6.3	6.3	2.1
	介護経験 1～3 年群	100.0	39.5	14.0	14.0	7.0	4.7	9.3	7.0	4.7
	介護経験 4 年以上群	100.0	50.9	22.6	7.5	7.5	7.5	3.8	5.7	0.0

(4) 卒業後年数

両群ともに卒業後年数はほぼ同様で、平均すると 13 年前後である。

初任者群では平均 12.3 年 (SD10.6 年) で、最小 0 年、最大 39 年である。介護経験群では平均 13.6 年 (SD10.9 年) で、最小 1 年、最大 38 年である。(表 1－4 参照)

(表 1－4) 卒業後年数

		(平均、分散)				
		有効 回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			年	年	年	年
合計		150	13.1	10.8	0.0	39.0
群別	初任者群小計	57	12.3	10.6	0.0	39.0
	初任者チェック表使用群	45	11.3	10.4	0.0	39.0
	初任者チェック表未使用群	12	16.2	11.0	1.9	34.0
	介護経験群小計	93	13.6	10.9	1.0	38.0
	介護経験 1～3 年群	41	9.6	10.1	1.0	34.9
	介護経験 4 年以上群	52	16.8	10.6	4.0	38.0

(5) 入職年齢（今の施設）

両群ともに今の施設への入職年齢もほぼ同様で、平均すると 31 歳前後である。

初任者群では平均 31.8 歳（SD10.5 歳）で、最少 18 歳、最高 54 歳である。介護経験群では平均 30.3 歳（SD11.0 歳）で、最少 18 歳、最高 55 歳である。（表 1－5 参照）

（表 1－5）入職年齢（今の施設）

（平均、分散）

		有効 回答数	平均 歳	標準偏差 歳	最小値 歳	最大値 歳
合計		148	30.9	10.8	18	55
群別	初任者群小計	55	31.8	10.5	18	54
	初任者チェック表使用群	43	30.7	10.2	18	53
	初任者チェック表未使用群	12	35.5	11.2	19	54
	介護経験群小計	93	30.3	11.0	18	55
	介護経験 1～3 年群	39	26.7	9.8	18	54
	介護経験 4 年以上群	54	32.9	11.2	18	55

(6) 職務名の割合

両群ともにケアワーカーが圧倒的に多く 7 割強から 8 割強に達するが、それは初任者群でより多い。

初任者群ではケアワーカーが 44 件（81.5%）と際立ち、看護師が 1 件（1.9%）である。介護経験群ではケアワーカーが 69 件（73.4%）と最多で、ケアマネジャーと看護師が各 3 件（3.2%）である。（表 1－6 参照）

(7) 資格の所有割合

初任者群ではヘルパーが 7 割、他の資格が 2 割に満たないのに対し、介護経験群では介護福祉士が 6 割、ヘルパーが 5 割弱であり、両群で大きく異なる。

初任者群ではヘルパーが 36 件（70.6%）と際立ち、介護福祉士が 8 件（15.7%）である。介護経験群では介護福祉士が 53 件（60.9%）と最多で、ヘルパーが 41 件（47.1%）、社会福祉主事が 10 件（11.5%）である。（表 1－7 参照）

(表1-6)職務名

		【実数】					(複数回答)
		有効 回答数	ケアワーカー	ソーシャルワ ーカー(相談員)	ケアマネージャ ー(計画作成担 当者)	看護師	その他
合計		148	113	0	3	4	31
群別	初任者群小計	54	44	0	0	1	10
	初任者チェック表使用群	42	33	0	0	1	9
	初任者チェック表未使用群	12	11	0	0	0	1
	介護経験群小計	94	69	0	3	3	21
	介護経験1～3年群	43	31	0	0	0	12
	介護経験4年以上群	51	38	0	3	3	9

		【比率】					
		有効 回答数	ケアワーカー	ソーシャルワ ーカー(相談員)	ケアマネージャ ー(計画作成担 当者)	看護師	その他
合計		100.0	76.4	0.0	2.0	2.7	20.9
群別	初任者群小計	100.0	81.5	0.0	0.0	1.9	18.5
	初任者チェック表使用群	100.0	78.6	0.0	0.0	2.4	21.4
	初任者チェック表未使用群	100.0	91.7	0.0	0.0	0.0	8.3
	介護経験群小計	100.0	73.4	0.0	3.2	3.2	22.3
	介護経験1～3年群	100.0	72.1	0.0	0.0	0.0	27.9
	介護経験4年以上群	100.0	74.5	0.0	5.9	5.9	17.6

(表1-7)所有資格

		【実数】										(複数回答)
		有効 回答数	看護 師 (准看護 師)	介護福 祉士	社会福 祉士	ケアマネ ージャー	ヘルパ ー	理学療 法士	作業療 法士	栄養士	社会 福 祉主事	その他
合計		138	4	61	3	7	77	0	0	3	13	17
群別	初任者群小計	51	1	8	0	0	36	0	0	2	3	9
	初任者チェック表使用群	39	1	8	0	0	26	0	0	2	3	6
	初任者チェック表未使用群	12	0	0	0	0	10	0	0	0	0	3
	介護経験群小計	87	3	53	3	7	41	0	0	1	10	8
	介護経験1～3年群	36	0	14	1	0	23	0	0	0	6	5
	介護経験4年以上群	51	3	39	2	7	18	0	0	1	4	3

		【比率】										
		有効 回答数	看護 師 (准看護 師)	介護福 祉士	社会福 祉士	ケアマネ ージャー	ヘルパ ー	理学療 法士	作業療 法士	栄養士	社会 福 祉主事	その他
合計		100.0	2.9	44.2	2.2	5.1	55.8	0.0	0.0	2.2	9.4	12.3
群別	初任者群小計	100.0	2.0	15.7	0.0	0.0	70.6	0.0	0.0	3.9	5.9	17.6
	初任者チェック表使用群	100.0	2.6	20.5	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	5.1	7.7	15.4
	初任者チェック表未使用群	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	介護経験群小計	100.0	3.4	60.9	3.4	8.0	47.1	0.0	0.0	1.1	11.5	9.2
	介護経験1～3年群	100.0	0.0	38.9	2.8	0.0	63.9	0.0	0.0	0.0	16.7	13.9
	介護経験4年以上群	100.0	5.9	76.5	3.9	13.7	35.3	0.0	0.0	2.0	7.8	5.9

(8) 勤続年数

現在の施設での勤続年数は、初任者群が平均 0.6 年、介護経験群が平均 3.0 年で 5 倍の格差がある。

初任者群では平均 0.6 年 (SD0.3 年) で、最小 0 年、最大 1 年である。介護経験群では平均 3.0 年 (SD2.7 年) で、最小 0.1 年、最大 11.4 年である。(表 1-8 参照)

(表 1-8)現在の施設での勤続年数

(平均、分散)

		有効 回答数	平均 年	標準偏差 年	最小値 年	最大値 年
合計		156	2.1	2.4	0.0	11.4
群別	初任者群小計	57	0.6	0.3	0.0	1.0
	初任者チェック表使用群	45	0.6	0.3	0.0	1.0
	初任者チェック表未使用群	12	0.5	0.3	0.1	0.9
	介護経験群小計	99	3.0	2.7	0.1	11.4
	介護経験 1～3 年群	43	1.6	1.0	0.1	3.9
	介護経験 4 年以上群	56	4.1	3.0	0.2	11.4

(9) 介護業務の総経験年数

介護業務の総経験年数は、初任者群が平均 0.6 年、介護経験群が平均 4.9 年で約 8 倍の格差がある。

初任者群では平均 0.6 年 (SD0.3 年) で、最小 0 年、最大 0.9 年である。介護経験群では平均 4.9 年 (SD3.5 年) で、最小 0.1 年、最大 17 年である。(表 1-9 参照)

(表 1-9)介護業務の総経験年数

(平均、分散)

		有効 回答数	平均 年	標準偏差 年	最小値 年	最大値 年
合計		156	3.3	3.5	0.0	17.0
群別	初任者群小計	57	0.6	0.3	0.0	0.9
	初任者チェック表使用群	45	0.6	0.4	0.0	0.9
	初任者チェック表未使用群	12	0.5	0.3	0.1	0.9
	介護経験群小計	99	4.9	3.5	1.0	17.0
	介護経験 1～3 年群	43	2.0	1.0	1.0	3.9
	介護経験 4 年以上群	56	7.2	3.0	4.0	17.0

(10) 認知症介護の総経験年数

認知症介護の総経験年数は、初任者群が平均 0.6 年、介護経験群が平均 4.3 年で約 7 倍の格差がある。

初任者群では平均 0.6 年 (SD0.3 年) で、最小 0 年、最大 0.9 年である。介護経験群では平均 4.3 年 (SD3.0 年) で、最小 0 年、最大 17 年である。(表 1-10 参照)

(表 1-10) 認知症介護の総経験年数

(平均、分散)

		有効 回答数	平均 年	標準偏差 年	最小値 年	最大値 年
合計		147	2.9	3.0	0.0	17.0
群別	初任者群小計	56	0.6	0.3	0.0	0.9
	初任者チェック表使用群	44	0.6	0.4	0.0	0.9
	初任者チェック表未使用群	12	0.5	0.3	0.1	0.9
	介護経験群小計	91	4.3	3.0	0.0	17.0
	介護経験 1～3 年群	42	1.9	1.0	0.6	3.9
	介護経験 4 年以上群	49	6.3	2.6	0.0	17.0

(11) 所属事業種の割合

所属している事業所の種類では、両群ともに介護老人福祉施設 (ユニット型)、介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護事業所の 3 種が 2 割から 3 割程度であるが、介護経験群で介護老人福祉施設がより多い。

初任者群では介護老人福祉施設 (ユニット型) が 19 件 (33.9%)、認知症対応型共同生活介護事業所が 15 件 (26.8%)、介護老人福祉施設が 11 件 (19.6%) である。介護経験群では介護老人福祉施設 (ユニット型) が 34 件 (36.2%)、介護老人福祉施設が 29 件 (30.9%)、認知症対応型共同生活介護事業所が 19 件 (20.2%) である。(表 1-11 参照)

(12) 所属事業所の開設年数

所属している事業所の開設年数は両群ともに似通っており、平均すると 15 年前後である。

初任者群では平均 14.4 年 (SD12.4 年) で、最小 0.3 年、最大 36.8 年である。介護経験群では平均 16.9 年 (SD12.2 年) で、最小 0.3 年、最大 37.3 年である。(表 1-12 参照)

(13) 所属事業所全体の利用者定員

所属している事業所全体の利用者定員数は両群ともに似通っており、平均すると 70 名前後である。

初任者群では平均 69.1 名 (SD43.6 名) で、最小 9 名、最大 141 名である。介護経験群では平均 72.6 名 (SD44.9 名) で、最小 9 名、最大 141 名である。(表 1-13 参照)

(14) 所属ユニットやフロアの常勤スタッフ数と非常勤スタッフ数

所属しているユニットやフロアの常勤スタッフ数は平均 7.8 名～10.0 名で、初任者群でやや少ない。

初任者群では平均 7.8 名 (SD4.7 名) で、最小 2 名、最大 25 名である。介護経験群では平均 10.0 名 (SD5.9 名) で、最小 3 名、最大 25 名である。(表 1-14 参照)
同非常勤スタッフ数は両群ほぼ同じで、平均すると 2 名強である。

初任者群では平均 2.2 名 (SD2.2 名) で、最小 0 名、最大 7 名である。介護経験群では平均 2.4 名 (SD2.5 名) で、最小 0 名、最大 10 名である。(表 1-14 参照)

(15) 所属ユニットやフロアの利用者定員数

所属しているユニットやフロアの利用者定員数は両群ともに似通っており、平均すると 23 名前後である。

初任者群では平均 22.3 名 (SD20.9 名) で、最小 9 名、最大 120 名である。介護経験群では平均 24.1 名 (SD17.9 名) で、最小 9 名、最大 100 名である。(表 1-15 参照)

(表 1-11) 所属事業所の種類

		【実数】						
		有効 回答数	介護老人 福祉施設	介護老人 福祉施設 (ユニット 型)	認知症対 応型共同 生活介護 事業所	小規模多 機能型居 宅介護事 業所	通所介護	その他
合計		150	40	53	34	10	7	6
群別	初任者群小計	56	11	19	15	4	5	2
	初任者チェック表使用群	44	11	14	13	3	2	1
	初任者チェック表未使用群	12	0	5	2	1	3	1
	介護経験群小計	94	29	34	19	6	2	4
	介護経験1～3年群	42	17	17	3	2	0	3
	介護経験4年以上群	52	12	17	16	4	2	1
		【比率】						
		有効 回答数	介護老人 福祉施設	介護老人 福祉施設 (ユニット 型)	認知症対 応型共同 生活介護 事業所	小規模多 機能型居 宅介護事 業所	通所介護	その他
合計		100.0	26.7	35.3	22.7	6.7	4.7	4.0
群別	初任者群小計	100.0	19.6	33.9	26.8	7.1	8.9	3.6
	初任者チェック表使用群	100.0	25.0	31.8	29.5	6.8	4.5	2.3
	初任者チェック表未使用群	100.0	0.0	41.7	16.7	8.3	25.0	8.3
	介護経験群小計	100.0	30.9	36.2	20.2	6.4	2.1	4.3
	介護経験1～3年群	100.0	40.5	40.5	7.1	4.8	0.0	7.1
	介護経験4年以上群	100.0	23.1	32.7	30.8	7.7	3.8	1.9

(表 1-12) 所属事業所の開設年数

		(平均、分散)				
		有効回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			年	年	年	年
合計		135	15.9	12.3	0.3	37.3
群別	初任者群小計	51	14.4	12.4	0.3	36.8
	初任者チェック表使用群	41	14.1	12.2	0.3	36.8
	初任者チェック表未使用群	10	15.5	14.1	2.7	36.3
	介護経験群小計	84	16.9	12.2	0.3	37.3
	介護経験1～3年群	36	21.3	11.8	1.5	37.3
	介護経験4年以上群	48	13.5	11.4	0.3	36.0

(表1-13) 所属事業所全体の利用者定員

(平均、分散)

		有効回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			名	名	名	名
合計		141	71.3	44.3	9	141
群別	初任者群小計	51	69.1	43.6	9	141
	初任者チェック表使用群	41	71.6	42.5	9	141
	初任者チェック表未使用群	10	58.8	49.2	9	141
	介護経験群小計	90	72.6	44.9	9	141
	介護経験1～3年群	39	80.4	39.1	9	141
	介護経験4年以上群	51	66.6	48.4	9	141

(表1-14) 所属ユニットやフロアの常勤スタッフ数と非常勤スタッフ数

【常勤】

(平均、分散)

		有効回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			名	名	名	名
合計		145	9.2	5.6	2	25
群別	初任者群小計	53	7.8	4.7	2	25
	初任者チェック表使用群	41	8.7	4.9	4	25
	初任者チェック表未使用群	12	4.8	1.2	2	7
	介護経験群小計	92	10.0	5.9	3	25
	介護経験1～3年群	40	9.9	5.3	3	25
	介護経験4年以上群	52	10.0	6.4	4	25

【非常勤】

(平均、分散)

		有効回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			名	名	名	名
合計		107	2.3	2.4	0	10
群別	初任者群小計	40	2.2	2.2	0	7
	初任者チェック表使用群	31	1.8	1.8	0	5
	初任者チェック表未使用群	9	3.4	2.8	0	7
	介護経験群小計	67	2.4	2.5	0	10
	介護経験1～3年群	31	2.5	2.3	0	8
	介護経験4年以上群	36	2.4	2.7	0	10

(表1-15) 所属ユニットやフロアの利用者定員数

(平均、分散)

		有効回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			名	名	名	名
合計		150	23.4	19.0	9	120
群別	初任者群小計	55	22.3	20.9	9	120
	初任者チェック表使用群	43	22.2	21.5	9	120
	初任者チェック表未使用群	12	23.0	19.9	9	70
	介護経験群小計	95	24.1	17.9	9	100
	介護経験1～3年群	41	23.8	14.1	9	60
	介護経験4年以上群	54	24.3	20.4	9	100

2. 認知症介護に関する教育や研修の状況

(1) 現在所属事業所以外での認知症に関する研修や講義の受講経験

“学校で学んだことがある”が最も多く、初任者群の 43.9%、介護経験群の 50.6% がこれをあげている。

“他の事業所の事業所内研修で学んだことがある”（初任者群で 19.5%、介護経験群で 31.2%），“地域で行っている認知症の講演会やセミナーに参加したことがある”（初任者群で 9.8%、介護経験群で 28.6%），“民間が行っている認知症の研修に参加したことがある”（初任者群で 2.4%、介護経験群で 14.3%）など学校外での教育研修経験が初任者群は介護経験群よりかなり少ない。（表 2－1 参照）

（表 2－1）現在所属事業所以外での認知症に関する研修や講義の受講経験

		【実数】					（複数回答）
		有効 回答数	学校（高校、専門 学校、短大、大 学）で学んだこと がある	他の事業所の事 業所内研修で学 んだことがある	地域で行っている 認知症の講演会 やセミナーに参加 したことがある	民間が行ってい る認知症の研修 に参加したことが ある	その他
合計		118	57	32	26	12	21
群別	初任者群小計	41	18	8	4	1	13
	初任者チェック表使用群	30	16	7	3	0	7
	初任者チェック表未使用群	11	2	1	1	1	6
	介護経験群小計	77	39	24	22	11	8
	介護経験 1～3 年群	32	19	10	5	2	1
	介護経験 4 年以上群	45	20	14	17	9	7
		【比率】					
		有効 回答数	学校（高校、専門 学校、短大、大 学）で学んだこと がある	他の事業所の事 業所内研修で学 んだことがある	地域で行っている 認知症の講演会 やセミナーに参加 したことがある	民間が行ってい る認知症の研修 に参加したことが ある	その他
合計		100.0	48.3	27.1	22.0	10.2	17.8
群別	初任者群小計	100.0	43.9	19.5	9.8	2.4	31.7
	初任者チェック表使用群	100.0	53.3	23.3	10.0	0.0	23.3
	初任者チェック表未使用群	100.0	18.2	9.1	9.1	9.1	54.5
	介護経験群小計	100.0	50.6	31.2	28.6	14.3	10.4
	介護経験 1～3 年群	100.0	59.4	31.3	15.6	6.3	3.1
	介護経験 4 年以上群	100.0	44.4	31.1	37.8	20.0	15.6

(2) 所属事業所内の研修会頻度

所属する事業所内で行われる研修会の頻度は初任者群と介護経験群でほぼ同じくらいである。

“毎月行われている”（初任者群で 34.8%、介護経験群で 38.4%）が両群ともに最も多く、“月に数回、頻繁に行われている”（初任者群で 15.2%、介護経験群で 23.3%）を合わせると両群ともに半数以上が月に 1 回以上行われている。反面、“たまに不定期で行われている”（初任者で 19.6%、介護経験群で 12.8%）ところもあり、事業所格差がみられる。（表 2－2 参照）

(3) 平成平成 22 年度 1 年間の事業所内研修会の回数（参加していないものも含む）

所属する事業所内で 1 年間に行われた認知症に関する研修会は、初任者群で平均 4.6 回（SD5.6 回）、介護経験群で平均 5.9 回（SD7.9 回）である。

全ての研修会は、初任者群で平均 53.6 回（SD96.7 回）、介護経験群で平均 34.3 回（SD57.5 回）と初任者群に多いが、両群ともに分散が大きく事業所による格差が垣間見られる。（表 2－3 参照）

(表2-2) 所属事業所内の研修会頻度

【実数】

		有効 回答数	全く行 われてい ない	たまに不 定期で 行われて いる	年に1回 行われて いる	年に2回 行われて いる	年に3回 行われて いる	年に4回 行われて いる	2ヶ月に 一回行 われて いる	毎月行 われて いる	月に数 回、頻 繁に行 われて いる
合計		132	1	20	1	11	9	3	11	49	27
群別	初任者群小計	46	0	9	0	3	4	2	5	16	7
	初任者チェック表使用群	35	0	6	0	3	4	2	2	12	6
	初任者チェック表未使用群	11	0	3	0	0	0	0	3	4	1
	介護経験群小計	86	1	11	1	8	5	1	6	33	20
	介護経験1～3年群	39	1	5	1	4	4	1	0	13	10
	介護経験4年以上群	47	0	6	0	4	1	0	6	20	10

【比率】

		有効 回答数	全く行 われてい ない	たまに不 定期で 行われて いる	年に1回 行われて いる	年に2回 行われて いる	年に3回 行われて いる	年に4回 行われて いる	2ヶ月に 一回行 われて いる	毎月行 われて いる	月に数 回、頻 繁に行 われて いる
合計		100.0	0.8	15.2	0.8	8.3	6.8	2.3	8.3	37.1	20.5
群別	初任者群小計	100.0	0.0	19.6	0.0	6.5	8.7	4.3	10.9	34.8	15.2
	初任者チェック表使用群	100.0	0.0	17.1	0.0	8.6	11.4	5.7	5.7	34.3	17.1
	初任者チェック表未使用群	100.0	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	36.4	9.1
	介護経験群小計	100.0	1.2	12.8	1.2	9.3	5.8	1.2	7.0	38.4	23.3
	介護経験1～3年群	100.0	2.6	12.8	2.6	10.3	10.3	2.6	0.0	33.3	25.6
	介護経験4年以上群	100.0	0.0	12.8	0.0	8.5	2.1	0.0	12.8	42.6	21.3

(表2-3) 平成22年度1年間の事業所内研修会の回数(参加していないものも含む)

【認知症研修】

(平均、分散)

		有効 回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			回	回	回	回
合計		119	5.5	7.2	0	51
群別	初任者群小計	40	4.6	5.6	0	18
	初任者チェック表使用群	31	4.8	5.8	0	18
	初任者チェック表未使用群	9	3.8	4.7	1	12
	介護経験群小計	79	5.9	7.9	0	51
	介護経験1～3年群	38	7.0	7.3	1	29
	介護経験4年以上群	41	5.0	8.4	0	51

【全ての研修】

(平均、分散)

		有効 回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			回	回	回	回
合計		119	40.8	73.2	0	300
群別	初任者群小計	40	53.6	96.7	1	300
	初任者チェック表使用群	31	64.9	106.8	1	300
	初任者チェック表未使用群	9	14.4	24.9	1	80
	介護経験群小計	79	34.3	57.5	0	300
	介護経験1～3年群	38	45.8	78.2	1	300
	介護経験4年以上群	41	23.7	23.5	0	96

(4) 事業所内研修会で参加した回数（過去の研修会を含む）

所属する事業所内で行われた認知症に関する研修会の参加回数は、初任者群で平均 2.1 回（SD2.8 回）、介護経験群で平均 4.2 回（SD6.2 回）であり、両群で 2 倍の格差がある。

全ての研修会の参加回数は、初任者群で平均 5.7 回（SD10.6 回）、介護経験群で平均 13.8 回（SD20.7 回）であり、両群で 2.4 倍の格差がある。（表 2－4 参照）

（表 2－4）事業所内研修会で参加した回数（過去の研修を含む）

【認知症研修】		（平均、分散）				
		有効 回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			回	回	回	回
合計		124	3.4	5.3	0	30
群別	初任者群小計	45	2.1	2.8	0	12
	初任者チェック表使用群	33	2.2	3.1	0	12
	初任者チェック表未使用群	12	1.6	1.6	0	6
	介護経験群小計	79	4.2	6.2	0	30
	介護経験1～3年群	36	2.9	3.8	0	13
	介護経験4年以上群	43	5.3	7.5	0	30

【全ての研修】		（平均、分散）				
		有効 回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			回	回	回	回
合計		117	10.6	17.8	0	120
群別	初任者群小計	46	5.7	10.6	0	70
	初任者チェック表使用群	34	6.1	12.0	0	70
	初任者チェック表未使用群	12	4.6	5.5	1	20
	介護経験群小計	71	13.8	20.7	0	120
	介護経験1～3年群	32	13.0	19.0	0	70
	介護経験4年以上群	39	14.6	22.1	0	120

(5) 事業所内の認知症研修会で参加した内容

所属する事業所内で行われた認知症に関する研修会で参加した内容は、“認知症の基礎知識”が最も多く、初任者群で 73.9%、介護経験群で 82.9% である。それ以外の内容では介護経験群に対する初任者群の少なさが多くの項目でみられ、その格差が大きいものをあげると次のとおりである。

“認知症高齢者の心理”（介護経験群に対して初任者群の割合が－29.7%）、“コミュニケーション”（同、－15.3%）、“介護家族の理解”（同、－16.8%）、“環境づくり”（同、－19.4%）、“ケアマネジメント”（同、－18.9%）、“地域支援”（同、－18.0%）、“サービスや資源の理解”（同、－15.4%）などである。（表 2－5 参照）

(表2-5)事業所内の認知症研修会で参加した内容

【実数】

(複数回答)

		有効 回答数	認知症 の基礎 知識	認知症 高齢者 の心理	認知症 に関する 法制度	介護家 族の理 解	認知症 の介護 理念	認知症 高齢者 の生活 支援	コミュニ ケーショ ン	BPSD の対応	三大 介護の 方法	リスクマ ネジメン ト
合計		122	97	65	33	34	47	38	62	38	20	52
群別	初任者群小計	46	34	16	9	8	15	11	19	9	3	14
	初任者チェック表使用群	36	27	10	8	5	10	8	13	9	3	13
	初任者チェック表未使用群	10	7	6	1	3	5	3	6	0	0	1
	介護経験群小計	76	63	49	24	26	32	27	43	29	17	38
	介護経験1～3年群	33	29	22	11	9	13	8	21	10	9	16
	介護経験4年以上群	43	34	27	13	17	19	19	22	19	8	22

		環境づく り	ケアマネ ジメント	パーソン センター ドケア	地域支 援	サービス や資源 の理解	センター 方式	ひもとき シート	パリデー ションセ ラピー	その他
合計		28	25	16	19	17	14	11	4	5
群別	初任者群小計	5	4	4	2	2	1	4	0	4
	初任者チェック表使用群	2	3	4	1	1	1	4	0	1
	初任者チェック表未使用群	3	1	0	1	1	0	0	0	3
	介護経験群小計	23	21	12	17	15	13	7	4	1
	介護経験1～3年群	10	9	2	6	4	4	3	2	0
	介護経験4年以上群	13	12	10	11	11	9	4	2	1

【比率】

		有効 回答数	認知症 の基礎 知識	認知症 高齢者 の心理	認知症 に関する 法制度	介護家 族の理 解	認知症 の介護 理念	認知症 高齢者 の生活 支援	コミュニ ケーショ ン	BPSD の対応	三大 介護の 方法	リスクマ ネジメン ト
合計		100.0	79.5	53.3	27.0	27.9	38.5	31.1	50.8	31.1	16.4	42.6
群別	初任者群小計	100.0	73.9	34.8	19.6	17.4	32.6	23.9	41.3	19.6	6.5	30.4
	初任者チェック表使用群	100.0	75.0	27.8	22.2	13.9	27.8	22.2	36.1	25.0	8.3	36.1
	初任者チェック表未使用群	100.0	70.0	60.0	10.0	30.0	50.0	30.0	60.0	0.0	0.0	10.0
	介護経験群小計	100.0	82.9	64.5	31.6	34.2	42.1	35.5	56.6	38.2	22.4	50.0
	介護経験1～3年群	100.0	87.9	66.7	33.3	27.3	39.4	24.2	63.6	30.3	27.3	48.5
	介護経験4年以上群	100.0	79.1	62.8	30.2	39.5	44.2	44.2	51.2	44.2	18.6	51.2

		環境づく り	ケアマネ ジメント	パーソン センター ドケア	地域支 援	サービス や資源 の理解	センター 方式	ひもとき シート	パリデー ションセ ラピー	その他
合計		23.0	20.5	13.1	15.6	13.9	11.5	9.0	3.3	4.1
群別	初任者群小計	10.9	8.7	8.7	4.3	4.3	2.2	8.7	0.0	8.7
	初任者チェック表使用群	5.6	8.3	11.1	2.8	2.8	2.8	11.1	0.0	2.8
	初任者チェック表未使用群	30.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0
	介護経験群小計	30.3	27.6	15.8	22.4	19.7	17.1	9.2	5.3	1.3
	介護経験1～3年群	30.3	27.3	6.1	18.2	12.1	12.1	9.1	6.1	0.0
	介護経験4年以上群	30.2	27.9	23.3	25.6	25.6	20.9	9.3	4.7	2.3

(6) 現事業所に勤務後、事業所外研修会に参加した回数

所属する事業所に勤務後、事業所外で行われた認知症に関する研修会の参加回数は、初任者群で平均 0.5 回（SD0.9 回）、介護経験群で平均 1.3 回（SD1.8 回）であり、両群で 2.6 倍の格差がある。

全ての研修会の参加回数は、初任者群で平均 0.6 回（SD1.1 回）、介護経験群で平均 2.6 回（SD3.2 回）であり、両群で 4.3 倍の格差がある。（表 2－6 参照）

（表2－6）現事業所に勤務後、事業所外研修会に参加した回数

【認知症研修】		（平均、分散）				
		有効 回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			回	回	回	回
合計		117	1.0	1.6	0	10
群別	初任者群小計	45	0.5	0.9	0	5
	初任者チェック表使用群	36	0.5	1.0	0	5
	初任者チェック表未使用群	9	0.6	0.7	0	2
	介護経験群小計	72	1.3	1.8	0	10
	介護経験1～3年群	34	0.8	0.9	0	4
	介護経験4年以上群	38	1.8	2.2	0	10
【全ての研修】		（平均、分散）				
		有効 回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
			回	回	回	回
合計		117	1.8	2.7	0	15
群別	初任者群小計	46	0.6	1.1	0	6
	初任者チェック表使用群	36	0.6	1.2	0	6
	初任者チェック表未使用群	10	0.4	0.5	0	1
	介護経験群小計	71	2.6	3.2	0	15
	介護経験1～3年群	32	1.1	1.2	0	4
	介護経験4年以上群	39	3.8	3.7	0	15

（7）事業所外の認知症研修会で参加した内容

事業所外で行われた認知症に関する研修会で参加した内容は、“認知症の基礎知識”が最も多く、初任者群で 60.9%、介護経験群で 75.0%である。それ以外の内容では介護経験群に対する初任者群の少なさが多くの項目でみられ、その格差が大きいものをあげると次のとおりである。

“BPSDの対応”（介護経験群に対して初任者群の割合が－31.4%）、“認知症介護実践者研修”（同、－27.8%）、“コミュニケーション”（同、－25.7%）、“認知症高齢者の心理”（同、－24.1%）、“リスクマネジメント”（同、－19.9%）、“三介護の方法”（同、－18.9%）、“サービスや資源の理解”（同、－17.9%）、“環境づくり”（同、－15.5%）などである。（表 2－7 参照）

(表2-7)事業所外の認知症研修会で参加した内容

【実数】

(複数回答)

		有効 回答数	認知症 の基礎 知識	認知症 高齢者 の心理	認知症 に関する 法制度	介護家 族の理 解	認知症 介護の 理念	認知症 高齢者 の生活 支援	コミュニ ケーショ ン	BPSD の対応	三大介 護の方 法	リスクマ ネジメン ト	環境づ くり
合計		79	56	41	20	29	30	27	35	21	14	18	19
群別	初任者群小計	23	14	8	4	7	7	6	6	1	1	2	3
	初任者チェック表使用群	18	12	7	3	5	6	5	6	0	1	2	1
	初任者チェック表未使用群	5	2	1	1	2	1	1	0	1	0	0	2
	介護経験群小計	56	42	33	16	22	23	21	29	20	13	16	16
	介護経験1～3年群	22	19	11	4	7	6	6	12	6	5	4	4
	介護経験4年以上群	34	23	22	12	15	17	15	17	14	8	12	12

		ケアマネ ジメント	パーソン センター ードケ ア	地域支 援	サービ スや資 源の理 解	センタ ー方式	ひもと きシ ート	バリデ ーション セラピ ー	タクティ ーケ ールケ ア	認知症 介護実 践者研 修	認知症 介護実 践リー ダー研 修	その他
合計		15	9	14	10	13	4	0	3	19	1	9
群別	初任者群小計	2	1	3	0	2	0	0	0	1	0	5
	初任者チェック表使用群	2	1	3	0	2	0	0	0	1	0	3
	初任者チェック表未使用群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	介護経験群小計	13	8	11	10	11	4	0	3	18	1	4
	介護経験1～3年群	4	0	2	3	0	0	0	2	1	0	2
	介護経験4年以上群	9	8	9	7	11	4	0	1	17	1	2

【比率】

		有効 回答数	認知症 の基礎 知識	認知症 高齢者 の心理	認知症 に関する 法制度	介護家 族の理 解	認知症 介護の 理念	認知症 高齢者 の生活 支援	コミュニ ケーショ ン	BPSD の対応	三大介 護の方 法	リスクマ ネジメン ト	環境づ くり
合計		100.0	70.9	51.9	25.3	36.7	38.0	34.2	44.3	26.6	17.7	22.8	24.1
群別	初任者群小計	100.0	60.9	34.8	17.4	30.4	30.4	26.1	26.1	4.3	4.3	8.7	13.0
	初任者チェック表使用群	100.0	66.7	38.9	16.7	27.8	33.3	27.8	33.3	0.0	5.6	11.1	5.6
	初任者チェック表未使用群	100.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0
	介護経験群小計	100.0	75.0	58.9	28.6	39.3	41.1	37.5	51.8	35.7	23.2	28.6	28.6
	介護経験1～3年群	100.0	86.4	50.0	18.2	31.8	27.3	27.3	54.5	27.3	22.7	18.2	18.2
	介護経験4年以上群	100.0	67.6	64.7	35.3	44.1	50.0	44.1	50.0	41.2	23.5	35.3	35.3

		ケアマネ ジメント	パーソン センター ードケ ア	地域支 援	サービ スや資 源の理 解	センタ ー方式	ひもと きシ ート	バリデ ーション セラピ ー	タクティ ーケ ールケ ア	認知症 介護実 践者研 修	認知症 介護実 践リー ダー研 修	その他
合計		19.0	11.4	17.7	12.7	16.5	5.1	0.0	3.8	24.1	1.3	11.4
群別	初任者群小計	8.7	4.3	13.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	21.7
	初任者チェック表使用群	11.1	5.6	16.7	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	16.7
	初任者チェック表未使用群	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	介護経験群小計	23.2	14.3	19.6	17.9	19.6	7.1	0.0	5.4	32.1	1.8	7.1
	介護経験1～3年群	18.2	0.0	9.1	13.6	0.0	0.0	0.0	9.1	4.5	0.0	9.1
	介護経験4年以上群	26.5	23.5	26.5	20.6	32.4	11.8	0.0	2.9	50.0	2.9	5.9

(8) 認知症介護についての職場の先輩やリーダーの指導方法

認知症介護についての職場の先輩やリーダーの指導は、“質問をすればアドバイスしてくれる”(初任者群で85.7%、介護経験群で80.6%)と、“業務中に、適時、指導や助言をしてくれる”(初任者群で85.7%、介護経験群で70.4%)が圧倒的に多く、OJT中心の指導となっている。

そのOJT2項目を大きく下回る割合で“ケアカンファレンスや会議の時に指導や助言をしてくれる”(初任者群で37.5%、介護経験群で36.7%)、“時間を決めて定期的に、相談したり、指導してくれる機会がある”(初任者群で12.5%、介護経験群で9.2%)などがあがっている。(表2-8参照)

(表2-8)認知症介護についての職場の先輩やリーダーの指導方法

		【実数】					(複数回答)			
		有効回答数	特 に 助 言 を す れ ば い い	質 問 を す れ ば ア ド バ イ ス し て く れ る	業 務 中 に 、 適 時 、 指 導 や 助 言 を し て く れ る	ケ ア カ ン フ ァ レ ン ス や 会 議 の 時 に 指 導 や 助 言 を し て く れ る	時 間 を 決 め て 定 期 的 に 、 相 談 し た り 、 指 導 し て く れ る 機 会 が あ る	教 育 や 指 導 の 担 当 者 が い る と き に 相 談 で き る	マン ツ ー の 指 導 担 当 者 が い る	そ の 他
合計		154	0	127	117	57	16	15	7	1
群別	初任者群小計	56	0	48	48	21	7	4	4	0
	初任者チェック表使用群	45	0	38	38	16	3	2	2	0
	初任者チェック表未使用群	11	0	10	10	5	4	2	2	0
	介護経験群小計	98	0	79	69	36	9	11	3	1
	介護経験1～3年群	43	0	37	31	11	3	5	2	0
	介護経験4年以上群	55	0	42	38	25	6	6	1	1
		【比率】								
		有効回答数	特 に 助 言 を す れ ば い い	質 問 を す れ ば ア ド バ イ ス し て く れ る	業 務 中 に 、 適 時 、 指 導 や 助 言 を し て く れ る	ケ ア カ ン フ ァ レ ン ス や 会 議 の 時 に 指 導 や 助 言 を し て く れ る	時 間 を 決 め て 定 期 的 に 、 相 談 し た り 、 指 導 し て く れ る 機 会 が あ る	教 育 や 指 導 の 担 当 者 が い る と き に 相 談 で き る	マン ツ ー の 指 導 担 当 者 が い る	そ の 他
合計		100.0	0.0	82.5	76.0	37.0	10.4	9.7	4.5	0.6
群別	初任者群小計	100.0	0.0	85.7	85.7	37.5	12.5	7.1	7.1	0.0
	初任者チェック表使用群	100.0	0.0	84.4	84.4	35.6	6.7	4.4	4.4	0.0
	初任者チェック表未使用群	100.0	0.0	90.9	90.9	45.5	36.4	18.2	18.2	0.0
	介護経験群小計	100.0	0.0	80.6	70.4	36.7	9.2	11.2	3.1	1.0
	介護経験1～3年群	100.0	0.0	86.0	72.1	25.6	7.0	11.6	4.7	0.0
	介護経験4年以上群	100.0	0.0	76.4	69.1	45.5	10.9	10.9	1.8	1.8

(9) 先輩やリーダーの指導への満足度

職場の先輩やリーダーの指導に対して満足している割合が多く、“とても満足”(初任者群で57.1%、介護経験群で34.0%)、“まあまあ満足している”(初任者群で33.9%、介護経験群で41.2%)で、“やや不満”と“不満”を両群ともに大きく上回っている。

他方“どちらともいえない”が初任者群で7.1%、介護経験群で20.6%みられ、介護経験群では満足度がやや低い。(表2-9参照)

(表2-9)先輩やリーダーの指導への満足度

【実数】

		有効 回答数	とても満 足	まあまあ 満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
合計		153	65	59	24	5	0
群別	初任者群小計	56	32	19	4	1	0
	初任者チェック表使用群	44	26	15	2	1	0
	初任者チェック表未使用群	12	6	4	2	0	0
	介護経験群小計	97	33	40	20	4	0
	介護経験1～3年群	43	19	20	4	0	0
	介護経験4年以上群	54	14	20	16	4	0

【比率】

		有効 回答数	とても満 足	まあまあ 満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
合計		100.0	42.5	38.6	15.7	3.3	0.0
群別	初任者群小計	100.0	57.1	33.9	7.1	1.8	0.0
	初任者チェック表使用群	100.0	59.1	34.1	4.5	2.3	0.0
	初任者チェック表未使用群	100.0	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	介護経験群小計	100.0	34.0	41.2	20.6	4.1	0.0
	介護経験1～3年群	100.0	44.2	46.5	9.3	0.0	0.0
	介護経験4年以上群	100.0	25.9	37.0	29.6	7.4	0.0

(10) 認知症や介護についての自己学習

認知症や介護についての勉強は、“本や書籍、雑誌、映像教材等を利用して勉強している”（初任者群で 85.7%、介護経験群で 80.6%）と、“個人で、勉強会や研修会に参加するようにしている”（初任者群で 85.7%、介護経験群で 70.4%）の 2 項目が圧倒的に多く、初任者群では勉強会や研修会への個人参加が介護経験群を上回っている。（表 2－10 参照）

（表2－10）認知症や介護についての自己学習

		【実数】		(複数回答)			
		有効回答数	自分では特に勉強していない	本や書籍、雑誌、映像教材等を利用して勉強している	個人で、勉強会や研修会に参加するようにしている	先輩のケアやケアプランを見ながら勉強している	その他
合計		154	0	127	117	57	16
群別	初任者群小計	56	0	48	48	21	7
	初任者チェック表使用群	45	0	38	38	16	3
	初任者チェック表未使用群	11	0	10	10	5	4
	介護経験群小計	98	0	79	69	36	9
	介護経験1～3年群	43	0	37	31	11	3
	介護経験4年以上群	55	0	42	38	25	6
		【比率】					
		有効回答数	自分では特に勉強していない	本や書籍、雑誌、映像教材等を利用して勉強している	個人で、勉強会や研修会に参加するようにしている	先輩のケアやケアプランを見ながら勉強している	その他
合計		100.0	0.0	82.5	76.0	37.0	10.4
群別	初任者群小計	100.0	0.0	85.7	85.7	37.5	12.5
	初任者チェック表使用群	100.0	0.0	84.4	84.4	35.6	6.7
	初任者チェック表未使用群	100.0	0.0	90.9	90.9	45.5	36.4
	介護経験群小計	100.0	0.0	80.6	70.4	36.7	9.2
	介護経験1～3年群	100.0	0.0	86.0	72.1	25.6	7.0
	介護経験4年以上群	100.0	0.0	76.4	69.1	45.5	10.9

(11) 認知症についての自己学習の内容

認知症について自分で勉強する時の内容は、“認知症高齢者の心理”（初任者群で 72.5%、介護経験群で 64.2%）、“コミュニケーション”（初任者群で 54.9%、介護経験群で 58.0%）、“認知症に関する法制度”（初任者群で 58.8%、介護経験群で 51.9%）、“認知症の基礎知識”（初任者群で 51.0%、介護経験群で 37.0%）などが多くあがっている。

初任者群と介護経験群で 10%以上の差があるものとして、“認知症の基礎知識”（初任者群が介護経験群を 13.9%上回る）と、“BPSDの対応”（初任者群が介護経験群を 12.9%下回る）があげられる。（表 2－11 参照）

(12) 認知症介護について今まで最も役に立った教材や方法

認知症介護について今まで最も役立った教材や方法としては、“本”（初任者群で 50.0%、介護経験群で 53.8%）と“研修会、勉強会”（初任者群で 46.9%、介護経験群で 46.2%）が主体である。また、数値こそ大きくはないが、“映像教材”（初任者群で 6.3%、介護経験群で 15.4%）と“雑誌”（初任者群で 3.1%、介護経験群で 11.5%）が介護経験群で初任者群を上回っている。（表 2－12 参照）

(表2-11)認知症についての自己学習の内容

【実数】

(複数回答)

		有効 回答数	認知症 の基礎 知識	認知症 高齢者 の心理	認知症 に関する 法制度	介護家 族の理 解	認知症 介護の 理念	認知症 高齢者 の生活 支援	コミュニ ケーシ ョン	BPSD の対応	三大介 護の方 法	リスク マネジ メント	環境づ くり
合計		132	56	89	72	32	30	35	75	26	15	21	27
群別	初任者群小計	51	26	37	30	13	11	14	28	6	5	5	9
	初任者チェック表使用群	40	22	31	23	11	9	13	23	6	5	3	7
	初任者チェック表未使用群	11	4	6	7	2	2	1	5	0	0	2	2
	介護経験群小計	81	30	52	42	19	19	21	47	20	10	16	18
	介護経験1～3年群	36	16	24	21	9	9	7	21	6	5	7	8
	介護経験4年以上群	45	14	28	21	10	10	14	26	14	5	9	10

		ケアマネ ジメント	パーソ ンセン タード ケア	地域支 援	サービ スや資 源の理 解	センタ ー方式	ひもと きシ ート	バリデ ーション セラピ ー	タクテ ィーケ ーブル ケア	認知症 介護実 践者研 修	認知症 介護実 践リー ダー研 修	その他
合計		11	7	5	5	4	2	2	2	6	1	4
群別	初任者群小計	2	0	0	2	1	0	1	1	0	0	2
	初任者チェック表使用群	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0
	初任者チェック表未使用群	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	介護経験群小計	9	7	5	3	3	2	1	1	6	1	2
	介護経験1～3年群	5	3	3	0	1	0	1	1	1	0	1
	介護経験4年以上群	4	4	2	3	2	2	0	0	5	1	1

【比率】

(複数回答)

		有効 回答数	認知症 の基礎 知識	認知症 高齢者 の心理	認知症 に関する 法制度	介護家 族の理 解	認知症 介護の 理念	認知症 高齢者 の生活 支援	コミュニ ケーシ ョン	BPSD の対応	三大介 護の方 法	リスク マネジ メント	環境づ くり
合計		100.0	42.4	67.4	54.5	24.2	22.7	26.5	56.8	19.7	11.4	15.9	20.5
群別	初任者群小計	100.0	51.0	72.5	58.8	25.5	21.6	27.5	54.9	11.8	9.8	9.8	17.6
	初任者チェック表使用群	100.0	55.0	77.5	57.5	27.5	22.5	32.5	57.5	15.0	12.5	7.5	17.5
	初任者チェック表未使用群	100.0	36.4	54.5	63.6	18.2	18.2	9.1	45.5	0.0	0.0	18.2	18.2
	介護経験群小計	100.0	37.0	64.2	51.9	23.5	23.5	25.9	58.0	24.7	12.3	19.8	22.2
	介護経験1～3年群	100.0	44.4	66.7	58.3	25.0	25.0	19.4	58.3	16.7	13.9	19.4	22.2
	介護経験4年以上群	100.0	31.1	62.2	46.7	22.2	22.2	31.1	57.8	31.1	11.1	20.0	22.2

		ケアマネ ジメント	パーソ ンセン タード ケア	地域支 援	サービ スや資 源の理 解	センタ ー方式	ひもと きシ ート	バリデ ーション セラピ ー	タクテ ィーケ ーブル ケア	認知症 介護実 践者研 修	認知症 介護実 践リー ダー研 修	その他
合計		8.3	5.3	3.8	3.8	3.0	1.5	1.5	1.5	4.5	0.8	3.0
群別	初任者群小計	3.9	0.0	0.0	3.9	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	3.9
	初任者チェック表使用群	2.5	0.0	0.0	5.0	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	初任者チェック表未使用群	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2
	介護経験群小計	11.1	8.6	6.2	3.7	3.7	2.5	1.2	1.2	7.4	1.2	2.5
	介護経験1～3年群	13.9	8.3	8.3	0.0	2.8	0.0	2.8	2.8	2.8	0.0	2.8
	介護経験4年以上群	8.9	8.9	4.4	6.7	4.4	4.4	0.0	0.0	11.1	2.2	2.2

(表2-12) 今まで最も役に立った教材や方法

【実数】

(複数回答)

		有効 回答数	本	雑誌	映像教材	研修会、 勉強会	その他
合計		84	44	7	10	39	20
群別	初任者群小計	32	16	1	2	15	9
	初任者チェック表使用群	25	14	1	2	12	5
	初任者チェック表未使用群	7	2	0	0	3	4
	介護経験群小計	52	28	6	8	24	11
	介護経験1～3年群	21	12	1	2	6	5
	介護経験4年以上群	31	16	5	6	18	6

【比率】

		有効 回答数	本	雑誌	映像教材	研修会、 勉強会	その他
合計		100.0	52.4	8.3	11.9	46.4	23.8
群別	初任者群小計	100.0	50.0	3.1	6.3	46.9	28.1
	初任者チェック表使用群	100.0	56.0	4.0	8.0	48.0	20.0
	初任者チェック表未使用群	100.0	28.6	0.0	0.0	42.9	57.1
	介護経験群小計	100.0	53.8	11.5	15.4	46.2	21.2
	介護経験1～3年群	100.0	57.1	4.8	9.5	28.6	23.8
	介護経験4年以上群	100.0	51.6	16.1	19.4	58.1	19.4

3. 自己学習教材の有用性検証

(1) 検証方法

介護職員の能力向上を目指して多様な研修教育が行われているが、自己学習教材（以下「チェック表」と称す）の有用性について、今回の調査データで次のように検証する。

調査対象者を4つの群に分けて比較検討する。そのために、初任者（介護経験1年未満）と介護経験者（1年以上）に大別した上で、初任者ではチェック表を使用する群と使用しない群に分け、介護経験者では1年～3年の群と4年以上の群にそれぞれ二分する。なお、介護経験者の2群にはチェック表を使用してもった。

この4群において、チェック表使用前、10日後および20日後の3時点で、アセスメント視点列記数とケア列記数の変化に統計的有意差がみられるか否か、分散分析を用いて検証する。分析には、調査対象の介護職員が9課題毎に列記したアセスメント視点列記数とケア列記数をカウントしたデータを用いる。

(2) 介護職員が関わった生活課題

寄せられた回答の9課題それぞれにおける有効件数は(表3-0)に示すように、食事関連で多く、排泄関連と入浴関連で比較的少ない。

回答が多い課題について4群合計の有効件数をあげると、食事中断（アセスメント視点が82件、ケアが82件）、入浴拒否（アセスメント視点が63件、ケアが64件）、食事拒否（アセスメント視点が50件、ケアが50件）、食事過剰要求（アセスメント視点が45件、ケアが41件）、の4課題である。

それらに次ぐものとして、排泄誘導拒否（アセスメント視点が31件、ケアが31件）、排泄介護拒否（アセスメント視点が28件、ケアが27件）、の2課題があげられる。

そして、放尿（アセスメント視点が16件、ケアが17件）、洗髪拒否（アセスメント視点が12件、ケアが12件）、清拭拒否（アセスメント視点が4件、ケアが5件）、の3課題が少ない。

(表3-0)介護職員が関わった生活課題

【アセスメント視点に関する3時点有効回答件数】

		食事中断	食事拒否	食事過剰要求	放尿	排泄介護拒否	排泄誘導拒否	入浴拒否	洗髪拒否	清拭拒否
合計		82	50	45	16	28	31	63	12	4
群別	初任者リスト表使用群	21	13	15	4	9	9	15	2	2
	初任者リスト表未使用群	7	2	1	1	1	1	5	0	0
	介護経験1年～3年群	26	13	10	3	9	10	20	7	0
	介護経験4年以上群	28	22	19	8	9	11	23	3	2

【ケアに関する3時点有効回答件数】

		食事中断	食事拒否	食事過剰要求	放尿	排泄介護拒否	排泄誘導拒否	入浴拒否	洗髪拒否	清拭拒否
合計		82	50	41	17	27	31	64	12	5
群別	初任者リスト表使用群	21	15	12	4	8	9	15	2	2
	初任者リスト表未使用群	5	2	1	1	1	1	5	0	0
	介護経験1年～3年群	26	13	10	3	9	10	20	7	1
	介護経験4年以上群	30	20	18	9	9	11	24	3	2

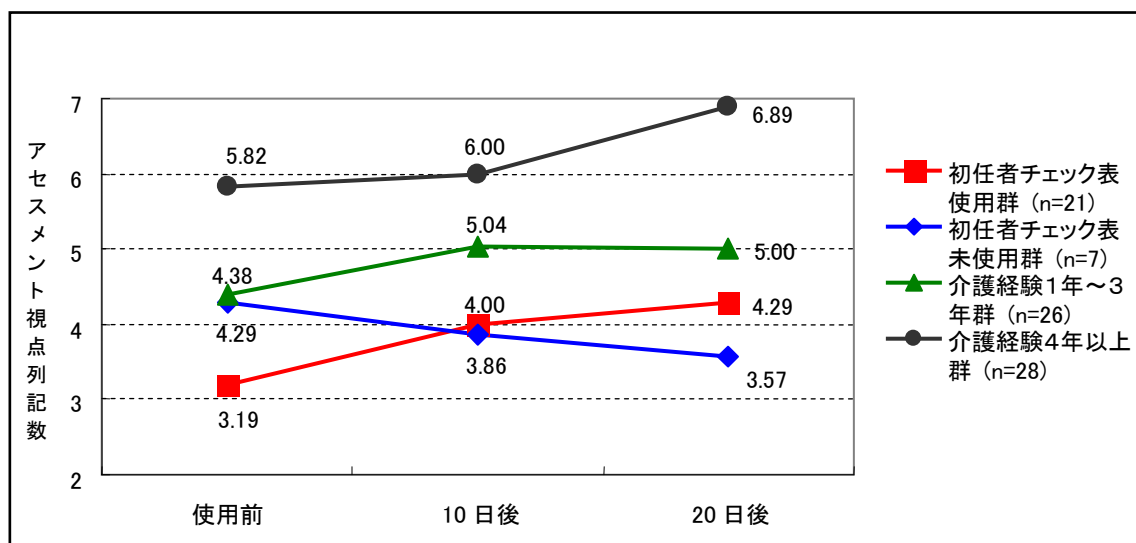
(3) 課題別検証結果

検証は9つの課題毎に行う。まず総合的な傾向を二元配置分散分析で概観した後、群別にチェック表の使用前後におけるアセスメント視点列記数とケア列記数の一元配置分散分析を行う。いずれの分散分析においても繰り返しのある方法を採用した。そして統計的有意差が確認できた群については、イメージ具体化のために顕著な変化が表れている項目を拾い上げることにする。

①-1 食事中断場面アセスメント視点での有用性

食事中断場面アセスメント視点列記数について、チェック表使用前、10日後、20日後の3時点の平均値を示すと(図3-1-1)の状況であった。

4群を総合すると、(表3-1-1・その1)が示すように経過日数による有意差がない。しかし(表3-1-1・その2)が示すように群間の有意差があり、初任者群ではアセスメント視点列記数が介護経験4年以上群より少ないことが(図3-1-1)で読み取れる。



(図3-1-1)食事中断アセスメント視点列記数の変化

(表3-1-1)食事中断アセスメント視点列記数の二元配置分散分析結果

(その1) 総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	8.2	2	4.1	1.052	0.352
経過日数×群	15.7	6	2.6	0.675	0.670
誤差	605.2	156	3.9		

(その2) 総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	3996.2	1	3996.2	229.492	6.06E-25
群	243.5	3	81.2	4.661	0.005
誤差	1358.2	78	17.4		

初任者チェック表使用群では、(図 3-1-1) にみるように使用前が平均 3.19、10 日後が平均 4.00、20 日後が平均 4.29 である。これらの数値には有意差があり、(表 3-1-2) が示すように使用前と比較して 20 日後にはアセスメント視点列記数が平均 1.10 増加している。

これに対して、初任者チェック表未使用群では(表 3-1-3) が示すように有意差がない。

(表 3-1-2) 初任者チェック表使用群の食事中断アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	13.56	2	6.78	3.370	0.044
誤差	80.44	40	2.01		

(その 2) 経過日数間の比較検定						
(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.81	0.53	0.141	-1.91	0.29
	20 日後	-1.10	0.46	0.027	-2.05	-0.14
10 日後	使用前	0.81	0.53	0.141	-0.29	1.91
	20 日後	-0.29	0.29	0.343	-0.90	0.33
20 日後	使用前	1.10	0.46	0.027	0.14	2.05
	10 日後	0.29	0.29	0.343	-0.33	0.90

(表 3-1-3) 初任者チェック表未使用群の食事中断アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	1.81	2	0.90	1.226	0.328
誤差	8.86	12	0.74		

(その 2) 経過日数間の比較検定						
(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.43	0.37	0.289	-0.47	1.33
	20 日後	0.71	0.52	0.220	-0.56	1.99
10 日後	使用前	-0.43	0.37	0.289	-1.33	0.47
	20 日後	0.29	0.47	0.569	-0.87	1.45
20 日後	使用前	-0.71	0.52	0.220	-1.99	0.56
	10 日後	-0.29	0.47	0.569	-1.45	0.87

また、介護経験群では、(表3-1-4および表3-1-5)が示すように、1年～3年および4年以上の両群ともに有意差がない。

以上の結果が示すように食事中断場面アセスメント視点列記数においては、チェック表が初任者に対して有用であると判断できる。

ちなみに、初任者チェック表使用群で使用前と比較して20日後に増加が際立つ項目をあげると、大分類で“食事関係”(小分類で“食材の質(形・固さ・味・匂い・温度)”、“当日の食事量・おやつ量”)、“環境”(小分類で“周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)”、“健康面”(小分類で“排泄状況”、“運動量”)、“人間関係”(小分類で“他の入居者との関係”、“スタッフとの関係”)などである。(付表1-1および付表1-2)

(表3-1-4)介護経験1年～3年群の食事中断アセスメント視点列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	7.0	2	3.50	0.709	0.497
誤差	247.0	50	4.94		

(その2) 経過日数間の比較検定						
(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.65	0.57	0.263	-1.83	0.52
	20 日後	-0.62	0.81	0.455	-2.29	1.06
10 日後	使用前	0.65	0.57	0.263	-0.52	1.83
	20 日後	0.04	0.39	0.923	-0.77	0.85
20 日後	使用前	0.62	0.81	0.455	-1.06	2.29
	10 日後	-0.04	0.39	0.923	-0.85	0.77

(表3-1-5)介護経験4年以上群の食事中断アセスメント視点列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	18.45	2	9.23	1.853	0.167
誤差	268.88	54	4.98		

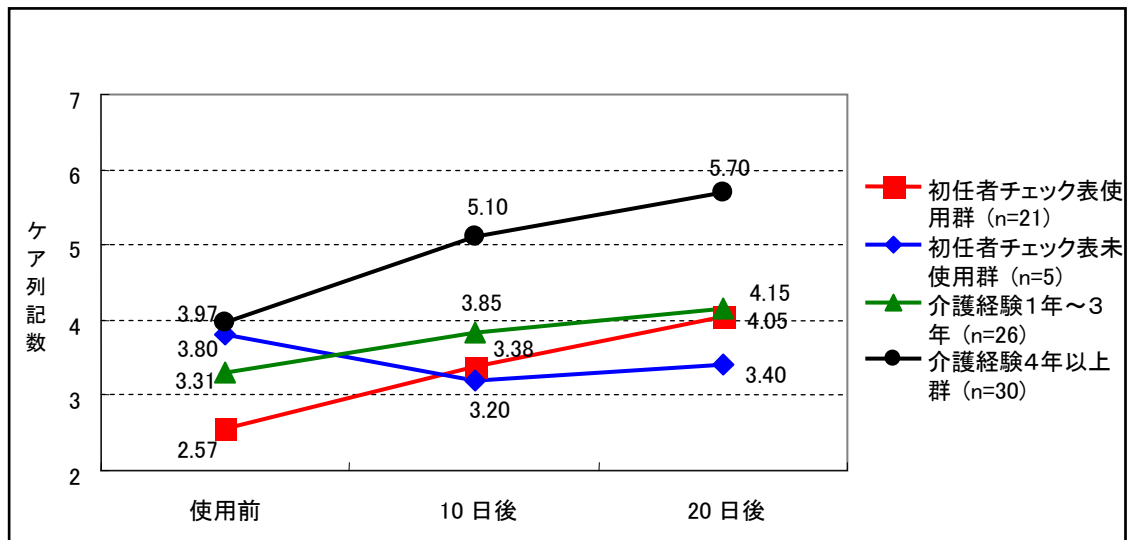
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.18	0.54	0.743	-1.29	0.93
	20 日後	-1.07	0.64	0.105	-2.38	0.24
10 日後	使用前	0.18	0.54	0.743	-0.93	1.29
	20 日後	-0.89	0.61	0.153	-2.14	0.35
20 日後	使用前	1.07	0.64	0.105	-0.24	2.38
	10 日後	0.89	0.61	0.153	-0.35	2.14

①ー２ 食事中断場面ケアでの有用性

食事中断場面ケア列記数について、チェック表使用前、使用 10 日後と 20 日後の 3 時点の平均値を示すと（図 3－1－2）の状況であった。

4 群を総合すると、（表 3－1－6・その 1）が示すように経過日数によって有意差がある。また（表 3－1－6・その 2）が示すように群間の有意差もあり、初任者群のケア列記数が介護経験 4 年以上群より少ないことが（図 3－1－2）で読み取れる。



（図 3－1－2）食事中断ケア列記数の変化

（表 3－1－6）食事中断ケア列記数の二元配置分散分析結果

（その 1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	20.9	2	10.5	4.363	0.014
経過日数 × 群	14.3	6	2.4	0.996	0.430
誤差	374.1	156	2.4		

（その 2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	2254.0	1	2254.0	183.896	3.26E-22
群	112.1	3	37.4	3.047	0.034
誤差	956.0	78	12.3		

初任者チェック表使用群では、(図 3-1-2)にみるように使用前が平均 2.57、10 日後が平均 3.38、20 日後が平均 4.05 である。これらの数値には有意差があり、(表 3-1-7) が示すように使用前と比較して、10 日後にはケア列記数が平均 0.81、20 日後には平均 1.48、それぞれケア列記数が増加している。

これに対して、初任者チェック表未使用群では(表 3-1-8) が示すように有意差がない。

(表 3-1-7) 初任者チェック表使用群の食事中断ケア列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	22.95	2	11.48	13.616	0.000
誤差	33.71	40	0.84		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.81	0.31	0.015	-1.45	-0.17
	20 日後	-1.48	0.31	0.000	-2.11	-0.84
10 日後	使用前	0.81	0.31	0.015	0.17	1.45
	20 日後	-0.67	0.23	0.009	-1.15	-0.18
20 日後	使用前	1.48	0.31	0.000	0.84	2.11
	10 日後	0.67	0.23	0.009	0.18	1.15

(表 3-1-8) 初任者チェック表未使用群の食事中断ケア列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	0.93	2	0.47	2.154	0.179
誤差	1.73	8	0.22		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.60	0.24	0.070	-0.08	1.28
	20 日後	0.40	0.24	0.178	-0.28	1.08
10 日後	使用前	-0.60	0.24	0.070	-1.28	0.08
	20 日後	-0.20	0.37	0.621	-1.24	0.84
20 日後	使用前	-0.40	0.24	0.178	-1.08	0.28
	10 日後	0.20	0.37	0.621	-0.84	1.24

また、(表3-1-9)が示すように介護経験1年～3年群では有意差がない。しかし(表3-1-10)が示すように4年以上では有意差があり、(図3-1-2)にみるように使用前が平均3.97、10日後が平均5.10、20日後が平均5.70、と着実に増加している。

以上の結果が示すように食事中断場面ケア数においては、チェック表が初任者に対して有用であるとともに、介護経験4年以上群に対しても有用であると判断できる。

ちなみに、初任者チェック表使用群で使用前と比較して20日後に増加が際立つ項目をあげると、大分類で“食事の工夫”(小分類で“食物の形態を変更”、“食器の形や材質変更”)、“その他”(小分類で“食事前にトイレへ誘導”、“生活のリズム調整”、“義歯の調整”、“水分量の調整”)、“食事環境の調整”(小分類で“好きな場所で”)などである。(付表1-3および付表1-4)

同様に介護経験4年以上群では、大分類で“食事の工夫”(小分類で“食物の形態を変更”、“食器の形や材質変更”、“食品の配置の工夫”、“高カロリー食で量を増やす”)、“食事環境の調整”(小分類で“食べる場所を選択できるようにする”、“姿勢を整える”)、“その他”(小分類で“水分量の調整”、“コミュニケーションを図る”)などである。(付表1-3および付表1-4)

(表3-1-9)介護経験1年～3年群の食事中断ケア列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	9.54	2	4.77	1.551	0.222
誤差	153.79	50	3.08		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.54	0.41	0.203	-1.39	0.31
	20 日後	-0.85	0.61	0.181	-2.11	0.42
10 日後	使用前	0.54	0.41	0.203	-0.31	1.39
	20 日後	-0.31	0.40	0.452	-1.14	0.52
20 日後	使用前	0.85	0.61	0.181	-0.42	2.11
	10 日後	0.31	0.40	0.452	-0.52	1.14

(表3-1-10)介護経験4年以上群の食事中断ケア列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	46.49	2	23.24	7.294	0.001
誤差	184.84	58	3.19		

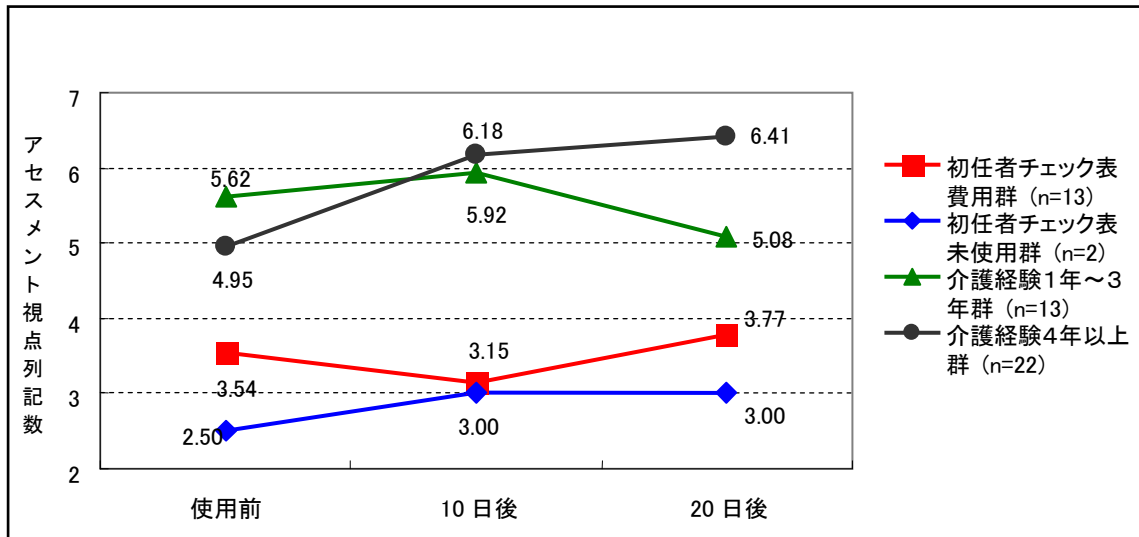
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.13	0.37	0.004	-1.88	-0.38
	20 日後	-1.73	0.59	0.006	-2.93	-0.53
10 日後	使用前	1.13	0.37	0.004	0.38	1.88
	20 日後	-0.60	0.40	0.142	-1.41	0.21
20 日後	使用前	1.73	0.59	0.006	0.53	2.93
	10 日後	0.60	0.40	0.142	-0.21	1.41

②ー１ 食事拒否場面アセスメント視点での有用性

食事拒否場面アセスメント視点列記数について、チェック表使用前、10日後、20日後の3時点の平均値を示すと（図3－2－1）の状況であった。

4群を総合すると、（表3－2－1・その1）が示すように経過日数による有意差がない。しかし（表3－2－1・その2）が示すように群間の有意差があり、初任者群ではアセスメント視点列記数が介護経験群より少ないことが（図3－2－1）で読み取れる。



（図3－2－1）食事拒否アセスメント視点列記数の変化

（表3－2－1）食事拒否アセスメント視点列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	2.6	2	1.3	0.435	0.649
経過日数 × 群	24.1	6	4.0	1.346	0.245
誤差	274.1	92	3.0		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	1345.1	1	1345.1	69.362	9.75E-11
群	176.1	3	58.7	3.026	0.039
誤差	892.1	46	19.4		

初任者チェック表使用群では、(図 3-2-1) にみるように使用前が平均 3.54、10 日後が平均 3.15、20 日後が平均 3.77 である。しかし (表 3-2-2) が示すようにこれらの数値には有意差がなく、使用前と比較して、10 日後または 20 日後にアセスメント視点列記数が増加したとはいえない。

同様に、初任者チェック表未使用群でも (表 3-2-3) が示すように有意差がない。

(表 3-2-2) 初任者チェック表使用群の食事拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	2.51	2	1.26	0.883	0.427
誤差	34.15	24	1.42		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.38	0.43	0.391	-0.56	1.33
	20 日後	-0.23	0.62	0.717	-1.59	1.12
10 日後	使用前	-0.38	0.43	0.391	-1.33	0.56
	20 日後	-0.62	0.29	0.055	-1.25	0.02
20 日後	使用前	0.23	0.62	0.717	-1.12	1.59
	10 日後	0.62	0.29	0.055	-0.02	1.25

(表 3-2-3) 初任者チェック表未使用群の食事拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	0.33	2	0.17	1.000	0.500
誤差	0.33	2	0.17		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85
	20 日後	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85
10 日後	使用前	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85
	20 日後	0.00	0.00		0.00	0.00
20 日後	使用前	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85
	10 日後	0.00	0.00		0.00	0.00

また、(表3-2-4)が示すように介護経験1年～3年群では有意差がない。しかし(表3-2-5)が示すように介護経験4年以上群では有意差があり、(図3-2-2)にみるように使用前が平均4.95、10日後が平均6.18、20日後が平均6.41、と増加している。

以上の結果が示すように食事拒否場面アセスメント視点列記数においては、チェック表が介護経験4年以上群に対して有用であると判断できる。

ちなみに、介護経験4年以上群では、大分類で“健康面”(小分類で“排泄状況”、“睡眠時間・状況”、“運動量”)、“食事関係”(小分類で“食の嗜好・興味・意欲”、“食器の配置”)などである。(付表2-1および付表2-2)

(表3-2-4)介護経験1年～3年群の食事拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	4.77	2	2.38	0.427	0.657
誤差	133.90	24	5.58		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.31	0.96	0.753	-2.39	1.78
	20 日後	0.54	1.24	0.671	-2.16	3.24
10 日後	使用前	0.31	0.96	0.753	-1.78	2.39
	20 日後	0.85	0.36	0.035	0.07	1.62
20 日後	使用前	-0.54	1.24	0.671	-3.24	2.16
	10 日後	-0.85	0.36	0.035	-1.62	-0.07

(表3-2-5)介護経験4年以上群の食事拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	26.94	2	13.47	5.351	0.009
誤差	105.73	42	2.52		

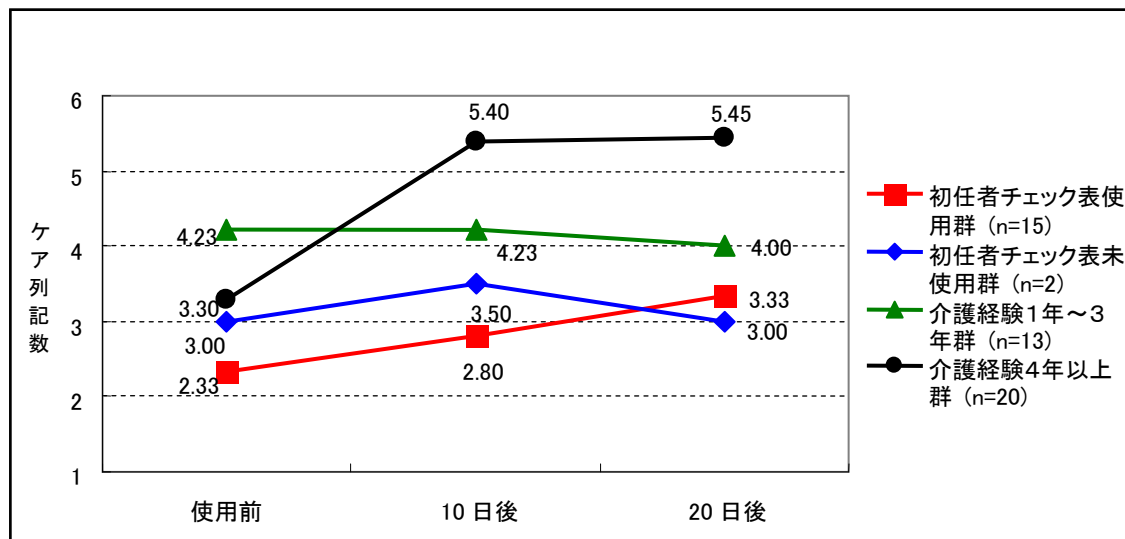
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.23	0.49	0.020	-2.24	-0.21
	20 日後	-1.45	0.55	0.016	-2.61	-0.30
10 日後	使用前	1.23	0.49	0.020	0.21	2.24
	20 日後	-0.23	0.38	0.554	-1.01	0.56
20 日後	使用前	1.45	0.55	0.016	0.30	2.61
	10 日後	0.23	0.38	0.554	-0.56	1.01

②-2 食事拒否場面ケアでの有用性

食事拒否場面ケア列記数について、チェック表使用前、使用10日後と20日後の3時点の平均値を示すと（図3-2-2）の状況であった。

4群を総合すると、（表3-2-6・その1）が示すように経過日数による有意差がない。また（表3-2-6・その2）が示すように群間の有意差もない。



（図3-2-2）食事拒否ケア列記数の変化

（表3-2-6）食事拒否ケア列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	8.6	2	4.3	2.341	0.102
経過日数×群	31.5	6	5.3	2.854	0.014
誤差	169.5	92	1.8		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	955.0	1	955.0	78.636	1.61E-11
群	97.8	3	32.6	2.684	0.058
誤差	558.7	46	12.1		

初任者チェック表使用群では、(図 3-2-2) にみるように使用前が平均 2.33、10 日後が平均 2.80、20 日後が平均 3.33 であるが、(表 3-2-7) が示すように有意差がない。

さらに、初任者チェック表未使用群でも (表 3-2-8) が示すように有意差がない。

(表 3-2-7) 初任者チェック表使用群の食事拒否ケア列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	7.51	2	3.76	3.780	0.035
誤差	27.82	28	0.99		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.47	0.27	0.110	-1.05	0.12
	20 日後	-1.00	0.48	0.055	-2.03	0.03
10 日後	使用前	0.47	0.27	0.110	-0.12	1.05
	20 日後	-0.53	0.31	0.104	-1.19	0.12
20 日後	使用前	1.00	0.48	0.055	-0.03	2.03
	10 日後	0.53	0.31	0.104	-0.12	1.19

(表 3-2-8) 初任者チェック表未使用群の食事拒否ケア列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率	
経過日数	0.33	2	0.17	1.000	0.500	
誤差	0.33	2	0.17			

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85
	20 日後	0.00	0.00		0.00	0.00
10 日後	使用前	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85
	20 日後	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85
20 日後	使用前	0.00	0.00		0.00	0.00
	10 日後	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85

また、(表3-2-9)が示すように介護経験1年～3年群では有意差がない。しかし(表3-2-10)が示すように4年以上では有意差があり、(図3-2-2)にみるように使用前が平均3.30、10日後が平均5.40、20日後が平均5.45、と増加している。

以上の結果が示すように食事拒否場面ケア数においては、チェック表が介護経験4年以上群に対して有用であると判断できる。

ちなみに、介護経験4年以上群では、大分類で“食事の工夫”(小分類で“好きな献立にする”、“カロリーを考慮し、おやつを提供”、“食材の形態、色等の工夫”)、“その他”(小分類で“排便調整”、“体調の確認”)、“声かけの工夫”(小分類で“仲の良い人が声かけ”、“食事前からこまめに声かけ”)などである。(付表2-3および付表2-4)

(表3-2-9)介護経験1年～3年群の食事拒否ケア列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	0.46	2	0.23	0.078	0.925
誤差	70.87	24	2.95		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.00	0.74	1.000	-1.62	1.62
	20 日後	0.23	0.84	0.788	-1.60	2.06
10 日後	使用前	0.00	0.74	1.000	-1.62	1.62
	20 日後	0.23	0.32	0.489	-0.47	0.94
20 日後	使用前	-0.23	0.84	0.788	-2.06	1.60
	10 日後	-0.23	0.32	0.489	-0.94	0.47

(表3-2-10)介護経験4年以上群の食事拒否ケア列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	60.23	2	30.12	16.248	0.000
誤差	70.43	38	1.85		

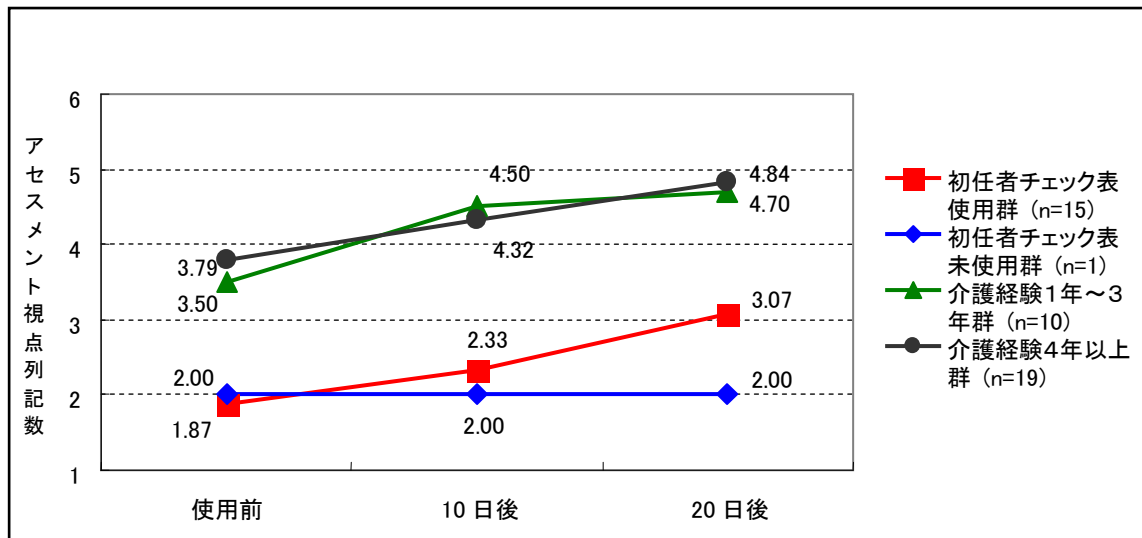
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-2.10	0.50	0.001	-3.15	-1.05
	20 日後	-2.15	0.48	0.000	-3.16	-1.14
10 日後	使用前	2.10	0.50	0.001	1.05	3.15
	20 日後	-0.05	0.27	0.853	-0.61	0.51
20 日後	使用前	2.15	0.48	0.000	1.14	3.16
	10 日後	0.05	0.27	0.853	-0.51	0.61

③－１ 食事過剰要求場面アセスメント視点での有用性

食事過剰要求場面アセスメント視点列記数について、チェック表使用前、10日後、20日後の3時点の平均値を示すと（図3－3－1）の状況であった。

4群を総合すると、（表3－3－1・その1）が示すように経過日数による有意差がない。しかし（表3－3－1・その2）が示すように群間の有意差があり、初任者群ではアセスメント視点列記数が介護経験群より少ないことが（図3－3－1）で読み取れる。



（図3－3－1）食事過剰要求アセスメント視点列記数の変化

（表3－3－1）食事過剰要求アセスメント視点列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	4.93	2	2.46	0.701	0.499
経過日数 × 群	1.93	6	0.32	0.092	0.997
誤差	288.23	82	3.51		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	414.0	1	414.0	38.871	2.01E-07
群	111.3	3	37.1	3.484	0.024
誤差	436.7	41	10.7		

初任者チェック表使用群では、(図 3-3-1) にみるように使用前が平均 1.87、10 日後が平均 2.33、20 日後が平均 3.07 である。これらの数値には有意差があり、(表 3-3-2) が示すように使用前と比較して 20 日後にはアセスメント視点列記数が平均 1.20 増加している。

初任者チェック表未使用群ではデータ 1 件で統計的には如何とも言い難い。

(表 3-3-2) 初任者チェック表使用群の食事過剰要求アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	10.98	2	5.49	5.983	0.007
誤差	25.69	28	0.92		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.47	0.31	0.150	-1.12	0.19
	20 日後	-1.20	0.40	0.010	-2.07	-0.33
10 日後	使用前	0.47	0.31	0.150	-0.19	1.12
	20 日後	-0.73	0.33	0.044	-1.44	-0.02
20 日後	使用前	1.20	0.40	0.010	0.33	2.07
	10 日後	0.73	0.33	0.044	0.02	1.44

(表 3-3-3) は、欠表

また、(表3-3-4)が示すように介護経験1年～3年群では有意差がない。しかし(表3-3-5)が示すように介護経験4年以上群では有意差があり、使用前と比較して20日後にはアセスメント視点列記数が平均1.05増加している。

以上の結果が示すように食事過剰要求場面アセスメント視点においては、チェック表が初任者に対して有用であるとともに、介護経験4年以上群にも有用であると判断できる。

ちなみに、初任者チェック表使用群で使用前と比較して20日後に増加が際立つ項目をあげると、大分類で“健康面”(小分類で“運動量”、“水分状態”)、“食事関係”(小分類で“当日の食事量・おやつ量”、“食材の質(形・固さ・味・匂い・温度)”、“環境”(小分類で“席の位置”、“周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)”)などである。(付表3-1および付表3-2)

同様に介護経験4年以上群では、大分類で“食事関係”(小分類で“最近の食事量”、“満腹感、空腹感”、“当日の食事量・おやつ量”)、“健康面”(小分類で“体調”、“運動量”)、“環境”(小分類で“周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)”)などである。(付表3-1および付表3-2)

(表3-3-4)介護経験1年～3年群の食事過剰要求アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	8.27	2	4.13	0.389	0.683
誤差	191.07	18	10.61		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.00	1.45	0.509	-4.29	2.29
	20 日後	-1.20	1.98	0.560	-5.68	3.28
10 日後	使用前	1.00	1.45	0.509	-2.29	4.29
	20 日後	-0.20	0.57	0.735	-1.50	1.10
20 日後	使用前	1.20	1.98	0.560	-3.28	5.68
	10 日後	0.20	0.57	0.735	-1.10	1.50

(表3-3-5)介護経験4年以上群の食事過剰要求アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	10.53	2	5.26	2.651	0.084
誤差	71.47	36	1.99		

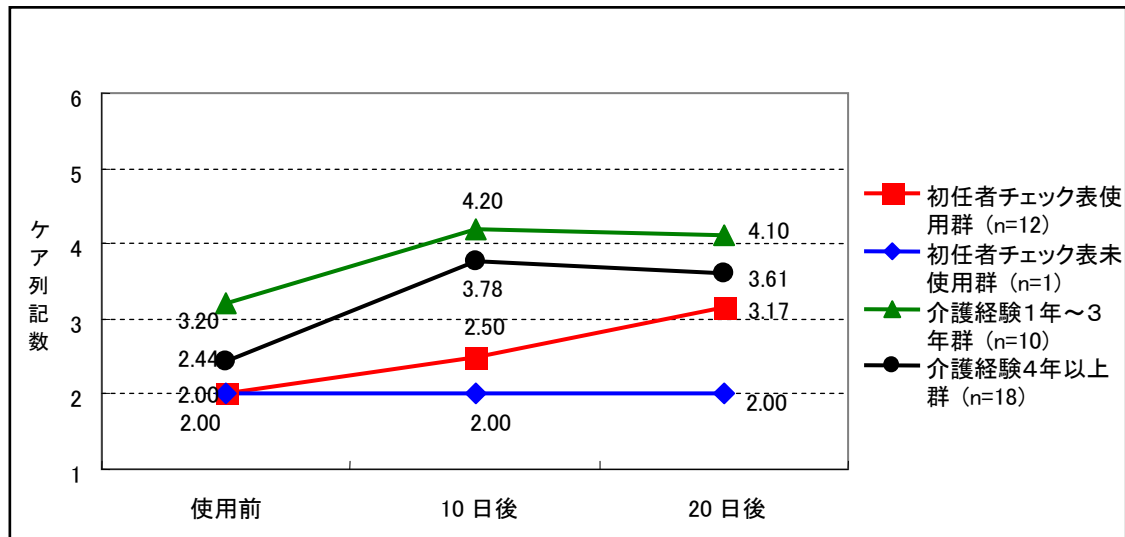
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.53	0.44	0.249	-1.45	0.40
	20 日後	-1.05	0.47	0.037	-2.04	-0.07
10 日後	使用前	0.53	0.44	0.249	-0.40	1.45
	20 日後	-0.53	0.46	0.269	-1.50	0.44
20 日後	使用前	1.05	0.47	0.037	0.07	2.04
	10 日後	0.53	0.46	0.269	-0.44	1.50

③－２ 食事過剰要求場面ケアでの有用性

食事過剰要求場面ケア列記数について、チェック表使用前、使用 10 日後と 20 日後の 3 時点の平均値を示すと（図 3－3－2）の状況であった。

4 群を総合すると、（表 3－3－6・その 1）が示すように経過日数による有意差がない。また（表 3－3－6・その 2）が示すように群間の有意差もない。



（図3－3－2）食事過剰要求ケア列記数の変化

（表3－3－6）食事過剰要求ケア列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	5.02	2	2.51	1.155	0.321
経過日数×群	4.41	6	0.74	0.338	0.914
誤差	160.71	74	2.17		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	329.6	1	329.6	51.698	1.58E-08
群	31.5	3	10.5	1.648	0.195
誤差	235.9	37	6.4		

初任者チェック表使用群では、(図 3-3-2) にみるように使用前が平均 2.00、10 日後が平均 2.50、20 日後が平均 3.17 である。これらの数値には有意差があり、(表 3-3-7) が示すように、使用前と比較して 20 日後にはケア列記数が平均 1.17 増加している。

初任者チェック表未使用群ではデータ 1 件で統計的には如何とも言い難い。

(表 3-3-7) 初任者チェック表使用群の食事過剰要求ケア列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	8.22	2	4.11	6.262	0.007
誤差	14.44	22	0.66		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.50	0.29	0.111	-1.14	0.14
	20 日後	-1.17	0.42	0.019	-2.10	-0.23
10 日後	使用前	0.50	0.29	0.111	-0.14	1.14
	20 日後	-0.67	0.26	0.025	-1.23	-0.10
20 日後	使用前	1.17	0.42	0.019	0.23	2.10
	10 日後	0.67	0.26	0.025	0.10	1.23

(表 3-3-8) は、欠表

また、(表 3-3-9) が示すように介護経験 1 年～3 年群では有意差がない。しかし (表 3-3-10) が示すように 4 年以上では有意差があり、(図 3-3-2) にみるように使用前が平均 2.44、10 日後が平均 3.78、20 日後が平均 3.61、と増加している。

以上の結果が示すように食事過剰要求場面ケア数においては、チェック表が初任者に対して有用であるとともに、介護経験 4 年以上群に対しても有用であると判断できる。

ちなみに、初任者チェック表使用群で使用前と比較して 20 日後に増加が際立つ項目をあげると、大分類で“声かけの工夫”(小分類で“食事時間の確認や説明を丁寧にする”)などである。(付表 3-3 および付表 3-4)

同様に介護経験 4 年以上群では、大分類で“食事の工夫”(小分類で“おやつや代替品を提供”、“食器を小さくし、おかわりを増やす、食事数を増やす”、“低カロリーにして大盛りにした”)、“声かけの工夫”(小分類で“味の感想を伺う”、“別の場所に移動し会話する”)、“その他”(小分類で“排泄調整”)などである。(付表 3-3 および付表 3-4)

(表3-3-9)介護経験1年～3年群の食事過剰要求ケア列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	6.07	2	3.03	0.672	0.523
誤差	81.27	18	4.51		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.00	0.63	0.148	-2.43	0.43
	20 日後	-0.90	1.20	0.471	-3.61	1.81
10 日後	使用前	1.00	0.63	0.148	-0.43	2.43
	20 日後	0.10	0.94	0.917	-2.02	2.22
20 日後	使用前	0.90	1.20	0.471	-1.81	3.61
	10 日後	-0.10	0.94	0.917	-2.22	2.02

(表3-3-10)介護経験4年以上群の食事過剰要求ケア列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	19.00	2	9.50	4.969	0.013
誤差	65.00	34	1.91		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.33	0.42	0.006	-2.22	-0.45
	20 日後	-1.17	0.54	0.047	-2.31	-0.02
10 日後	使用前	1.33	0.42	0.006	0.45	2.22
	20 日後	0.17	0.41	0.687	-0.69	1.02
20 日後	使用前	1.17	0.54	0.047	0.02	2.31
	10 日後	-0.17	0.41	0.687	-1.02	0.69

④－１ 放尿場面アセスメント視点での有用性

放尿場面アセスメント視点列記数について、チェック表使用前、10日後、20日後の3時点の平均値を示すと（図3－4－1）の状況であった。

いずれの群もデータ僅少で参考にとどめたいが、あえて述べると次の状況である。

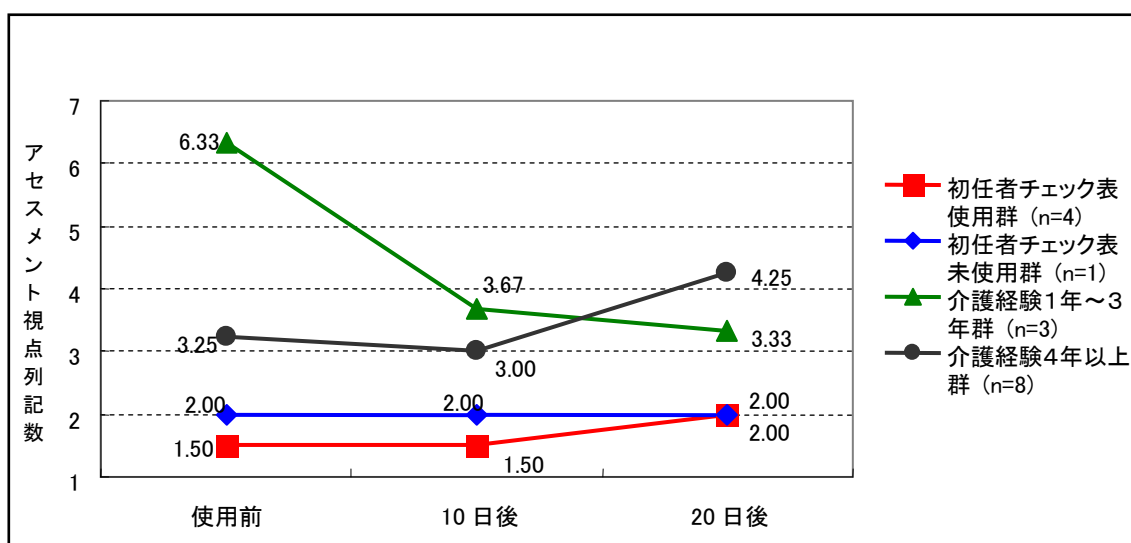
4群を総合すると、（表3－4－1・その1）が示すように経過日数による有意差がない。また（表3－4－1・その2）が示すように群間の有意差もない。

初任者チェック表使用群では、（図3－4－1）にみるように使用前が平均1.50、10日後が平均1.50、20日後が平均2.00であり、（表3－4－2）が示すようにこれらの数値には有意差がない。

初任者チェック表未使用群ではデータ1件で統計的には如何とも言い難い。

また、介護経験群も（表3－4－4および表3－4－5）が示すように有意差がない。

以上の結果が示すように放尿場面アセスメント視点においては、データ僅少から統計的にはチェック表の有用性判断に難がある。



（図3－4－1）放尿アセスメント視点列記数の変化

（表3－4－1）放尿アセスメント視点列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	2.49	2	1.25	0.287	0.753
経過日数×群	19.26	6	3.21	0.740	0.623
誤差	104.11	24	4.34		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	236.8	1	236.8	34.275	7.78E-05
群	48.4	3	16.1	2.334	0.126
誤差	82.9	12	6.9		

(表3-4-2) 初任者チェック表使用群の放尿アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	0.67	2	0.33	0.600	0.579
誤差	3.33	6	0.56		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.00	0.41	1.000	-1.30	1.30
	20 日後	-0.50	0.65	0.495	-2.55	1.55
10 日後	使用前	0.00	0.41	1.000	-1.30	1.30
	20 日後	-0.50	0.50	0.391	-2.09	1.09
20 日後	使用前	0.50	0.65	0.495	-1.55	2.55
	10 日後	0.50	0.50	0.391	-1.09	2.09

(表3-4-3)は、欠表

(表3-4-4) 介護経験1年～3年群の放尿アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	16.22	2	8.11	0.596	0.594
誤差	54.44	4	13.61		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	2.67	3.18	0.490	-11.01	16.35
	20 日後	3.00	4.04	0.535	-14.39	20.39
10 日後	使用前	-2.67	3.18	0.490	-16.35	11.01
	20 日後	0.33	0.88	0.742	-3.46	4.13
20 日後	使用前	-3.00	4.04	0.535	-20.39	14.39
	10 日後	-0.33	0.88	0.742	-4.13	3.46

(表3-4-5) 介護経験4年以上群の放尿アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	7.00	2	3.50	1.058	0.373
誤差	46.33	14	3.31		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.25	0.98	0.805	-2.06	2.56
	20 日後	-1.00	1.12	0.401	-3.64	1.64
10 日後	使用前	-0.25	0.98	0.805	-2.56	2.06
	20 日後	-1.25	0.53	0.049	-2.49	-0.01
20 日後	使用前	1.00	1.12	0.401	-1.64	3.64
	10 日後	1.25	0.53	0.049	0.01	2.49

④ー２ 放尿場面ケアでの有用性

放尿場面ケア列記数について、チェック表使用前、使用 10 日後と 20 日後の 3 時点の平均値を示すと（図 3－4－2）の状況であった。

これもデータ僅少で参考にとどめたいが、あえて述べると次の状況である。

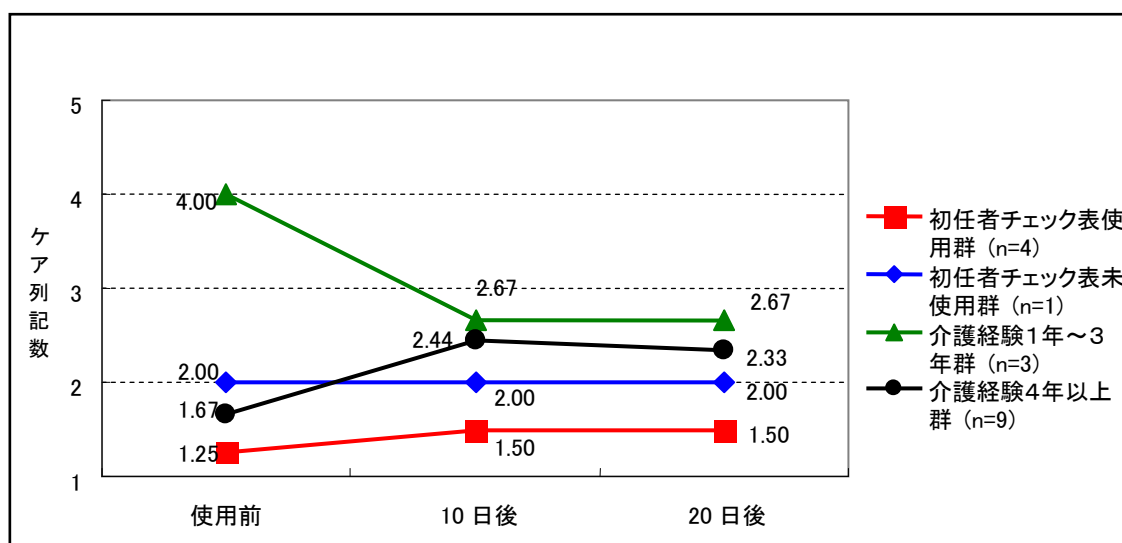
4 群を総合すると、（表 3－4－6・その 1）が示すように経過日数による有意差がない。また（表 3－4－6・その 2）が示すように群間の有意差もない。

初任者チェック表使用群では、（図 3－4－2）にみるように使用前が平均 1.25、10 日後が平均 1.50、20 日後が平均 1.50 であり、（表 3－4－7）が示すようにこれらの数値には有意差がない。

初任者チェック表未使用群ではデータ 1 件で如何とも言い難い。

また、介護経験群も（表 3－4－9 および表 3－4－10）が示すように有意差がない。

以上の結果が示すように放尿場面ケアにおいては、データ僅少から統計的にはチェック表の有用性判断に難がある。



（図 3－4－2）放尿ケア列記数の変化

（表 3－4－6）放尿ケア列記数の二元配置分散分析結果

（その 1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	0.05	2	0.03	0.019	0.982
経過日数 × 群	6.40	6	1.07	0.721	0.636
誤差	38.43	26	1.48		

（その 2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	133.3	1	133.3	66.944	1.75E-06
群	14.8	3	4.9	2.483	0.107
誤差	25.9	13	2.0		

(表3-4-7) 初任者チェック表使用群の放尿ケア列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	0.17	2	0.08	0.158	0.857
誤差	3.17	6	0.53		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.25	0.48	0.638	-1.77	1.27
	20 日後	-0.25	0.63	0.718	-2.25	1.75
10 日後	使用前	0.25	0.48	0.638	-1.27	1.77
	20 日後	0.00	0.41	1.000	-1.30	1.30
20 日後	使用前	0.25	0.63	0.718	-1.75	2.25
	10 日後	0.00	0.41	1.000	-1.30	1.30

(表3-4-8)は、欠表

(表3-4-9) 介護経験 1 年～3 年群の放尿ケア列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	3.56	2	1.78	0.571	0.605
誤差	12.44	4	3.11		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	1.33	0.88	0.270	-2.46	5.13
	20 日後	1.33	2.03	0.578	-7.39	10.06
10 日後	使用前	-1.33	0.88	0.270	-5.13	2.46
	20 日後	0.00	1.15	1.000	-4.97	4.97
20 日後	使用前	-1.33	2.03	0.578	-10.06	7.39
	10 日後	0.00	1.15	1.000	-4.97	4.97

(表3-4-10) 介護経験 4 年以上群の放尿ケア列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	3.19	2	1.59	1.117	0.352
誤差	22.81	16	1.43		

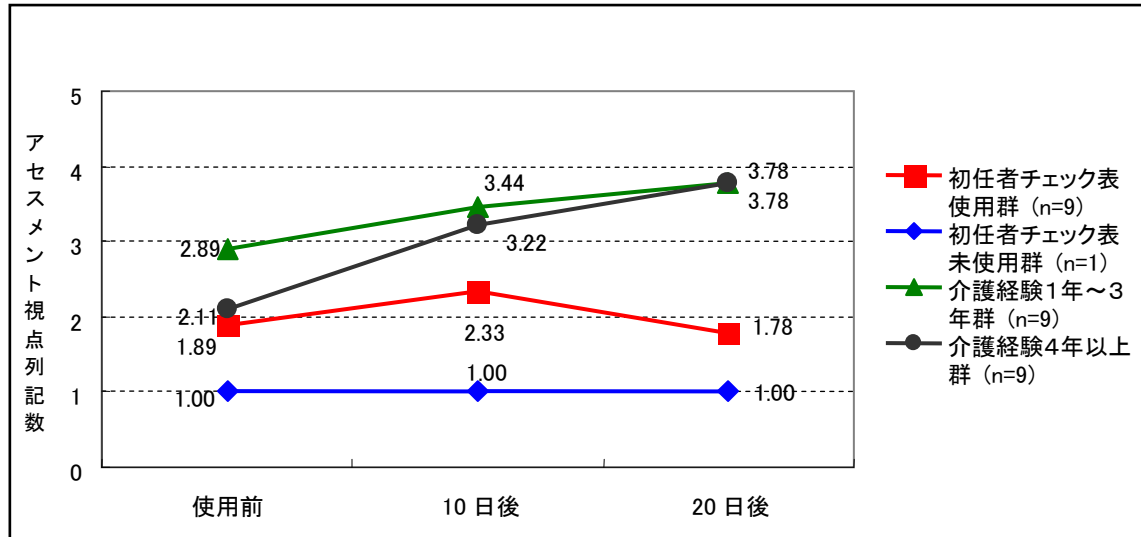
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.78	0.64	0.259	-2.26	0.70
	20 日後	-0.67	0.55	0.262	-1.94	0.61
10 日後	使用前	0.78	0.64	0.259	-0.70	2.26
	20 日後	0.11	0.48	0.824	-1.01	1.23
20 日後	使用前	0.67	0.55	0.262	-0.61	1.94
	10 日後	-0.11	0.48	0.824	-1.23	1.01

⑤－１ 排泄介護拒否場面アセスメント視点での有用性

排泄介護拒否場面アセスメント視点列記数について、チェック表使用前、10日後、20日後の3時点の平均値を示すと（図3－5－1）の状況であった。

4群を総合すると、（表3－5－1・その1）が示すように経過日数による有意差がない。また（表3－5－1・その2）が示すように群間の有意差もない。



（図3－5－1）排泄介護拒否アセスメント視点列記数の変化

（表3－5－1）排泄介護拒否アセスメント視点列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	2.64	2	1.32	0.450	0.640
経過日数×群	7.98	6	1.33	0.454	0.838
誤差	140.52	48	2.93		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	199.1	1	199.1	30.134	1.21E-05
群	37.0	3	12.3	1.865	0.162
誤差	158.6	24	6.6		

初任者チェック表使用群では、(図 3-5-1) にみるように使用前が平均 1.89、10 日後が平均 2.33、20 日後が平均 1.78 である。しかし (表 3-5-2) が示すようにこれらの数値に有意差はない。

初任者チェック表未使用群ではデータ 1 件で統計的には如何とも言い難い。

(表 3-5-2) 初任者チェック表使用群の排泄介護拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	1.56	2	0.78	1.474	0.259
誤差	8.44	16	0.53		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.44	0.38	0.272	-1.31	0.42
	20 日後	0.11	0.35	0.760	-0.70	0.92
10 日後	使用前	0.44	0.38	0.272	-0.42	1.31
	20 日後	0.56	0.29	0.095	-0.12	1.23
20 日後	使用前	-0.11	0.35	0.760	-0.92	0.70
	10 日後	-0.56	0.29	0.095	-1.23	0.12

(表 3-5-3) は、欠表

また、(表 3-5-4) が示すように介護経験 1 年～3 年群では有意差がない。しかし (表 3-5-5) が示すように介護経験 4 年以上群では有意差があり、使用前と比較して 20 日後にはアセスメント視点列記数が平均 1.67 増加している。

以上の結果が示すように排泄介護拒否場面アセスメント視点においては、介護経験 4 年以上群に有用であると判断できる。

ちなみに、介護経験 4 年以上群では、大分類で“排泄行動”(小分類で“排泄・排尿時間”、“排泄頻度”、“排尿場所”など)、“人間関係”(小分類で“スタッフとの関係”)などである。(付表 5-1 および付表 5-2)

(表 3-5-4) 介護経験 1 年～3 年群の排泄介護拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	3.63	2	1.81	0.275	0.763
誤差	105.70	16	6.61		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.56	1.16	0.644	-3.22	2.11
	20 日後	-0.89	1.63	0.600	-4.64	2.87
10 日後	使用前	0.56	1.16	0.644	-2.11	3.22
	20 日後	-0.33	0.65	0.620	-1.82	1.16
20 日後	使用前	0.89	1.63	0.600	-2.87	4.64
	10 日後	0.33	0.65	0.620	-1.16	1.82

(表3-5-5)介護経験4年以上群の排泄介護拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	12.96	2	6.48	3.933	0.041
誤差	26.37	16	1.65		

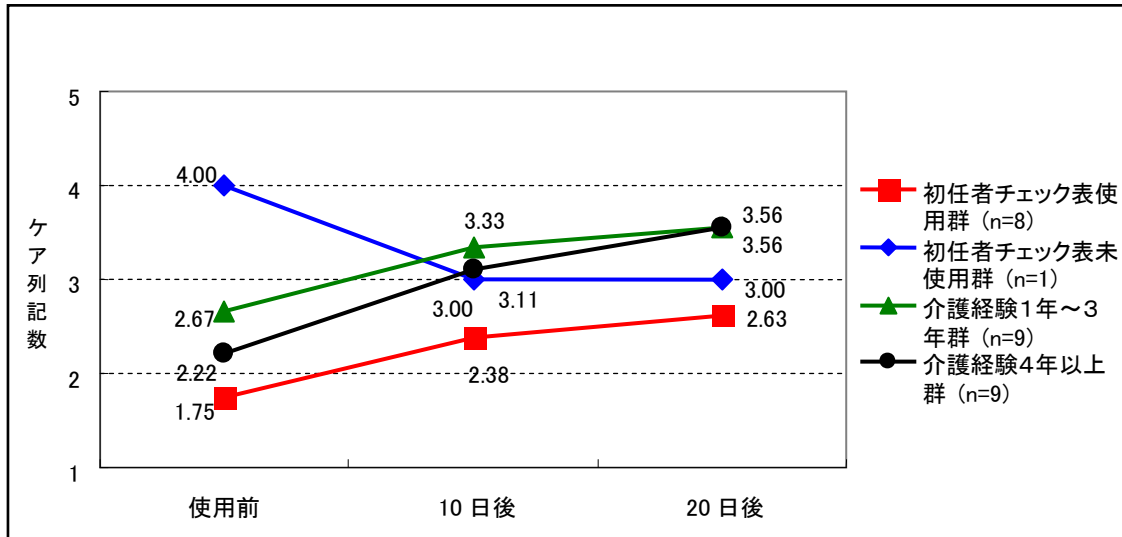
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.11	0.51	0.062	-2.29	0.07
	20 日後	-1.67	0.71	0.046	-3.30	-0.04
10 日後	使用前	1.11	0.51	0.062	-0.07	2.29
	20 日後	-0.56	0.58	0.366	-1.89	0.78
20 日後	使用前	1.67	0.71	0.046	0.04	3.30
	10 日後	0.56	0.58	0.366	-0.78	1.89

⑤ー２ 排泄介護拒否場面ケアでの有用性

排泄介護拒否場面ケア列記数について、チェック表使用前、使用 10 日後と 20 日後の 3 時点の平均値を示すと（図 3－5－2）の状況であった。

4 群を総合すると、（表 3－5－6・その 1）が示すように経過日数による有意差がない。また（表 3－5－6・その 2）が示すように群間の有意差もない。



（図 3－5－2）排泄介護拒否ケア列記数の変化

（表 3－5－6）排泄介護拒否ケア列記数の二元配置分散分析結果

（その 1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	1.64	2	0.82	0.709	0.498
経過日数 × 群	2.93	6	0.49	0.422	0.861
誤差	53.27	46	1.16		

（その 2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	306.5	1	306.5	55.559	1.41E-07
群	12.7	3	4.2	0.768	0.524
誤差	126.9	23	5.5		

初任者チェック表使用群では、(図 3-5-2) にみるように使用前が平均 1.75、10 日後が平均 2.38、20 日後が平均 2.63 である。しかし (表 3-5-7) が示すようにこれらの数値に有意差はない。

初任者チェック表未使用群ではデータ 1 件で統計的には如何とも言い難い。

(表 3-5-7) 初任者チェック表使用群の排泄介護拒否ケア列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	3.25	2	1.63	1.476	0.262
誤差	15.42	14	1.10		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.63	0.56	0.305	-1.96	0.71
	20 日後	-0.88	0.61	0.195	-2.32	0.57
10 日後	使用前	0.63	0.56	0.305	-0.71	1.96
	20 日後	-0.25	0.37	0.516	-1.12	0.62
20 日後	使用前	0.88	0.61	0.195	-0.57	2.32
	10 日後	0.25	0.37	0.516	-0.62	1.12

(表 3-5-8) は、欠表

また、(表 3-5-9) が示すように介護経験 1 年～3 年群では有意差がない。しかし (表 3-5-10) が示すように 4 年以上では有意差があり、(図 3-5-2) にみるように使用前が平均 2.22、10 日後が平均 3.11、20 日後が平均 3.56、と増加している。

以上の結果が示すように排泄介護拒否場面ケア数においては、チェック表が介護経験 4 年以上群で有用であると判断できる。

ちなみに、介護経験 4 年以上群では、大分類で“声かけ・誘導の工夫”(小分類で“時間を置き繰り返す”、“本人だけに声かけ”など)、“環境調整”(小分類で“安心できる場所”)などである。(付表 5-3 および付表 5-4)

(表 3-5-9) 介護経験 1 年～3 年群の排泄介護拒否ケア列記数の二元配置分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	3.85	2	1.93	1.434	0.267
誤差	21.48	16	1.34		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.67	0.50	0.219	-1.82	0.49
	20 日後	-0.89	0.68	0.225	-2.45	0.67
10 日後	使用前	0.67	0.50	0.219	-0.49	1.82
	20 日後	-0.22	0.43	0.622	-1.22	0.78
20 日後	使用前	0.89	0.68	0.225	-0.67	2.45
	10 日後	0.22	0.43	0.622	-0.78	1.22

(表3-5-10)介護経験4年以上群の排泄介護拒否ケア列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	8.30	2	4.15	4.054	0.038
誤差	16.37	16	1.02		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.89	0.48	0.104	-2.01	0.23
	20 日後	-1.33	0.53	0.035	-2.55	-0.12
10 日後	使用前	0.89	0.48	0.104	-0.23	2.01
	20 日後	-0.44	0.41	0.312	-1.39	0.51
20 日後	使用前	1.33	0.53	0.035	0.12	2.55
	10 日後	0.44	0.41	0.312	-0.51	1.39

⑥ー１ 排泄誘導拒否場面アセスメント視点での有用性

排泄誘導拒否場面アセスメント視点列記数について、チェック表使用前、10日後、20日後の3時点の平均値を示すと（図3－6－1）の状況であった。

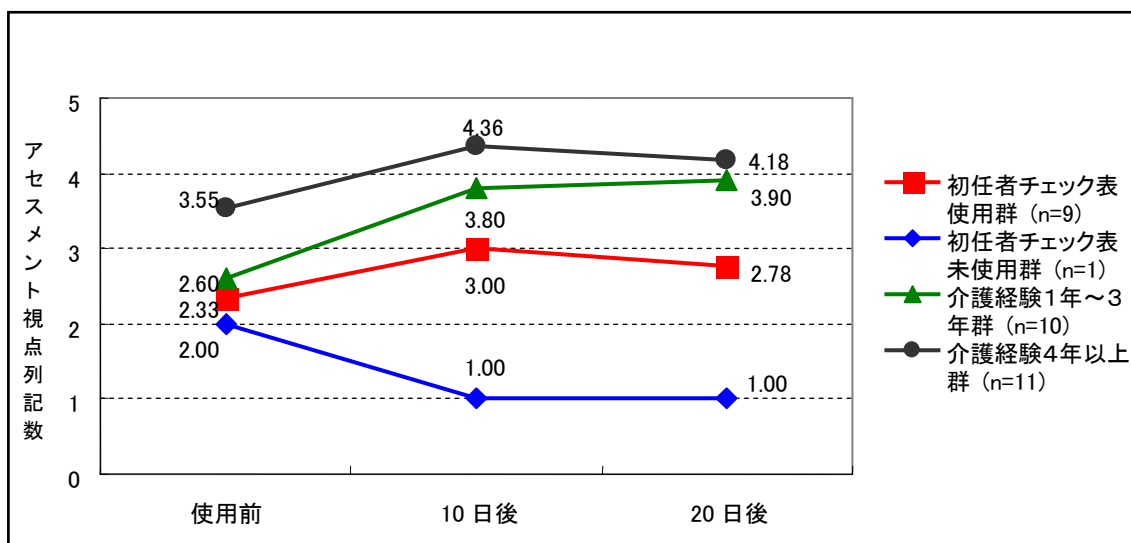
4群を総合すると、（表3－6－1・その1）が示すように経過日数による有意差がない。また（表3－6－1・その2）が示すように群間の有意差もない。

初任者チェック表使用群では、（図3－6－1）にみるように使用前が平均2.33、10日後が平均3.00、20日後が平均2.78であるが、（表3－6－2）が示すようにこれらの数値には有意差がない。

初任者チェック表未使用群ではデータ1件で如何とも言い難い。

また、介護経験群でも（表3－6－4および表3－6－5）が示すように有意差がない。

以上の結果が示すように排泄誘導拒否場面アセスメント視点においては、チェック表の有用性を肯定できる結果が得られなかった。



（図3－6－1）排泄誘導拒否アセスメント視点列記数の変化

（表3－6－1）排泄誘導拒否アセスメント視点列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	1.24	2	0.62	0.346	0.709
経過日数×群	4.21	6	0.70	0.392	0.881
誤差	96.73	54	1.79		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	304.8	1	304.8	47.664	2.03E-07
群	38.9	3	13.0	2.030	0.133
誤差	172.6	27	6.4		

(表3-6-2) 初任者チェック表使用群の排泄誘導拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	2.07	2	1.04	0.567	0.578
誤差	29.26	16	1.83		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.67	0.80	0.428	-2.51	1.18
	20 日後	-0.44	0.56	0.447	-1.73	0.84
10 日後	使用前	0.67	0.80	0.428	-1.18	2.51
	20 日後	0.22	0.52	0.681	-0.98	1.42
20 日後	使用前	0.44	0.56	0.447	-0.84	1.73
	10 日後	-0.22	0.52	0.681	-1.42	0.98

(表3-6-3)は、欠表

(表3-6-4) 介護経験1年～3年群の排泄誘導拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	10.47	2	5.23	3.190	0.065
誤差	29.53	18	1.64		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.20	0.53	0.051	-2.41	0.01
	20 日後	-1.30	0.73	0.109	-2.95	0.35
10 日後	使用前	1.20	0.53	0.051	-0.01	2.41
	20 日後	-0.10	0.41	0.811	-1.02	0.82
20 日後	使用前	1.30	0.73	0.109	-0.35	2.95
	10 日後	0.10	0.41	0.811	-0.82	1.02

(表3-6-5) 介護経験4年以上群の排泄誘導拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	4.06	2	2.03	1.070	0.362
誤差	37.94	20	1.90		

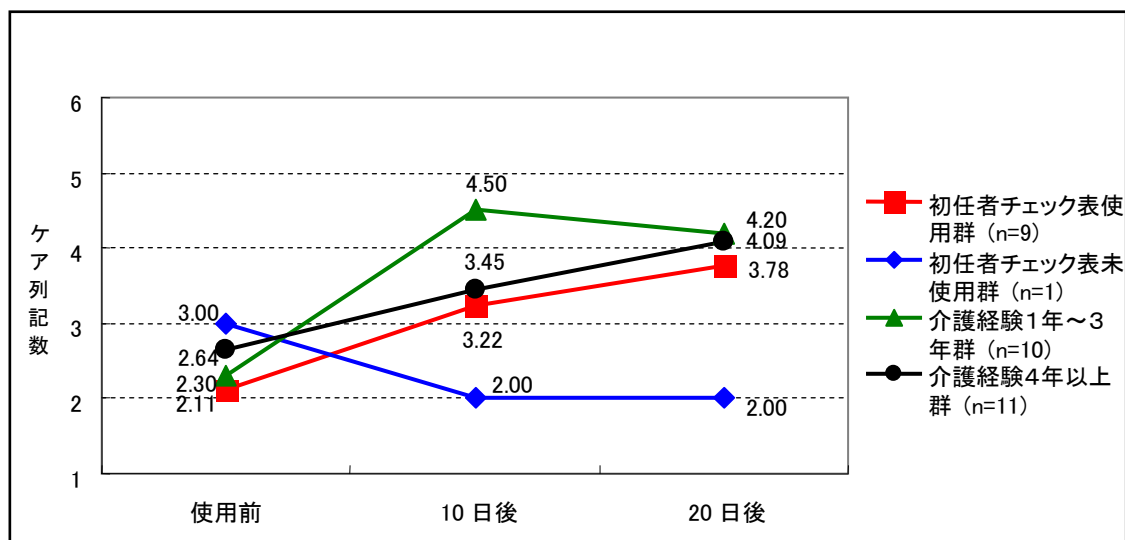
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.82	0.67	0.251	-2.31	0.68
	20 日後	-0.64	0.69	0.379	-2.18	0.90
10 日後	使用前	0.82	0.67	0.251	-0.68	2.31
	20 日後	0.18	0.33	0.588	-0.54	0.91
20 日後	使用前	0.64	0.69	0.379	-0.90	2.18
	10 日後	-0.18	0.33	0.588	-0.91	0.54

⑥ー 2 排泄誘導拒否場面ケアでの有用性

排泄誘導拒否場面ケア列記数について、チェック表使用前、使用 10 日後と 20 日後の 3 時点の平均値を示すと（図 3－6－2）の状況であった。

4 群を総合すると、（表 3－6－6・その 1）が示すように経過日数による有意差がない。また（表 3－6－6・その 2）が示すように群間の有意差もない。



（図3－6－2）排泄誘導拒否ケア列記数の変化

（表3－6－6）排泄誘導拒否ケア列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	6.85	2	3.43	2.306	0.109
経過日数×群	9.90	6	1.65	1.111	0.368
誤差	80.21	54	1.49		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	356.1	1	356.1	42.132	5.87E-07
群	8.8	3	2.9	0.348	0.791
誤差	228.2	27	8.5		

初任者チェック表使用群では、(図 3-6-2) にみるように使用前が平均 2.11、10 日後が平均 3.22、20 日後が平均 3.78 である。これらの数値には有意差があり、(表 3-6-7) が示すように使用前と比較して、10 日後で平均 1.11、20 日後で平均 1.67、それぞれ増加している。

初任者チェック表未使用群ではデータ 1 件で如何とも言い難い。

(表 3-6-7) 初任者チェック表使用群の排泄誘導拒否ケア列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	12.96	2	6.48	4.930	0.021
誤差	21.04	16	1.31		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.11	0.45	0.040	-2.16	-0.06
	20 日後	-1.67	0.62	0.028	-3.10	-0.23
10 日後	使用前	1.11	0.45	0.040	0.06	2.16
	20 日後	-0.56	0.53	0.325	-1.78	0.67
20 日後	使用前	1.67	0.62	0.028	0.23	3.10
	10 日後	0.56	0.53	0.325	-0.67	1.78

(表 3-6-8) は、欠表

また、介護経験群でも有意差がある。介護経験 1 年～3 年群では (表 3-6-9) が示すように使用前と比較して、10 日後で平均 2.20、20 日後で平均 1.90、それぞれ増加している。介護経験 4 年以上群では (表 3-6-10) が示すように使用前と比較して 20 日後に平均 1.45 増加している。

以上の結果が示すように排泄誘導拒否場面ケア数においては、初任者群、介護経験群ともにチェック表が有用であると判断できる。

ちなみに、初任者チェック表使用群では、大分類で“環境”(小分類で“排泄用具の代替”、“室温調整”、“トイレを清潔にする”)、“誘導時の声かけ”(小分類で“会話をしながら”、“トイレという言葉を使用しない”など)、“コミュニケーション”(小分類で“本人の思いを傾聴する”、“日頃のコミュニケーション量を増やす”)などである。(付表 6-3 および付表 6-4)

介護経験 1 年～3 年群では、大分類で“誘導時の声かけ”(小分類で“やさしく笑顔で”、“説明と納得”、“トイレという言葉を使用しない”)、“介助方法の工夫”(小分類で“介助者の性別考慮”)などである。(付表 6-3 および付表 6-4)

介護経験 4 年以上群では、大分類で“誘導時間”(小分類で“気分の良いときに”、“移動時”)、“介助方法の工夫”(小分類で“介助者の性別考慮”、“見守り、外で待つ”)などである。(付表 6-3 および付表 6-4)

(表3-6-9)介護経験1年～3年群の排泄誘導拒否ケア列記数の二元配置分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	28.47	2	14.23	6.373	0.008
誤差	40.20	18	2.23		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-2.20	0.74	0.016	-3.88	-0.52
	20 日後	-1.90	0.57	0.008	-3.18	-0.62
10 日後	使用前	2.20	0.74	0.016	0.52	3.88
	20 日後	0.30	0.68	0.671	-1.25	1.85
20 日後	使用前	1.90	0.57	0.008	0.62	3.18
	10 日後	-0.30	0.68	0.671	-1.85	1.25

(表3-6-10)介護経験4年以上群の排泄誘導拒否ケア列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	11.70	2	5.85	6.166	0.008
誤差	18.97	20	0.95		

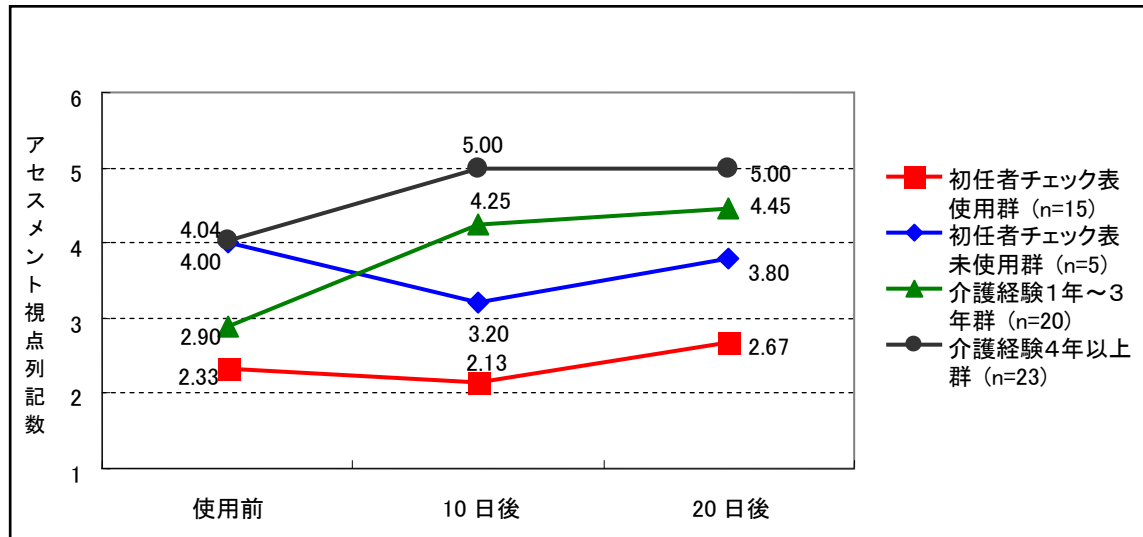
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.82	0.44	0.095	-1.81	0.17
	20 日後	-1.45	0.39	0.004	-2.32	-0.59
10 日後	使用前	0.82	0.44	0.095	-0.17	1.81
	20 日後	-0.64	0.41	0.152	-1.55	0.28
20 日後	使用前	1.45	0.39	0.004	0.59	2.32
	10 日後	0.64	0.41	0.152	-0.28	1.55

⑦ー１ 入浴拒否場面アセスメント視点での有用性

入浴拒否場面アセスメント視点列記数について、チェック表使用前、10日後、20日後の3時点の平均値を示すと（図3－7－1）の状況であった。

4群を総合すると、（表3－7－1・その1）が示すように経過日数による有意差がない。しかし（表3－7－1・その2）が示すように群間の有意差があり、初任者群ではアセスメント視点列記数が介護経験4年以上群より少ないことが（図3－7－1）で読み取れる。



（図3－7－1）入浴拒否アセスメント視点列記数の変化

（表3－7－1）入浴拒否アセスメント視点列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	9.68	2	4.84	2.293	0.105
経過日数×群	18.66	6	3.11	1.474	0.193
誤差	248.96	118	2.11		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	1773.7	1	1773.7	170.859	4.50E-19
群	145.1	3	48.4	4.660	0.005
誤差	612.5	59	10.4		

初任者チェック表使用群では、(図 3-7-1) にみるように使用前が平均 2.33、10 日後が平均 2.13、20 日後が平均 2.67 であるが、(表 3-7-2) が示すようにこれらの数値には有意差がない。

初任者チェック表未使用群でも (表 3-7-3) が示すように有意差がない。

(表 3-7-2) 初任者チェック表使用群の入浴拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	2.18	2	1.09	2.104	0.141
誤差	14.49	28	0.52		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.20	0.28	0.486	-0.40	0.80
	20 日後	-0.33	0.25	0.207	-0.87	0.21
10 日後	使用前	-0.20	0.28	0.486	-0.80	0.40
	20 日後	-0.53	0.26	0.056	-1.08	0.02
20 日後	使用前	0.33	0.25	0.207	-0.21	0.87
	10 日後	0.53	0.26	0.056	-0.02	1.08

(表 3-7-3) 初任者チェック表未使用群の入浴拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	1.73	2	0.87	0.286	0.759
誤差	24.27	8	3.03		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.80	0.86	0.405	-1.59	3.19
	20 日後	0.20	1.20	0.876	-3.13	3.53
10 日後	使用前	-0.80	0.86	0.405	-3.19	1.59
	20 日後	-0.60	1.21	0.646	-3.95	2.75
20 日後	使用前	-0.20	1.20	0.876	-3.53	3.13
	10 日後	0.60	1.21	0.646	-2.75	3.95

また、介護経験群では、(表3-7-4および表3-7-5)が示すように、1年～3年および4年以上の両群ともに有意差がある。介護経験1年～3年群では使用前と比較して、10日後で平均1.35、20日後で平均1.55、それぞれ増加している。介護経験4年以上群では使用前と比較して、10日後・20日後ともに平均0.96増加している。

以上の結果が示すように入浴拒否場面アセスメント視点列記数においては、チェック表が介護経験群に対して有用であると判断できる。

ちなみに、介護経験1年～3年群で使用前と比較して20日後に増加が際立つ項目をあげると、大分類で“入浴スタイル”(小分類で“湯温”、“浴室の温度”)、“健康面”(小分類で“バイタル・体調”、“失禁有無”、“排泄状況”)などである。(付表7-1および付表7-2)

同様に介護経験4年以上群で使用前と比較して20日後に増加が際立つ項目をあげると、大分類で“健康面”(小分類で“失禁有無”、“バイタル・体調”、“清潔度”)、“人間関係”(小分類で“スタッフとの関係”)などである。(付表7-1および付表7-2)

(表3-7-4)介護経験1年～3年群の入浴拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	28.43	2	14.22	5.499	0.008
誤差	98.23	38	2.59		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.35	0.48	0.012	-2.36	-0.34
	20 日後	-1.55	0.65	0.027	-2.90	-0.20
10 日後	使用前	1.35	0.48	0.012	0.34	2.36
	20 日後	-0.20	0.35	0.577	-0.94	0.54
20 日後	使用前	1.55	0.65	0.027	0.20	2.90
	10 日後	0.20	0.35	0.577	-0.54	0.94

(表3-7-5)介護経験4年以上群の入浴拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	14.03	2	7.01	2.756	0.075
誤差	111.97	44	2.54		

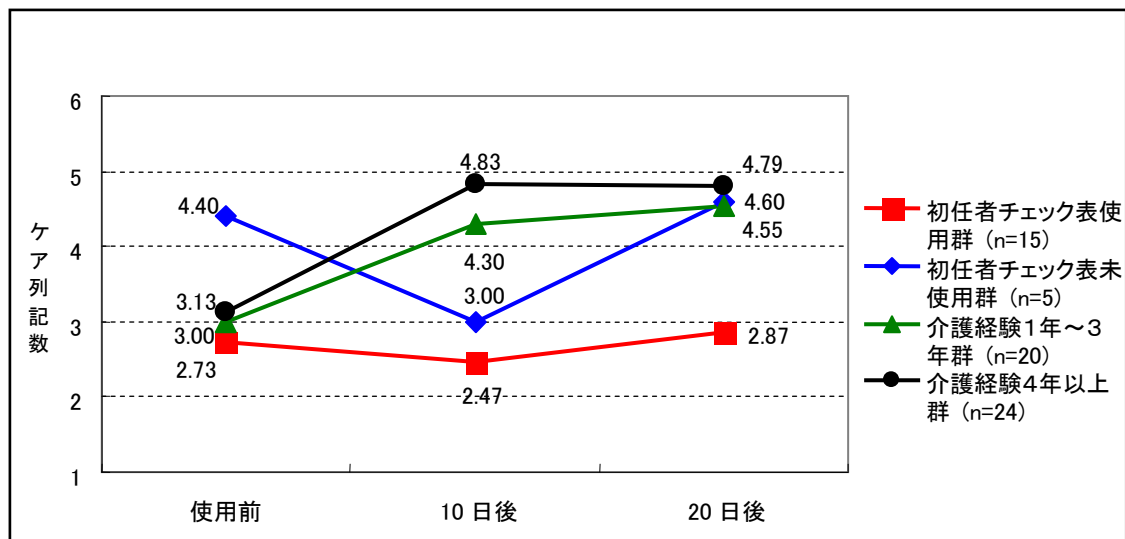
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.96	0.42	0.034	-1.84	-0.08
	20 日後	-0.96	0.43	0.038	-1.85	-0.06
10 日後	使用前	0.96	0.42	0.034	0.08	1.84
	20 日後	0.00	0.54	1.000	-1.13	1.13
20 日後	使用前	0.96	0.43	0.038	0.06	1.85
	10 日後	0.00	0.54	1.000	-1.13	1.13

⑦ー２ 入浴拒否場面ケアでの有用性

入浴拒否場面ケア列記数について、チェック表使用前、使用 10 日後と 20 日後の 3 時点の平均値を示すと（図 3－7－2）の状況であった。

4 群を総合すると、（表 3－7－6・その 1）が示すように経過日数によって有意差がある。しかし（表 3－7－6・その 2）が示すように群間の有意差はない。



（図 3－7－2）入浴拒否ケア列記数の変化

（表 3－7－6）入浴拒否ケア列記数の二元配置分散分析結果

（その 1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	17.93	2	8.97	3.721	0.027
経過日数 × 群	35.59	6	5.93	2.461	0.028
誤差	289.21	120	2.41		

（その 2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	1855.9	1	1855.9	206.726	4.24E-21
群	71.9	3	24.0	2.670	0.056
誤差	538.7	60	9.0		

初任者チェック表使用群では、(図 3-7-2) にみるように使用前が平均 2.73、10 日後が平均 2.47、20 日後が平均 2.87 である。(表 3-7-7) が示すようにこれらの数値には有意差がない。

初任者チェック表未使用群でも (表 3-7-8) が示すように有意差がない。

(表 3-7-7) 初任者チェック表使用群の入浴拒否ケア列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	1.24	2	0.62	0.566	0.574
誤差	30.76	28	1.10		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.27	0.33	0.433	-0.44	0.98
	20 日後	-0.13	0.46	0.774	-1.11	0.85
10 日後	使用前	-0.27	0.33	0.433	-0.98	0.44
	20 日後	-0.40	0.35	0.271	-1.15	0.35
20 日後	使用前	0.13	0.46	0.774	-0.85	1.11
	10 日後	0.40	0.35	0.271	-0.35	1.15

(表 3-7-8) 初任者チェック表未使用群の入浴拒否ケア列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	7.60	2	3.80	1.046	0.395
誤差	29.07	8	3.63		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	1.40	0.68	0.108	-0.48	3.28
	20 日後	-0.20	1.02	0.854	-3.03	2.63
10 日後	使用前	-1.40	0.68	0.108	-3.28	0.48
	20 日後	-1.60	1.69	0.398	-6.30	3.10
20 日後	使用前	0.20	1.02	0.854	-2.63	3.03
	10 日後	1.60	1.69	0.398	-3.10	6.30

一方、(表3-7-9および表3-7-10)が示すように介護経験群では有意差がある。介護経験1年～3年群では(表3-7-9)が示すように使用前と比較して、10日後で平均1.30、20日後で平均1.55、それぞれ増加している。介護経験4年以上群では(表3-7-10)が示すように使用前と比較して、10日後で平均1.71、20日後で平均1.67、それぞれ増加している。

以上の結果が示すように入浴拒否場面ケア数においては、チェック表が介護経験者に対して有用であると判断できる。

ちなみに、介護経験1年～3年群で使用前と比較して20日後に増加が際立つ項目をあげると、大分類で“入浴環境の調整”(小分類で“安全な環境づくり”、“入浴剤や風呂備品の工夫”、“音楽をかける”)、“入浴時間の調整”(小分類で“過去の入浴時間”)などである。(付表7-3および付表7-4)

同様に介護経験4年以上群では、大分類で“誘導の工夫”(小分類で“トイレ誘導時に一緒に”、“身だしなみの重要性”)、“声かけの工夫”(小分類で“分かりやすい声かけ”、“しつこく誘わない”)、“介助者の調整”(小分類で“信頼関係のあるスタッフ”、“同性介護”)、“入浴方法の工夫”(小分類で“身体の一部から”、“お礼やねぎらい”)などである。(付表7-3および付表7-4)

(表3-7-9)介護経験1年～3年群の入浴拒否ケア列記数の二元配置分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	27.70	2	13.85	9.936	0.000
誤差	52.97	38	1.39		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.30	0.44	0.008	-2.21	-0.39
	20 日後	-1.55	0.37	0.001	-2.33	-0.77
10 日後	使用前	1.30	0.44	0.008	0.39	2.21
	20 日後	-0.25	0.30	0.412	-0.87	0.37
20 日後	使用前	1.55	0.37	0.001	0.77	2.33
	10 日後	0.25	0.30	0.412	-0.37	0.87

(表3-7-10)介護経験4年以上群の入浴拒否ケア列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	45.58	2	22.79	5.943	0.005
誤差	176.42	46	3.84		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.71	0.49	0.002	-2.72	-0.69
	20 日後	-1.67	0.59	0.010	-2.89	-0.44
10 日後	使用前	1.71	0.49	0.002	0.69	2.72
	20 日後	0.04	0.61	0.946	-1.21	1.30
20 日後	使用前	1.67	0.59	0.010	0.44	2.89
	10 日後	-0.04	0.61	0.946	-1.30	1.21

⑧ー１ 洗髪拒否場面アセスメント視点での有用性

洗髪拒否場面アセスメント視点列記数について、チェック表使用前、10 日後、20 日後の 3 時点の平均値を示すと（図 3－8－1）の状況であった。

いずれの群もデータ僅少で参考にとどめたいが、あえて述べると次の状況である。

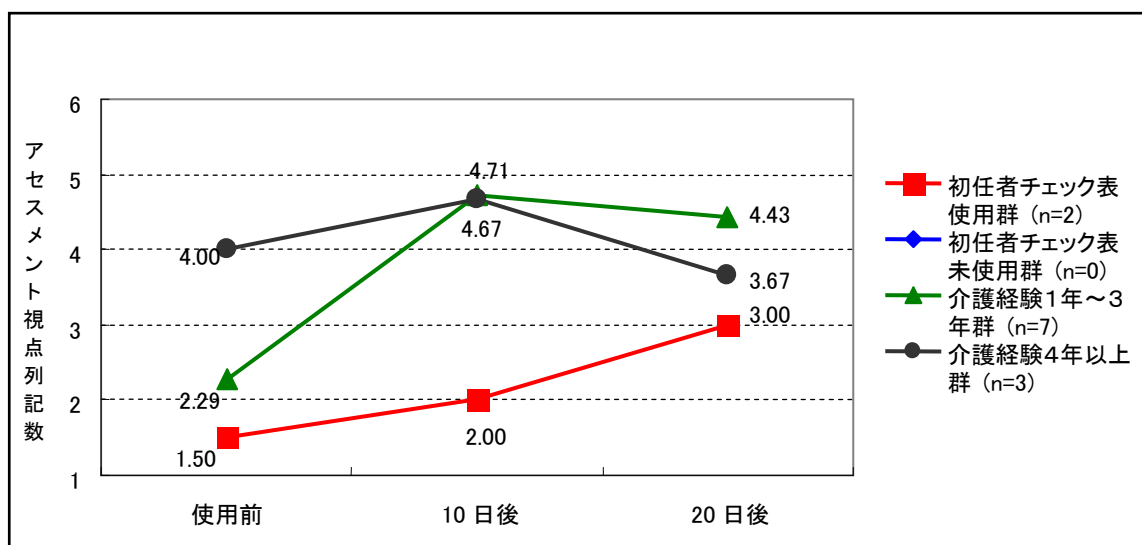
4 群を総合すると、（表 3－8－1・その 1）が示すように経過日数による有意差がない。また（表 3－8－1・その 2）が示すように群間の有意差もない。

初任者チェック表使用群では、（図 3－8－1）にみるように使用前が平均 1.50、10 日後が平均 2.00、20 日後が平均 3.00 であるが、（表 3－8－2）が示すようにこれらの数値には有意差がない。

初任者チェック表未使用群ではデータが得られなかった。

また、介護経験群も（表 3－8－4 および表 3－8－5）が示すように有意差がない。

以上の結果が示すように洗髪拒否場面アセスメント視点においては、データ僅少から統計的にはチェック表の有用性判断に難がある。



（図3－8－1）洗髪拒否アセスメント視点列記数の変化

（表3－8－1）洗髪拒否アセスメント視点列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	8.18	2	4.09	1.125	0.346
経過日数×群	9.17	4	2.29	0.630	0.647
誤差	65.44	18	3.64		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	312.7	1	312.7	42.030	1.14E-04
群	15.6	2	7.8	1.048	0.390
誤差	67.0	9	7.4		

(表3-8-2) 初任者チェック表使用群の洗髪拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	2.33	2	1.17	1.000	0.500
誤差	2.33	2	1.17		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85
	20 日後	-1.50	1.50	0.500	-20.56	17.56
10 日後	使用前	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85
	20 日後	-1.00	1.00	0.500	-13.71	11.71
20 日後	使用前	1.50	1.50	0.500	-17.56	20.56
	10 日後	1.00	1.00	0.500	-11.71	13.71

(表3-8-3)は、欠表

(表3-8-4) 介護経験1年～3年群の洗髪拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	24.67	2	12.33	2.643	0.112
誤差	56.00	12	4.67		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-2.43	1.13	0.075	-5.20	0.34
	20 日後	-2.14	1.55	0.216	-5.93	1.65
10 日後	使用前	2.43	1.13	0.075	-0.34	5.20
	20 日後	0.29	0.57	0.631	-1.10	1.67
20 日後	使用前	2.14	1.55	0.216	-1.65	5.93
	10 日後	-0.29	0.57	0.631	-1.67	1.10

(表3-8-5) 介護経験4年以上群の洗髪拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	1.56	2	0.78	0.438	0.673
誤差	7.11	4	1.78		

(その2) 経過日数間の比較検定

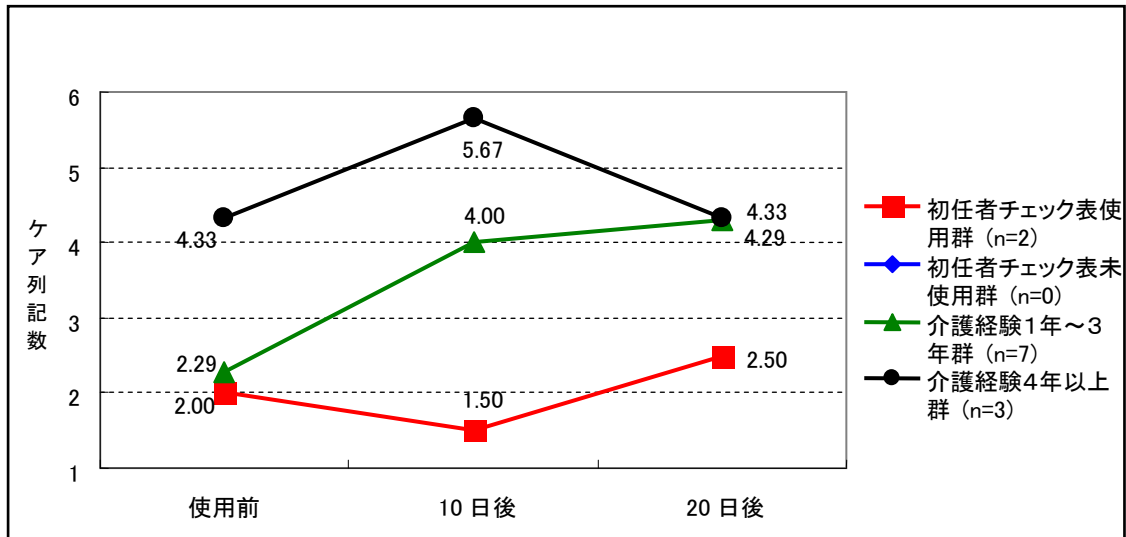
(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-0.67	1.45	0.691	-6.92	5.58
	20 日後	0.33	0.33	0.423	-1.10	1.77
10 日後	使用前	0.67	1.45	0.691	-5.58	6.92
	20 日後	1.00	1.15	0.478	-3.97	5.97
20 日後	使用前	-0.33	0.33	0.423	-1.77	1.10
	10 日後	-1.00	1.15	0.478	-5.97	3.97

⑧ー2 洗髪拒否場面ケアでの有用性

洗髪拒否場面ケア列記数について、チェック表使用前、使用10日後と20日後の3時点の平均値を示すと（図3－8－2）の状況であった。

これもデータ僅少で参考にとどめたいが、あえて述べると次の状況である。

総合すると、（表3－8－6・その1）が示すように経過日数による有意差がない。
また（表3－8－6・その2）が示すように群間の有意差もない。



（図3－8－2）洗髪拒否ケア列記数の変化

（表3－8－6）洗髪拒否ケア列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	4.35	2	2.18	1.261	0.307
経過日数×群	8.44	4	2.11	1.222	0.336
誤差	31.06	18	1.73		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	326.1	1	326.1	55.598	3.87E-05
群	28.0	2	14.0	2.383	0.148
誤差	52.8	9	5.9		

初任者チェック表使用群では、(図 3-8-2) にみるように使用前が平均 2.00、10 日後が平均 1.50、20 日後が平均 2.50 であり、(表 3-8-7) が示すようにこれらの数値には有意差がない。

初任者チェック表未使用群ではデータが得られなかった。

(表 3-8-7) 初任者チェック表使用群の洗髪拒否ケア列記数の分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	1.00	2	0.50	1.000	0.500
誤差	1.00	2	0.50		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85
	20 日後	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85
10 日後	使用前	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85
	20 日後	-1.00	1.00	0.500	-13.71	11.71
20 日後	使用前	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85
	10 日後	1.00	1.00	0.500	-11.71	13.71

(表 3-8-8) は、欠表

介護経験 1 年～3 年群では、(表 3-8-9) が示すように有意差があり、使用前と比較して 20 日後で平均 2.00 増加している。

しかし介護経験 4 年以上群では (表 3-8-10) が示すように有意差がない。

以上の結果が示すように洗髪拒否場面ケアにおいては、データ僅少から統計的判断には難があるものの、介護経験 1 年～3 年群でチェック表の有用性が高い。

ちなみに、介護経験 1 年～3 年群で使用前と比較して 20 日後に増加が際立つ項目をあげると、大分類で“声かけ・誘導の工夫”(小分類で“仲の良い人から誘導”)、“介助者の工夫”(小分類で“仲の良い人と一緒に入浴”)などである。(付表 8-3 および付表 8-4)

(表 3-8-9) 介護経験 1 年～3 年群の洗髪拒否ケア列記数の二元配置分散分析結果

(その 1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	16.38	2	8.19	4.845	0.029
誤差	20.29	12	1.69		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.71	0.87	0.095	-3.83	0.40
	20 日後	-2.00	0.58	0.013	-3.41	-0.59
10 日後	使用前	1.71	0.87	0.095	-0.40	3.83
	20 日後	-0.29	0.61	0.654	-1.77	1.20
20 日後	使用前	2.00	0.58	0.013	0.59	3.41
	10 日後	0.29	0.61	0.654	-1.20	1.77

(表3-8-10)介護経験4年以上群の洗髪拒否ケア列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	3.56	2	1.78	0.727	0.538
誤差	9.78	4	2.44		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.33	1.76	0.529	-8.92	6.26
	20 日後	0.00	0.58	1.000	-2.48	2.48
10 日後	使用前	1.33	1.76	0.529	-6.26	8.92
	20 日後	1.33	1.20	0.383	-3.84	6.50
20 日後	使用前	0.00	0.58	1.000	-2.48	2.48
	10 日後	-1.33	1.20	0.383	-6.50	3.84

⑨ー１ 清拭拒否場面アセスメント視点での有用性

清拭拒否場面アセスメント視点列記数について、チェック表使用前、10 日後、20 日後の 3 時点の平均値を示すと（図 3－9－1）の状況であった。

データが極めて少なく参考にとどめたいが、あえて述べると次の状況である。

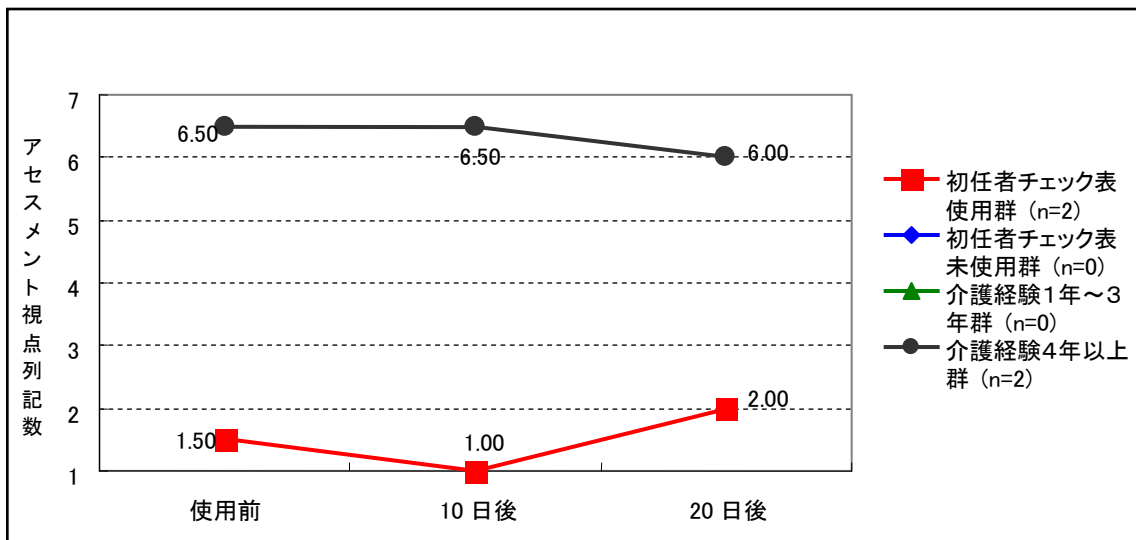
4 群を総合すると、（表 3－9－1・その 1）が示すように経過日数による有意差がない。また（表 3－9－1・その 2）が示すように群間の有意差もない。

初任者チェック表使用群では、（図 3－9－1）にみるように使用前が平均 1.50、10 日後が平均 1.00、20 日後が平均 2.00 であるが、（表 3－9－2）が示すようにこれらの数値には有意差がない。

初任者チェック表未使用群と介護経験 1 年～3 年群ではデータが得られなかった。

また、介護経験 4 年以上群も（表 3－9－5）が示すように有意差がない。

以上の結果が示すように清拭拒否場面アセスメント視点においては、データ僅少から統計的にはチェック表の有用性判断に難がある。



（図3－9－1）清拭拒否アセスメント視点列記数の変化

（表3－9－1）清拭拒否アセスメント視点列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	0.17	2	0.08	0.010	0.990
経過日数×群	1.17	2	0.58	0.073	0.931
誤差	32.00	4	8.00		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	184.1	1	184.1	14.438	6.28E-02
群	70.1	1	70.1	5.497	0.144
誤差	25.5	2	12.8		

(表3-9-2) 初任者チェック表使用群の清拭拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	1.00	2	0.50	1.000	0.500
誤差	1.00	2	0.50		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85
	20 日後	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85
10 日後	使用前	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85
	20 日後	-1.00	1.00	0.500	-13.71	11.71
20 日後	使用前	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85
	10 日後	1.00	1.00	0.500	-11.71	13.71

(表3-9-3)は、欠表

(表3-9-4)は、欠表

(表3-9-5) 介護経験4年以上群の清拭拒否アセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	0.33	2	0.17	0.011	0.989
誤差	31.00	2	15.50		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.00	2.00	1.000	-25.41	25.41
	20 日後	0.50	5.50	0.942	-69.38	70.38
10 日後	使用前	0.00	2.00	1.000	-25.41	25.41
	20 日後	0.50	3.50	0.910	-43.97	44.97
20 日後	使用前	-0.50	5.50	0.942	-70.38	69.38
	10 日後	-0.50	3.50	0.910	-44.97	43.97

⑨ー２ 清拭拒否場面ケアでの有用性

清拭拒否場面ケア列記数について、チェック表使用前、使用 10 日後と 20 日後の 3 時点の平均値を示すと（図 3－9－2）の状況であった。

これもデータ僅少で参考にとどめたいが、あえて述べると次の状況である。

総合すると、（表 3－9－6・その 1）が示すように経過日数による有意差がない。

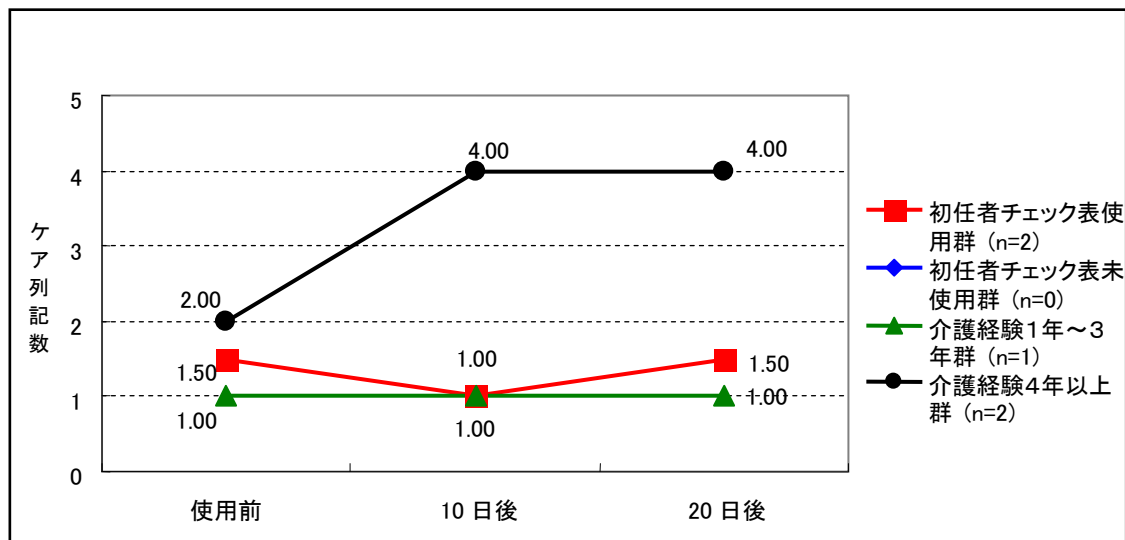
また（表 3－9－6・その 2）が示すように群間の有意差もない。

初任者チェック表使用群では、（図 3－9－2）にみるように使用前が平均 1.50、10 日後が平均 1.00、20 日後が平均 1.50 であり、（表 3－9－7）が示すようにこれらの数値には有意差がない。

初任者チェック表未使用群と介護経験 1 年～3 年群ではデータが得られなかった。

介護経験 4 年以上群では（表 3－9－10）が示すように有意差がない。

以上の結果が示すように清拭拒否場面ケアにおいては、データ僅少から統計的判断には難がある。



（図3－9－2）清拭拒否ケア列記数の変化

（表3－9－6）清拭拒否ケア列記数の二元配置分散分析結果

（その1）総合的にみた経過日数間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	1.08	2	0.54	1.300	0.367
経過日数×群	3.93	4	0.98	2.360	0.213
誤差	1.67	4	0.42		

（その2）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	48.2	1	48.2	72.250	1.36E-02
群	16.3	2	8.1	12.200	0.076
誤差	1.3	2	0.7		

(表3-9-7) 初任者チェック表使用群の清拭拒否ケア列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	0.33	2	0.17	1.000	0.500
誤差	0.33	2	0.17		

(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85
	20 日後	0.00	0.00		0.00	0.00
10 日後	使用前	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85
	20 日後	-0.50	0.50	0.500	-6.85	5.85
20 日後	使用前	0.00	0.00		0.00	0.00
	10 日後	0.50	0.50	0.500	-5.85	6.85

(表3-9-8)は、欠表

(表3-9-9)は、欠表

(表3-9-10) 介護経験 4 年以上群の清拭拒否ケア列記数の分散分析結果

(その1) 経過日数による検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	5.33	2	2.67	4.000	0.200
誤差	1.33	2	0.67		

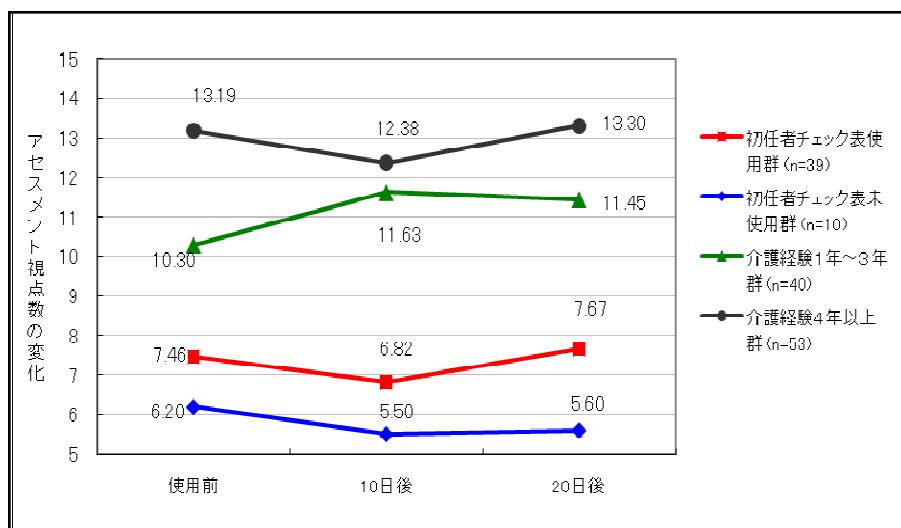
(その2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
使用前	10 日後	-2.00	1.00	0.295	-14.71	10.71
	20 日後	-2.00	1.00	0.295	-14.71	10.71
10 日後	使用前	2.00	1.00	0.295	-10.71	14.71
	20 日後	0.00	0.00		0.00	0.00
20 日後	使用前	2.00	1.00	0.295	-10.71	14.71
	10 日後	0.00	0.00		0.00	0.00

⑩－１ ９課題全体におけるアセスメント視点数での有用性

９課題のアセスメント視点列記数を合計した９課題全体におけるアセスメント視点列記数について、チェック表使用前、１０日後、２０日後の３時点の平均値を示すと（図３－１０－１）の状況であった。

４群を総合すると、（表３－１０－１・その１）が示すように経過日数による有意差が無いが、（表３－１－１・その２）が示すように群間の有意差があり、初任者群ではアセスメント視点列記数が介護経験４年以上群より少ないことが（図３－１０－１）で読み取れる。



（図3－１０－１）９課題全体におけるアセスメント視点列記数の変化

（表３－１０－１） ９課題全体におけるアセスメント視点列記数の二元配置分散分析結果
（その１）総合的にみた経過日数間の検定

（球面性の仮定）	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	8.5	2	4.2	0.134	0.875
経過日数×群	64.9	6	10.8	0.341	0.915
誤差	8761.5	276	31.7		

（その２）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	24443.9	1	24443.9	133.181	5.49E-22
群	2858.4	3	952.8	5.191	0.002
誤差	25328.5	138	183.5		

初任者チェック表使用群では、(図 3-10-1)にみるように使用前が平均 7.46、10 日後が平均 6.82、20 日後が平均 7.67 であり、これらの数値には有意差が無い(表 3-10-2)。初任者チェック表未使用群、介護経験 1 年～3 年及び 4 年以上群においても有意な差は無かった(表 3-10-3～表 3-10-5)。

以上の結果が示すように 9 課題全体におけるアセスメント視点列記数においては、視点数を増加させるような、学習効果は、いずれの介護経験においても認められなかった。

(表 3-10-2) 初任者チェック表使用群の 9 課題全体におけるアセスメント視点列記数の分散分析結果
(その 1) 経過日数による検定

(球面性の仮定)	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	15.20	2	7.60	0.797	0.455
誤差	724.80	76	9.54		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率(a)	差の 95% 信頼区間(a)	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.64	0.76	0.406	-0.90	2.19
	20 日後	-0.21	0.80	0.798	-1.82	1.41
10 日後	使用前	-0.64	0.76	0.406	-2.19	0.90
	20 日後	-0.85	0.50	0.098	-1.86	0.16
20 日後	使用前	0.21	0.80	0.798	-1.41	1.82
	10 日後	0.85	0.50	0.098	-0.16	1.86

(表 3-10-3) 初任者チェック表未使用群の 9 課題全体におけるアセスメント視点列記数の分散分析結果
(その 1) 経過日数による検定

(球面性の仮定)	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	2.87	2	1.43	0.659	0.529
誤差	39.13	18	2.17		

(その 2) 経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率(a)	差の 95% 信頼区間(a)	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.70	0.60	0.271	-0.65	2.05
	20 日後	0.60	0.70	0.415	-0.99	2.19
10 日後	使用前	-0.70	0.60	0.271	-2.05	0.65
	20 日後	-0.10	0.67	0.885	-1.62	1.42
20 日後	使用前	-0.60	0.70	0.415	-2.19	0.99
	10 日後	0.10	0.67	0.885	-1.42	1.62

(表3-10-4)介護経験1年～3年群の9課題全体におけるアセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1)経過日数による検定

(球面性の仮定)	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	41.45	2	20.73	0.306	0.737
誤差	5277.22	78	67.66		

(その2)経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率(a)	差の 95% 信頼区間(a)	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.33	1.79	0.464	-4.95	2.30
	20 日後	-1.15	2.49	0.647	-6.18	3.88
10 日後	使用前	1.33	1.79	0.464	-2.30	4.95
	20 日後	0.17	0.86	0.840	-1.57	1.92
20 日後	使用前	1.15	2.49	0.647	-3.88	6.18
	10 日後	-0.17	0.86	0.840	-1.92	1.57

(表3-10-5)介護経験4年以上群の9課題全体におけるアセスメント視点列記数の分散分析結果
(その1)経過日数による検定

(球面性の仮定)	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	26.96	2	13.48	0.515	0.599
誤差	2720.38	104	26.16		

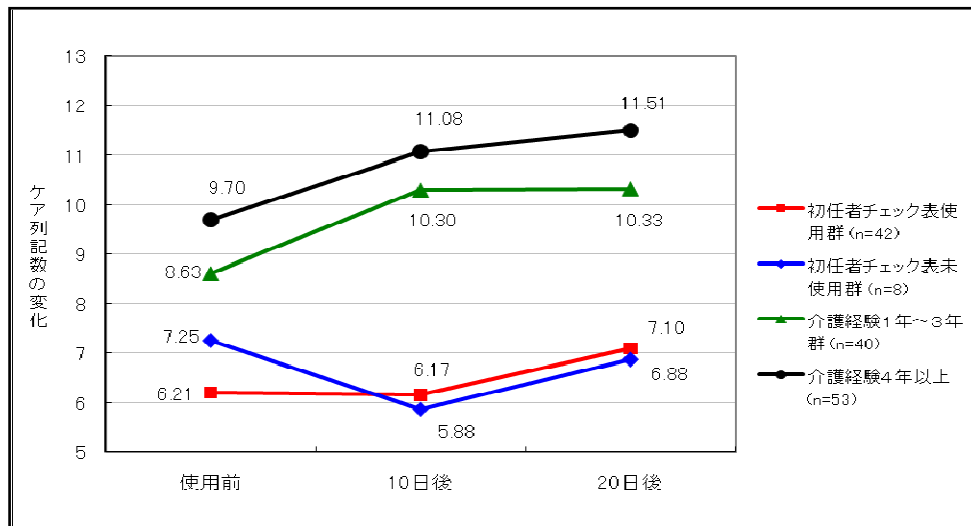
(その2)経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率(a)	差の 95% 信頼区間(a)	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.81	1.03	0.436	-1.26	2.88
	20 日後	-0.11	1.16	0.923	-2.45	2.22
10 日後	使用前	-0.81	1.03	0.436	-2.88	1.26
	20 日後	-0.92	0.74	0.215	-2.40	0.55
20 日後	使用前	0.11	1.16	0.923	-2.22	2.45
	10 日後	0.92	0.74	0.215	-0.55	2.40

⑩ー２ ９課題全体におけるケア数での有用性

９課題のケア列記数を合計した９課題全体におけるケア列記数について、チェック表使用前、使用１０日後と２０日後の３時点の平均値を示すと（図３－１０－２）の状況であった。

総合すると、（表３－１０－６・その１）が示すように経過日数による有意差がないが、（表３－１０－６・その２）が示すように初任者チェック表使用群は、介護経験１年以上群に比較して、有意にケア列記数が少ない。



（図３－１０－２）９課題全体におけるケア列記数の変化

（表３－１０－６）９課題全体におけるケア列記数の二元配置分散分析結果

（その１）総合的にみた経過日数間の検定

（球面性の仮定）	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	42.4	2	21.2	1.245	0.290
経過日数 × 群	61.1	6	10.2	0.598	0.732
誤差	4732.2	278	17.0		

（その２）総合的にみた群間の検定

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
切片	17651.0	1	17651.0	138.192	1.393E-22
群	1483.7	3	494.6	3.872	0.011
誤差	17754.2	139	127.7		

初任者チェック表使用群では、(図3-10-2)にみるように使用前が平均6.21、10日後が平均6.17、20日後が平均7.10であり、(表3-10-7)が示すように有意差があり、10日後平均6.17と20日後平均7.10とケア列記数が増加している。

初任者チェック表未使用群では(表3-10-8)が示すように、使用前平均7.25と10日後平均5.88に有意差があり、ケア列記数が減少している。

介護経験1年～3年群及び4年以上群では、(表3-10-9、表3-10-10)が示すように有意差は認められなかった。

以上の結果が示すように9課題全体におけるケア列記数について、介護経験別の増減数を見ると初任者チェック表使用群は他群に比較して、チェック表使用前におけるケア列記数が有意に少なく、チェック表使用によって20日後にはケア列記数が増加していた。介護経験1年以上群については、チェック表使用によるケア列記数の増加は認められなかった。

(表3-10-7) 初任者チェック表使用群の9課題全体におけるケア列記数の分散分析結果

(その1)経過日数による

検定

(球面性の仮定)	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	22.97	2	11.48	1.452	0.240
誤差	648.37	82	7.91		

(その2)経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差(I-J)	標準誤差	有意確率(a)	差の 95% 信頼区間(a)	
					下限	上限
使用前	10 日後	0.05	0.62	0.939	-1.20	1.30
	20 日後	-0.88	0.75	0.246	-2.39	0.63
10 日後	使用前	-0.05	0.62	0.939	-1.30	1.20
	20 日後	-0.93	0.43	0.037	-1.80	-0.06
20 日後	使用前	0.88	0.75	0.246	-0.63	2.39
	10 日後	0.93	0.43	0.037	0.06	1.80

(表3-10-8) 初任者チェック表未使用群の9課題全体におけるケア列記数の分散分析結果

(その1)経過日数による

検定

(球面性の仮定)	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	8.08	2	4.04	1.394	0.280
誤差	40.58	14	2.90		

(その2)経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差(I-J)	標準誤差	有意確率(a)	差の 95% 信頼区間(a)	
					下限	上限
使用前	10 日後	1.38	0.53	0.036	0.12	2.63
	20 日後	0.38	0.73	0.623	-1.35	2.10
10 日後	使用前	-1.38	0.53	0.036	-2.63	-0.12
	20 日後	-1.00	1.16	0.419	-3.75	1.75
20 日後	使用前	-0.38	0.73	0.623	-2.10	1.35
	10 日後	1.00	1.16	0.419	-1.75	3.75

(表3-10-9)介護経験1年～3年群の9課題全体におけるケア列記数の分散分析結果
(その1)経過日数による
検定

(球面性の仮定)	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	75.95	2	37.98	1.638	0.201
誤差	1808.72	78	23.19		

(その2)経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率(a)	差の 95% 信頼区間(a)	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.68	1.01	0.107	-3.73	0.38
	20 日後	-1.70	1.36	0.220	-4.46	1.06
10 日後	使用前	1.68	1.01	0.107	-0.38	3.73
	20 日後	-0.03	0.77	0.974	-1.58	1.53
20 日後	使用前	1.70	1.36	0.220	-1.06	4.46
	10 日後	0.03	0.77	0.974	-1.53	1.58

(表3-10-10)介護経験4年以上群の9課題全体におけるケア列記数の分散分析結果
(その1)経過日数による
検定

(球面性の仮定)	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
経過日数	94.81	2	47.40	2.206	0.115
誤差	2234.53	104	21.49		

(その2)経過日数間の比較検定

(I) 経過日数	(J) 経過日数	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率(a)	差の 95% 信頼区間(a)	
					下限	上限
使用前	10 日後	-1.38	0.96	0.158	-3.31	0.55
	20 日後	-1.81	1.04	0.088	-3.90	0.28
10 日後	使用前	1.38	0.96	0.158	-0.55	3.31
	20 日後	-0.43	0.65	0.506	-1.73	0.87
20 日後	使用前	1.81	1.04	0.088	-0.28	3.90
	10 日後	0.43	0.65	0.506	-0.87	1.73

(4) 研修教育暦からみたチェック表の有用性

ここで視点を変えて、チェック表使用によって変化するアセスメント視点数とケア数に、研修教育暦がどのように関連しているのか分析する。

分析方法は、チェック表使用前を起点とした 10 日後および 20 日後のアセスメント視点列記数の増減とケア列記数の増減のそれぞれと、介護職員の研修会参加回数などとの相関分析とした。

ここで用いた両列記数の増減は、9 課題合計の列記数増減とした。

研修教育暦については、平成 22 年度 1 年間の事業所内開催研修会開催回数（認知症研修会と全研修会で、非参加を含む）、事業所内研修会で参加した回数（認知症研修会と全研修会）、事業所外研修会で参加した回数（認知症研修会と全研修会）、の 6 項目とした。

なお、この相関分析は、初任者チェック表使用群、介護経験 1 年～3 年群、介護経験 4 年以上群、の 3 群別に行った。

①研修教育暦とアセスメント視点の変化

初任者群では、(表 4-1) が示すように、平成 22 年度 1 年間の事業所内研修会開催回数（非参加を含む）とアセスメント視点列記数増減に負の相関があり、同研修会開催回数が多い事業所の初任者ほどアセスメント視点列記数の増加が少なく、逆に同研修会開催回数が少ない事業所の初任者ほどアセスメント視点列記数の増加が多い傾向を意味している。それ以外の研修会との相関はない。これらの傾向は 10 日後と 20 日後共通である。

この結果から初任者群では、チェック表が事業所内研修会を補っているとも解釈できそうである。

(表 4-1) 初任者チェック表使用群のアセスメント視点列記数増減と研修教育との相関

			列記数増減(対使用前)	
			10 日後	20 日後
22 年度 1 年間の事業所内開催研修会(非参加を含む)	認知症研修会の開催回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.537 0.004 27	-0.591 0.001 27
	全ての研修会の開催回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.589 0.001 27	-0.675 0.000 27
事業所内開催で参加した研修会(過去を含む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.102 0.600 29	-0.098 0.613 29
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	0.012 0.950 30	-0.015 0.935 30
事業所外開催で参加した研修会(過去を含む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.147 0.422 32	-0.219 0.229 32
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.117 0.523 32	-0.076 0.680 32

介護経験 1 年～3 年群では、(表 4-2) が示すように、事業所外開催の認知症研修会参加回数とアセスメント視点列記数増減に負の相関があり、同研修会への参加回数が多い人ほどアセスメント視点列記数の増加が少なく、逆に同研修会参加回数が少ない人ほどアセスメント視点列記数の増加が多い傾向を意味している。それ以外の研修会との相関はない。これらの傾向は 10 日後と 20 日後共通である。

この結果から介護経験 1 年～3 年群では、チェック表が事業所外開催の認知症研

修会を補っているとも解釈できそうである。

(表4-2)介護経験1年～3年群のアセスメント視点列記数増減と研修教育との相関

			列記数増減(対使用前)	
			10日後	20日後
22年度1年間の事業 所内開催研修会(非 参加を含む)	認知症研修会の開催回数	Pearson の相関係数	0.077	0.017
		有意確率(両側)	0.660	0.921
		N	35	35
	全ての研修会の開催回数	Pearson の相関係数	-0.003	-0.003
		有意確率(両側)	0.986	0.985
		N	35	35
事業所内開催で参加 した研修会(過去を含 む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数	0.043	0.021
		有意確率(両側)	0.810	0.908
		N	33	33
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数	0.095	0.085
		有意確率(両側)	0.625	0.662
		N	29	29
事業所外開催で参加 した研修会(過去を含 む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数	-0.507	-0.461
		有意確率(両側)	0.003	0.008
		N	32	32
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数	-0.171	-0.094
		有意確率(両側)	0.365	0.619
		N	30	30

介護経験 4 年以上群では、(表 4－3) が示すように、平成 22 年度 1 年間の事業所内開催の認知症研修会開催回数と正の相関があり、同研修会開催が多い事業所の介護経験 4 年以上の人ほど 20 日後のアセスメント視点列記数増加が多く、同研修会開催が少ない事業所の介護経験 4 年以上の人では 20 日後のアセスメント視点列記数増加が少ないことを意味している。それ以外の研修会との相関はない。

この結果から介護経験 4 年以上群では、チェック表がモチベーションを高めているとも解釈できそうである。

(表 4－3)介護経験 4 年以上群のアセスメント視点列記数増減と研修教育との相関

			列記数増減(対使用前)	
			10 日後	20 日後
22 年度 1 年間の事業所内開催研修会(非参加を含む)	認知症研修会の開催回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.119 0.475 38	0.382 0.018 38
	全ての研修会の開催回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.045 0.787 39	0.121 0.463 39
事業所内開催で参加した研修会(過去を含む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	0.077 0.636 40	0.235 0.144 40
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.086 0.612 37	-0.031 0.856 37
事業所外開催で参加した研修会(過去を含む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	0.200 0.249 35	0.170 0.328 35
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.120 0.480 37	-0.078 0.647 37

②研修教育暦とケアの変化

初任者群では、(表4-4)が示すように、平成22年度1年間の事業所内研修会開催回数(非参加を含む)とケア列記数増減に負の相関があり、同研修会開催回数が多い事業所の初任者ほどケア列記数の増加が少なく、逆に同研修会開催回数が少ない事業所の初任者ほどケア列記数の増加が多い傾向を意味している。それ以外の研修会との相関はない。これらの傾向は10日後と20日後共通である。

この結果から初任者群では、チェック表が事業所内研修会を補っているとも解釈できそうである。

(表4-4)初任者チェック表使用群のケア列記数増減と研修教育との相関

			列記数増減(対使用前)	
			10 日後	20 日後
22 年度1年間の事業所内開催研修会(非参加を含む)	認知症研修会の開催回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.614 0.000 29	-0.655 0.000 29
	全ての研修会の開催回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.573 0.001 29	-0.670 0.000 29
事業所内開催で参加した研修会(過去を含む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.144 0.441 31	-0.217 0.241 31
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	0.025 0.893 32	-0.025 0.893 32
事業所外開催で参加した研修会(過去を含む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.207 0.240 34	-0.159 0.370 34
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.092 0.605 34	-0.097 0.586 34

介護経験 1 年～3 年群では、(表 4－5) が示すように、事業所外開催の認知症研修会参加回数とケア列記数増減に負の相関があり、同研修会への参加回数が多い人ほど 20 日後のケア列記数の増加が少なく、逆に同研修会参加回数が少ない人ほど 20 日後のケア列記数の増加が多い傾向を意味している。それ以外の研修会との相関はない。

この結果から介護経験 1 年～3 年群では、チェック表が事業所外開催の認知症研修会を補っているとも解釈できそうである。

(表 4－5)介護経験 1 年～3 年群のケア列記数増減と研修教育との相関

			列記数増減(対使用前)	
			10 日後	20 日後
22 年度1年間の事業 所内開催研修会(非 参加を含む)	認知症研修会の開催回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.004 0.981 35	-0.014 0.936 35
	全ての研修会の開催回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.079 0.652 35	-0.017 0.921 35
事業所内開催で参加 した研修会(過去を含 む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.065 0.719 33	0.043 0.811 33
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.031 0.872 29	0.107 0.579 29
事業所外開催で参加 した研修会(過去を含 む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.338 0.059 32	-0.540 0.001 32
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数 有意確率(両側) N	-0.003 0.989 30	-0.214 0.256 30

介護経験 4 年以上群では、(表 4－6) が示すように、平成 22 年度 1 年間の事業所内開催の認知症研修会開催回数と正の相関があり、同研修会開催が多い事業所の介護経験 4 年以上の人ほど 20 日後のケア列記数増加が多く、同研修会開催が少ない事業所の介護経験 4 年以上の人では 20 日後のケア列記数増加が少ないことを意味している。それ以外の研修会との相関はない。

この結果から介護経験 4 年以上群では、チェック表がモチベーションを高めているとも解釈できそうである。

(表 4－6)介護経験 4 年以上群のケア列記数増減と研修教育との相関

			列記数増減(対使用前)	
			10 日後	20 日後
22 年度 1 年間の事業所内開催研修会(非参加を含む)	認知症研修会の開催回数	Pearson の相関係数	0.123	0.538
		有意確率(両側)	0.461	0.000
		N	38	38
	全ての研修会の開催回数	Pearson の相関係数	0.091	0.300
		有意確率(両側)	0.582	0.064
		N	39	39
事業所内開催で参加した研修会(過去を含む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数	0.201	0.231
		有意確率(両側)	0.213	0.151
		N	40	40
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数	0.161	0.157
		有意確率(両側)	0.341	0.352
		N	37	37
事業所外開催で参加した研修会(過去を含む)	認知症研修会の参加回数	Pearson の相関係数	0.255	0.209
		有意確率(両側)	0.139	0.227
		N	35	35
	全研修会の参加回数	Pearson の相関係数	-0.019	-0.014
		有意確率(両側)	0.910	0.935
		N	37	37

D. 結論

1. 食事行為の課題解決に関する効果

1) 食事中断場面

(1) アセスメント視点数及びケア列記数への効果

教材を使用した介護経験 1 年未満群（以下、介護初任者）における教材使用前のアセスメント視点数は、介護経験 4 年以上群に比較して有意に少ない。介護初任者は教材使用によってアセスメント視点数が増加しており、介護経験 1 年以上者では変化が認められていない。ケアの列記数についても同様に、介護初任者のケア列記数は、他の群に比較して有意に少ないが、教材使用によって 20 日後には増加が認められている。つまり、食事中断場面における解決について、アセスメント視点数及びケア数の増加に本教材が有効であり、介護初任者のアセスメント視点数及びケアの選択肢を増加させる学習効果を認めることができる。介護経験 4 年以上群についても、ケア列記数が教材使用によって増加が認められており、介護初任者のみならず介護経験者にとっても効果が認められた。介護経験 4 年以上者のアセスメント視点は教材使用前から多くの選択肢があり、教材使用による学習効果は認められない。しかし介護経験 4 年以上者のケア方略については、日々の介護業務の中で整理されていないケア方略が、本教材の使用によって、意識されていなかったケア方略を確認することで改めてケアの選択肢として定着したものと考えられる。

(2) アセスメント内容及びケア内容への効果

介護初任者の本教材使用によるアセスメント視点内容の変化については、食事の量や形、材質など食事内容に関する視点、排泄や運動量など健康状態に関する視点、食事環境に関する視点、人間関係に関する視点が増加している。ケア内容の変化については、アセスメント視点内容の変化に対応する形で食事形態の変更など食事の工夫や、食事環境の調整、生活リズムの調整や義歯調整などのケア方略が増加している。これらの変化は、身体状況等の健康面や環境へのアセスメント視点が不足していたものが増加し、食事内容についてはより具体的な視点数が増加したことを意味している。介護経験 4 年以上者についても介護初任者同様に、食事内容、食事環境、人間関係に関する視点やケア方略が増加している。

2) 食事拒否場面

(1) アセスメント視点数及びケア列記数への効果

教材使用前の介護初任者におけるアセスメント視点数は他の群に比較して少なく、教材使用後も増減は認められなかった。ケア数についても介護経験や教材使用による有意な差は認められず、介護初任者への学習効果は認められていない。

しかし、介護経験 4 年以上群ではアセスメント視点数及びケア数について、教材使用後における変化量が有意に認められている。食事拒否という課題解決については、介護経験が長くてもケア方法及びアセスメント視点について確固とした選択肢が定着しておらず、本教材による確認によって不確定であったものが確定されたものと解釈できる。介護初任者についてはアセスメント視点及びケアの双方において変化が無く教材内容が不適切である可能性が示唆される。

(2) アセスメント内容及びケア内容への効果

介護経験 4 年以上のいわゆるベテランの介護者への学習効果について言及すると、視点としては、食事内容や健康面の視点数が増加し、それらに対応する形で食事の工夫や排泄調整、体調確認、声かけの工夫等の方略が増加している。アセスメント視点の内容及びケア内容の変化については、本教材の使用によって新たな見方が増えたというよりも、アセスメントの視点やケアの方向性は同様のまま具体的な視点や方略数が増加したと考えられる。

3) 食事過剰要求場面

(1) アセスメント視点数及びケア列記数への効果

本教材使用前の介護初任者のアセスメント視点数は他群に比較して有意に少なく、教材使用後におけるアセスメント視点数は有意に増加している。ケア数につ

いても教材使用によるケア列記数は有意に増加しており、食事過剰要求場面における解決について、本教材使用による介護初任者への学習効果が認められた。

同時に介護経験 4 年以上群についても、教材使用によってアセスメント視点及びケア数が有意に増加しており、ベテラン職員への効果も示唆された。介護初任者及び介護経験 4 年以上の職員への教材による効果メカニズムは異なる過程と考えられるが、学習効果としてアセスメント視点数及びケア方略数を増加させるためのツールとして有用であることが示唆された。

(2) アセスメント内容及びケア内容への効果

アセスメント内容への効果については、介護初任者及び介護経験 4 年以上群とも共通しており、食事内容や健康面、環境面への視点数が増加している。ケア内容については、アセスメント視点の変化とは対応せず、介護初任者では声かけの工夫に関する方法数が増加し、介護経験 4 年以上では食事の工夫、声かけの工夫等が増加している。食事過剰要求場面に対するケアについては、本教材使用によって新たな見方や具体的な方略数が増加したと考えられ、平時よりアセスメント視点に乏しく、具体的なケアの選択肢不足に苦慮していたことが予測される。

2. 排泄行為の課題解決に関する効果

1) 放尿場面

(1) アセスメント視点数及びケア列記数への効果

放尿場面への対応については、調査期間中、該当場面が少なく分析対象データが各群とも僅少なため正確な分析が不可能であったが、参考数値とするため分析を実行した結果、各群いずれにおいても変化量に有意差は認められなかった。つまり、本教材による学習効果がいずれの群においても認められなかった。

放尿場面への対応方法の教育については別途、調査期間を長期間とし、該当場面を増加させるような研究方法上の工夫が必要であることが示唆された。

2) 排泄介護拒否場面

(1) アセスメント視点数及びケア列記数への効果

排泄介護拒否場面への対応に関するアセスメント視点数及びケア列記数については、介護経験 4 年以上群のみ教材使用後の増加が認められ、学習効果が確認された。

(2) アセスメント内容及びケア内容への効果

介護経験 4 年以上群のアセスメント視点の内容は、教材使用によって排泄行動や人間関係の視点が増加し、声かけ・誘導の工夫や環境調整等のケア方法が増加した。

3) 排泄誘導拒否場面

(1) アセスメント視点数及びケア列記数への効果

アセスメント視点数については、いずれの群においても教材使用による変化はみとめられず、学習効果は確認されなかったが、ケア数については、介護初任者及び介護経験 1 年以上者全てにおいて教材使用による学習効果が認められており、ケア数が増加している。排泄誘導拒否場面への対応については、介護経験によらずアセスメント視点の選択肢は多いが、具体的な対応方略が不足していることが予測される。介護経験によらず本教材の使用によって具体的なケアの方略数が増加したことが示唆された。

(2) アセスメント内容及びケア内容への効果

介護初任者群は、環境、誘導時の声かけ、コミュニケーション等の方略が増加し、介護経験 1 年～3 年群では、誘導時の声かけ、介助方法の工夫、介護経験 4 年以上群では、誘導時間、介助方法の工夫等が増加している。これらの傾向をみると介護初任者と介護経験 1 年以上の介護者について、学習効果が異なっており、介護初任者は環境調整の方法やコミュニケーションによる信頼関係づくりに関する学習が、介護経験 1 年以上者については、介助者の性別を考慮したり、見守りなど排泄介助方法の増加が特徴的である。介護経験によらない効果としては誘導

時の声かけに関する方略数が増加しており、これらについてはより多くの声かけパターンの例示が必要であることが示唆された。

3. 入浴行為の課題解決に関する効果

1) 入浴拒否場面

(1) アセスメント視点数及びケア列記数への効果

介護初任者におけるアセスメント視点数及びケア数の変化量に有意な差は無く、教材使用による学習効果は認められなかった。介護経験 1 年～3 年群及び 4 年以上群においてはアセスメント視点数及びケア数双方において有意な変化が認められ、教材による学習効果が認められた。

(2) アセスメント内容及びケア内容への効果

アセスメント視点の内容への効果については、介護経験 1 年～3 年群で入浴スタイル、健康面、介護経験 4 年以上群で健康面、人間関係等について増加が認められる。

ケア内容への効果については、介護経験 1 年～3 年群で入浴環境の調整、入浴時間の調整、介護経験 4 年以上群では誘導の工夫、声かけの工夫、介助者の調整、入浴方法の工夫などが増加している。

2) 洗髪拒否場面

(1) アセスメント視点数及びケア列記数への効果

アセスメント視点数への効果については、教材使用による変化について各群とも有意な差は無く、教材による学習効果は認められなかった。ケア列記数の変化については、介護経験 1 年～3 年群においてのみ有意な効果が認められた。

(2) アセスメント内容及びケア内容への効果

介護経験 1 年～3 年群におけるケア内容の変化については声かけ・誘導の工夫や、介助者の工夫に関するケア方略数が増加している。

3) 清拭拒否場面

(1) アセスメント視点数及びケア列記数への効果

清拭拒否場面への対応については、調査期間中、該当場面が少なく調査データがわずかであり、分析対象データが各群とも僅少なため、正確な分析が不可能であったが、参考数値とするため分析を実行した結果、各群いずれにおいても変化量に有意差は認められず、本教材による学習効果がいずれの群においても認められなかった。清拭拒否場面への対応方法の教育については別途、調査が必要であることが示唆された。

4. 課題全体における教育効果

(1) アセスメント視点数及びケア列記数への効果

全 9 課題におけるアセスメント視点数及びケア列記数の変化について、各群の変化量を比較したところ、アセスメント視点数、ケア列記数ともに教材使用前後における有意な変化は認められず、課題全体における教材の効果は一様の傾向を示していないことが示唆された。しかし、介護初任者のアセスメント視点数及びケア列記数は、他の介護経験群に比較して有意に少ないことが確認された。つまり、生活課題に関わらず介護初任者のアセスメント視点数やケア方略数は明らかに少ないことが明らかとなったが、教材による効果は生活課題場面によって異なり、生活課題に応じた教材の使用及び、教材の改定が必要であることが示唆されたといえる。

食事課題については、食事拒否場面を除く食事中断場面や食事過剰要求場面において介護初任者のアセスメント視点数及びケア列記数は教材使用による増加が認められており、介護初任者への本教材の有用性が認められたと解釈できる。しかし、食事拒否場面については介護初任者への効果は全く認められず、食事 3 場面全てにおいて介護経験 4 年以上のベテラン群への効果が確認された。これらについては、介護経験者の経験が本教材によって改めて確認され、介護者本人も未

整理だったアセスメント視点やケアの方略の体系化が促進された結果であると解釈できる。食事関連の生活課題への対応方法に関する学習教材として、本教材は介護初任者及び介護経験者においても有効であることが示唆された。

排泄課題については、放尿場面、排泄介護拒否場面ともに調査期間中の生起頻度が少なく、本教材による効果の検証において分析結果の信頼性が低いため、参考結果として考察するにとどめるが、介護初任者についてはアセスメント視点及びケア方略の選択肢を増加させるような効果は本調査からは確認できなかった。要因としては、本教材の内容の妥当性の問題か、あるいは調査対象者僅少による問題か、課題場面に潜在する何らかの要因の影響なのかについて、今後の検証が必要であると考えられる。排泄誘導拒否場面においてのみ、介護初任者、介護経験者双方についてケア数の増加が認められており、アセスメント視点数は変わらないがケアの選択肢を増加させる効果が確認された。

入浴課題については、洗髪拒否場面、清拭拒否場面に関する調査期間中の生起頻度が少なく、調査データ僅少のため、本教材の効果を十分には確認できなかったといえる。これらの課題は実際の認知症介護場面において生起頻度の高い課題では無く、むしろ介護困難であるという理由から選定した課題であるため、調査客対数を増加させるような研究方法上の工夫が必要であると考えられる。入浴拒否場面については、介護初任者への学習効果はアセスメント視点及びケア列記数ともに認められず、介護経験 1 年以上群において効果が確認されている。介護初任者への効果として、アセスメント視点数及びケア列記数の増加が認められなかった点については、選択肢を増加させる効果は認められなかったが、アセスメント視点及びケア方略について内容の変化に関する効果は確認できた。介護初任者の教材使用前におけるアセスメント視点として入浴の時間帯や、介護者の性別、過去の入浴体験が多いが、教材使用後は湯温や浴室温度、生活歴、排泄状況などの視点が増加し、教材使用前の視点が減少している。つまり、視点の内容は変化しているが視点数は変化がないという結果となり、選択肢を増加させるような効果は認められないが、視点を変える効果は認められたといえるだろう。

(2) アセスメント内容及びケア内容への効果

本教材使用による介護初任者のアセスメント視点内容やケア内容の変化について考察したい。

①アセスメント視点の変化

介護初任者の本教材使用前後におけるアセスメント視点別の変化については、食事中断場面では、環境面、習慣、人間関係の視点が増加し、食事拒否場面では健康や習慣、食事過剰要求場面では健康面、食事内容、環境視点が増加していた。放尿場面では、心理や環境に関する視点が増加し、排泄介護拒否場面では健康面や認知能力の視点が減り、生活習慣や環境に関する視点数が増加し、排泄誘導拒否場面では生活習慣や環境に関する視点が増加していた。入浴拒否場面では健康や入浴スタイルが、洗髪拒否場面では人間関係や介護者の対応に関する視点が増加していたが、清拭拒否場面での変化はほぼ見られなかった。総じて、全課題に共通して起こっている変化はないが、食事場面及び排泄場面については、いずれの場面においても環境に関する視点数が増加しており本教材の使用によって環境への視点が学習できたと考えられる。一方、入浴場面については場面によって変化の内容が異なっており場面によって学習効果が異なることが明らかとなった。

②ケア内容の変化

介護初任者の本教材使用前後におけるケア内容別の変化については食事中断場面では、食事の工夫や食事環境の調整、義歯の調整、生活のリズム調整等が、食事拒否場面では、食事の工夫、声かけの工夫、誘導の工夫、環境調整、活動の工夫が、食事過剰要求場面では声かけの工夫や環境調整、活動の工夫が増加していた。放尿場面では環境の調整が、排泄介護拒否場面では声かけ誘導の工夫、介助方法の工夫が、排泄誘導拒否では誘導時の声かけやコミュニケーション

ン、環境調整に関する方法が増加していた。入浴拒否場面では入浴前の工夫、入浴メンバーの調整、入浴環境の調整、介助者の調整が、洗髪拒否場面、清拭拒否場面では大きな変化はなかった。

総じて、全課題に共通する変化は無いがアセスメント視点の変化同様、ケア内容別の変化についても食事場面、排泄場面、入浴場面に関する環境の調整に関するケア数は増加しており、環境調整に関するケアの方略数の増加について学習効果が認められたといえる。

1. 付 表

(付表1-1) 食事中断場面での大分類別アセスメント視点列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	21	21	7	7	26	26	28	28
	列記あり	19	21	7	7	25	26	28	28
100	認知能力	1				2	1	5	3
200	健康面	28	33	12	12	41	45	51	57
300	口腔機能	2	3	2	1	6	5	8	14
400	心理面	7	7	1	2	7	9	9	14
500	食事関係	21	28	8	7	33	34	53	59
600	食事中の状態	4	5	1	1	7	10	7	8
700	習慣		2	1	1	3	5	3	4
800	環境	3	8	2	1	9	15	15	20
900	人間関係		3			3	5	6	12
1000	介護者の対応		1	1		2	1	2	1
1100	その他	1		2		1		4	1
	列記なし(注)	2				1			

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	90.5	100.0	100.0	100.0	96.2	100.0	100.0	100.0
100	認知能力	4.8				7.7	3.8	17.9	10.7
200	健康面	133.3	157.1	171.4	171.4	157.7	173.1	182.1	203.6
300	口腔機能	9.5	14.3	28.6	14.3	23.1	19.2	28.6	50.0
400	心理面	33.3	33.3	14.3	28.6	26.9	34.6	32.1	50.0
500	食事関係	100.0	133.3	114.3	100.0	126.9	130.8	189.3	210.7
600	食事中の状態	19.0	23.8	14.3	14.3	26.9	38.5	25.0	28.6
700	習慣		9.5	14.3	14.3	11.5	19.2	10.7	14.3
800	環境	14.3	38.1	28.6	14.3	34.6	57.7	53.6	71.4
900	人間関係		14.3			11.5	19.2	21.4	42.9
1000	介護者の対応		4.8	14.3		7.7	3.8	7.1	3.6
1100	その他	4.8		28.6		3.8		14.3	3.6
	列記なし(注)	9.5				3.8			

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表1ー2) 食事中断場面での小分類別アセスメント視点の変化

【実数】

大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	21	21	7	7	26	26	28	28
		列記あり	19	21	7	7	25	26	28	28
認知能力	101	認知機能	1				2	1	4	2
	102	認知症の種類								
	103	認知症の症状							1	1
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	体調	11	11	4	4	15	15	16	18
	202	褥瘡・既往歴					2		2	3
	203	排泄状況	3	6	5	4	11	14	15	15
	204	水分状態	3	3			1	2	1	5
	205	視力・視覚機能	1				1			
	206	体重・BMI					1		2	
	207	運動量	3	5		1	3	5	4	4
	208	睡眠時間・状況	6	6	3	2	6	6	6	9
	209	手指腕の機能							1	
	210	服薬		1			2	1	2	3
	211	ADL・身体機能	1	1		1	1		2	
口腔機能	301	口腔状況	1	2	2	1	2	1	5	6
	302	咀嚼力					2	2	2	5
	303	嚥下状態・誤嚥	1	1			2	2	1	3
心理面	401	気分	3	2			3	6	5	9
	402	心配ごと・不満状況	2	1	1		3	1		3
	403	本人の気持ち・意志	2	4		2	1	3	4	2
	403	本人の気持ち・意志	2	4		2	1	3	4	2
食事関係	501	食の嗜好・興味・意欲	10	11	4	2	13	12	18	17
	502	最近の食事量	3	3	1	1	1		5	6
	503	当日の食事量・おやつ量	3	5	2		4	3	4	5
	504	満腹感・空腹感					2	4	6	5
	505	食材の質(形・固さ・味・匂い・温度)	3	6	1	1	3	5	9	10
	506	盛り付け	1	1		1	2	2	5	7
	507	食器の配置		1			3	2	2	2
	508	食器の形状	1				3	2	1	1
	509	食事時間		1		1	2	4	3	6
	509	食事時間		1		1	2	4	3	6
食事中の状態	601	食中の様子	1	3	1	1	2	2	2	
	602	姿勢	1	1			3	4	3	8
	603	視線	1					1	1	
	604	食事中の会話								
	605	表情	2	1			2	3	1	
習慣	701	最近の食習慣		1		1	1		1	1
	702	生活習慣(こ・数・年)		1	1		2	4	2	3
	703	生活歴(幼少期から)					1			
環境	801	周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)	3	6	2	1	7	13	13	16
	802	席の位置		2			1	2	1	4
	803	椅子・机の形							1	
	804	椅子・机の高さ								
	805	椅子・机の色					1			
人間関係	901	他の入居者との関係		2			2	3	4	5
	902	スタッフとの関係		1			1	2	1	5
	903	家族関係							1	2
介護者の対応 その他	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方		1	1		2	1	2	1
	1101	食前の行動	1		2		1		3	1
	1102	その他							1	
		列記なし	2				1			

【比率】

大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	90.5	100.0	100.0	100.0	96.2	100.0	100.0	100.0
認知能力	101	認知機能	4.8				7.7	3.8	14.3	7.1
	102	認知症の種類								
	103	認知症の症状							3.6	3.6
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	体調	52.4	52.4	57.1	57.1	57.7	57.7	57.1	64.3
	202	褥瘡・既往歴					7.7		7.1	10.7
	203	排泄状況	14.3	28.6	71.4	57.1	42.3	53.8	53.6	53.6
	204	水分状態	14.3	14.3			3.8	7.7	3.6	17.9
	205	視力・視覚機能	4.8					3.8		
	206	体重・BMI						3.8	7.1	
	207	運動量	14.3	23.8		14.3	11.5	19.2	14.3	14.3
	208	睡眠時間・状況	28.6	28.6	42.9	28.6	23.1	23.1	21.4	32.1
	209	手指腕の機能							3.6	
	210	服薬		4.8			7.7	3.8	7.1	10.7
	211	ADL・身体機能	4.8	4.8		14.3	3.8		7.1	
口腔機能	301	口腔状況	4.8	9.5	28.6	14.3	7.7	3.8	17.9	21.4
	302	咀嚼力					7.7	7.7	7.1	17.9
	303	嚥下状態・誤嚥	4.8	4.8			7.7	7.7	3.6	10.7
心理面	401	気分	14.3	9.5			11.5	23.1	17.9	32.1
	402	心配ごと・不満状況	9.5	4.8	14.3		11.5			10.7
	403	本人の気持ち・意志	9.5	19.0		28.6	3.8	11.5	14.3	7.1
	403	本人の気持ち・意志	9.5	19.0		28.6	3.8	11.5	14.3	7.1
食事関係	501	食の嗜好・興味・意欲	47.6	52.4	57.1	28.6	50.0	46.2	64.3	60.7
	502	最近の食事量	14.3	14.3	14.3	14.3	3.8		17.9	21.4
	503	当日の食事量・おやつ量	14.3	23.8	28.6	14.3	15.4	11.5	14.3	17.9
	504	満腹感・空腹感					7.7	15.4	21.4	17.9
	505	食材の質(形・固さ・味・匂い・温度)	14.3	28.6	14.3	14.3	11.5	19.2	32.1	35.7
	506	盛り付け	4.8	4.8		14.3	7.7	7.7	17.9	25.0
	507	食器の配置		4.8			11.5	7.7	7.1	7.1
	508	食器の形状	4.8				11.5	7.7	3.6	3.6
	509	食事時間		4.8		14.3	7.7	15.4	10.7	21.4
	509	食事時間		4.8		14.3	7.7	15.4	10.7	21.4
食事中の状態	601	食中の様子	4.8	14.3	14.3	14.3	7.7	7.7	7.1	
	602	姿勢	4.8	4.8			11.5	15.4	10.7	28.6
	603	視線						3.8	3.6	
	604	食事中の会話								
	605	表情	9.5	4.8			7.7	11.5	3.6	
習慣	701	最近の食習慣		4.8		14.3	3.8		3.6	3.6
	702	生活習慣(こ・数・年)		4.8	14.3		7.7	15.4	7.1	10.7
	703	生活歴(幼少期から)						3.8		
環境	801	周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)	14.3	28.6	28.6	14.3	26.9	50.0	46.4	57.1
	802	席の位置		9.5			3.8	7.7	3.6	14.3
	803	椅子・机の形							3.6	
	804	椅子・机の高さ								
	805	椅子・机の色					3.8			
人間関係	901	他の入居者との関係		9.5			7.7	11.5	14.3	17.9
	902	スタッフとの関係		4.8			3.8	7.7	3.6	17.9
	903	家族関係							3.6	7.1
介護者の対応 その他	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方		4.8	14.3		7.7	3.8	7.1	3.6
	1101	食前の行動	4.8		28.6		3.8		10.7	3.6
	1102	その他							3.6	
		列記なし	9.5				3.8			

(付表1-3) 食事中断場面での大分類別ケア列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	21	21	5	5	26	26	30	30
	列記あり	19	21	5	5	24	26	30	30
3100	食事の工夫	13	23	4	2	23	30	22	44
3200	声かけの工夫	13	16	4	3	21	17	23	22
3300	誘導の工夫	11	9	6	4	8	8	11	19
3400	食事環境の調整	2	7	1	2	8	13	13	24
3500	メンバー調整	1	3		1	2	4	2	7
3600	その他	14	27	4	5	24	36	48	55
	列記なし(注)	2				2			

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	90.5	100.0	100.0	100.0	92.3	100.0	100.0	100.0
3100	食事の工夫	61.9	109.5	80.0	40.0	88.5	115.4	73.3	146.7
3200	声かけの工夫	61.9	76.2	80.0	60.0	80.8	65.4	76.7	73.3
3300	誘導の工夫	52.4	42.9	120.0	80.0	30.8	30.8	36.7	63.3
3400	食事環境の調整	9.5	33.3	20.0	40.0	30.8	50.0	43.3	80.0
3500	メンバー調整	4.8	14.3		20.0	7.7	15.4	6.7	23.3
3600	その他	66.7	128.6	80.0	100.0	92.3	138.5	160.0	183.3
	列記なし(注)	9.5				7.7			

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表1-4) 食事中断場面での小分類別ケア方法の変化

			【実数】							
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	21	21	5	5	26	26	30	30
		列記あり	19	21	5	5	24	26	30	30
食事の工夫	..3101	食器の大きさを変えた								
	..3102	好みのものにする	4	5	1	1	9	9	10	11
	..3103	食物の形態を煮崩	2	8		1	1	4	4	10
	..3104	おやつ、間食	2	3	1	1	2	4	2	2
	..3105	高カロリー食で量を減らす	1	1						3
	..3106	食器を毎日洗える								
	..3107	食器の柄や色を変える								
	..3108	食器の形や材質変更		2			6	4	1	7
	..3109	過去の食事スタイル			1		2	1	1	2
	..3110	食事の取り方の工夫		2			3	5	3	3
	..3111	食品数の調整		1						
	..3112	食品の配膳の工夫		1				3	2	5
	..3113	食事の回数を変える							2	1
声かけの工夫	..3201	急かさず、声かけの繰り返し	3	3	2	1	6	2	4	6
	..3202	本人の気持ちの確認、質問	5	8	1	2	5	5	10	8
	..3203	ペースを尊重し、食事の促し	4	3	1		5	6	6	4
	..3204	好きな話題を提供	1	2			3	1	3	2
	..3205	仲の良い人からの談い					1		3	1
	..3206	職員を変えてみる					1	3		1
誘導の工夫	..3301	促さず、見守る	1	1	2		1		3	3
	..3302	食事の認識を促す	5	4	2	2	4	3	5	9
	..3303	家族の名前を出して誘導する							1	1
	..3304	外食に誘う								
	..3305	食事を一瞬止め、待つ	5	4	2	2	2	5	2	8
	..3306	食事準備に参加してもらえ								
	..3307	喫煙を刺激する								
食事環境の調整	..3401	好きな場所で		5		1	2	2	1	1
	..3402	食べるところを減退できるようにする				1		6	3	11
	..3403	ステップの高低を上げる		1						
	..3404	花柄のカーテンを巻く								
	..3405	テーブルに花を置く								
	..3406	静かな環境で					2	1	4	4
	..3407	周囲に物を置かず、真中でできるようにする					1	1		
	..3408	姿勢を変える	2	1			2	3	1	6
	..3409	イス、テーブルの高さ調整					1	3	2	
	..3410	好きな音楽をかける							1	1
	..3411	室温の調整								1
	..3412	部屋を明るくする								
メンバー調整	..3501	仲の良い人と食べる					2	3	1	2
	..3502	ペースが一緒の利用者と		1						
	..3503	職員と一緒に		2		1		1	1	4
	..3504	他者と離れて、一人で								1
その他	..3601	義歯の調整		2	1			1	4	5
	..3602	食事に關する思い出を家族から聞く								
	..3603	食事前の活動促す		2			2	5	2	4
	..3604	食事前・トイレへ誘導		3		1		3	2	4
	..3605	ほほえみサイン								2
	..3606	食事介助	3	1			4	2	6	6
	..3607	生活のリズム調整		3			2	4	6	2
	..3608	列記なし	2	3	1	1	2	8	9	6
	..3609	体調確認(バイタル、嚥下機能等)	6	7	1	1	9	6	12	13
	..3610	空腹の確認		1	1		1	2	1	3
	..3611	薬の調整							1	2
	..3612	水分量の調整	2	4			3	1		3
	..3614	休む		1		1	1	1	2	
	..3615	コミュニケーションを図る				1				3
	..3613	その他					2	3	2	2
		列記なし	2				2			

			【比率】							
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	90.5	100.0	100.0	100.0	92.3	100.0	100.0	100.0
食事の工夫	..3101	食器の大きさを変えた								
	..3102	好みのものにする	19.0	23.8	20.0	20.0	34.6	34.6	33.3	36.7
	..3103	食物の形態を煮崩	9.5	38.1	20.0	20.0	3.8	15.4	13.3	33.3
	..3104	おやつ、間食	9.5	14.3	20.0		7.7	15.4		6.7
	..3105	高カロリー食で量を減らす	4.8	4.8						10.0
	..3106	食器を毎日洗える								
	..3107	食器の柄や色を変える								
	..3108	食器の形や材質変更		9.5			23.1	15.4	3.3	23.3
	..3109	過去の食事スタイル			20.0		7.7		3.3	6.7
	..3110	食事の取り方の工夫	4.8	9.5			11.5	19.2	10.0	10.0
	..3111	食品数の調整	4.8	4.8				3.8	3.3	
	..3112	食品の配膳の工夫	4.8	4.8				11.5	6.7	16.7
	..3113	食事の回数を変える	4.8							3.3
声かけの工夫	..3201	急かさず、声かけの繰り返し	14.3	14.3	40.0	20.0	23.1	7.7	13.3	20.0
	..3202	本人の気持ちの確認、質問	23.8	38.1	20.0	40.0	19.2	19.2	33.3	26.7
	..3203	ペースを尊重し、食事の促し	19.0	14.3	20.0		19.2	23.1	20.0	13.3
	..3204	好きな話題を提供	4.8	9.5			11.5	3.8	10.0	6.7
	..3205	仲の良い人からの談い					3.8			3.3
	..3206	職員を変えてみる					3.8	11.5		3.3
誘導の工夫	..3301	促さず、見守る	4.8	4.8	40.0		3.8		10.0	10.0
	..3302	食事の認識を促す	23.8	19.0	40.0	40.0	15.4	11.5	16.7	30.0
	..3303	家族の名前を出して誘導する							3.3	3.3
	..3304	外食に誘う					3.8			
	..3305	食事を一瞬止め、待つ	23.8	19.0	40.0	40.0	7.7	19.2	6.7	20.0
	..3306	食事準備に参加してもらえ								
	..3307	喫煙を刺激する								
食事環境の調整	..3401	好きな場所で		23.8		20.0	7.7	7.7	3.3	3.3
	..3402	食べるところを減退できるようにする		4.8	20.0	20.0		23.1	10.0	36.7
	..3403	ステップの高低を上げる								
	..3404	花柄のカーテンを巻く								
	..3405	テーブルに花を置く					7.7	3.8	13.3	13.3
	..3406	静かな環境で					7.7	3.8		
	..3407	周囲に物を置かず、真中でできるようにする					3.8	3.8	3.3	
	..3408	姿勢を変える	9.5	4.8			7.7	11.5	3.3	20.0
	..3409	イス、テーブルの高さ調整					3.8		6.7	
	..3410	好きな音楽をかける							3.3	3.3
	..3411	室温の調整								3.3
	..3412	部屋を明るくする								
メンバー調整	..3501	仲の良い人と食べる					7.7	11.5	3.3	6.7
	..3502	ペースが一緒の利用者と		4.8						
	..3503	職員と一緒に	4.8	9.5		20.0		3.8	3.3	13.3
	..3504	他者と離れて、一人で								3.3
その他	..3601	義歯の調整		9.5	20.0			3.8	13.3	16.7
	..3602	食事に關する思い出を家族から聞く							3.3	
	..3603	食事前の活動促す	4.8	9.5			7.7	19.2	6.7	13.3
	..3604	食事前・トイレへ誘導		14.3		20.0	3.8	11.5	6.7	13.3
	..3605	ほほえみサイン								6.7
	..3606	食事介助	14.3	4.8			15.4	7.7	20.0	20.0
	..3607	生活のリズム調整		14.3				15.4	20.0	6.7
	..3608	列記なし	9.5	14.3	20.0	20.0	7.7	30.8	30.0	20.0
	..3609	体調確認(バイタル、嚥下機能等)	28.6	33.3	20.0	20.0	34.6	23.1	40.0	43.3
	..3610	空腹の確認		4.8	20.0			7.7	3.3	10.0
	..3611	薬の調整							3.3	6.7
	..3612	水分量の調整	9.5	19.0			11.5	3.8		10.0
	..3614	休む		4.8		20.0		3.8	6.7	
	..3615	コミュニケーションを図る				20.0				10.0
	..3613	その他					7.7	11.5	6.7	6.7
		列記なし	9.5				7.7			

(付表2-1) 食事拒否場面での大分類別アセスメント視点列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	13	13	2	2	13	13	22	22
	列記あり	13	13	2	2	12	13	22	22
100	認知能力					1		2	3
200	健康面	16	22	1	2	26	26	33	51
300	口腔機能	1	1			5	3	2	5
400	心理面	11	9	1	1	8	4	12	16
500	食事関係	10	7	2	2	17	14	22	28
600	食事時の状態	2	1			3	6	3	1
700	習慣		3			1	2	7	7
800	環境	3	2	1	1	7	6	14	13
900	人間関係	3	2			2	3	8	12
1000	介護者の対応		2			3	2	6	5
1100	その他								
	列記なし(注)					1			

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	92.3	100.0	100.0	100.0
100	認知能力					7.7		9.1	13.6
200	健康面	123.1	169.2	50.0	100.0	200.0	200.0	150.0	231.8
300	口腔機能	7.7	7.7			38.5	23.1	9.1	22.7
400	心理面	84.6	69.2	50.0	50.0	61.5	30.8	54.5	72.7
500	食事関係	76.9	53.8	100.0	100.0	130.8	107.7	100.0	127.3
600	食事時の状態	15.4	7.7			23.1	46.2	13.6	4.5
700	習慣		23.1			7.7	15.4	31.8	31.8
800	環境	23.1	15.4	50.0	50.0	53.8	46.2	63.6	59.1
900	人間関係	23.1	15.4			15.4	23.1	36.4	54.5
1000	介護者の対応		15.4			23.1	15.4	27.3	22.7
1100	その他								
	列記なし(注)					7.7			

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表2-2) 食事拒否場面での小分類別アセスメント視点の変化

			【実数】							
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	13	13	2	2	13	13	22	22
		列記あり	13	13	2	2	12	13	22	22
認知能力	101	認知機能							2	3
	102	認知症の種類								
	103	認知症の症状					1			
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	体調	7	10			10	9	14	14
	202	現病・既往歴								
	203	排泄状況	5	4	1	1	9	8	8	15
	204	水分状態	1	2			1	1	2	4
	205	視力・視覚機能								
	206	体重・BMI	1					1		
	207	運動量		2		1	2	3	2	5
	208	睡眠時間・状況	1	3			3	3	6	10
	209	手指腕の機能								
	210	薬の種類・服薬状況	1	1			1	1	1	3
	211	麻痺								
	212	味覚・嗅覚								
口腔機能	301	口腔状況	1	1			5	3	1	4
	302	咀嚼力								
	303	嚥下状態・誤嚥							1	1
心理面	401	気分	4	4		1	1	3	6	9
	402	心配ごと・不満状況	2	2			3	1	3	5
	403	本人の気持ち・意志	5	3	1		4	1	3	2
食事関係	501	食の嗜好・興味・意欲	6	3	1		8	8	6	11
	502	最近の食事量	1						2	
	503	当日の食事量・おやつ量	2	2	1	1	2	2	3	5
	504	満腹感・空腹感	1	1			1		6	2
	505	食材の質(形・固さ・味・匂い・温度)		1		1	4	4	2	4
	506	盛付								1
	507	食器の配置					1			3
	508	食器の形状							1	
	509	食事時間					1		2	2
食事中の状態	601	食中の様子								
	602	姿勢					2	1	1	
	603	目線	1					1	2	1
	604	食事中の会話						1		
	605	表情	1	1			1	3		
習慣	701	最近の食習慣		1			1	1	3	4
	702	生活習慣(ここ数年)		2				1	4	3
	703	生活歴(幼少期から)								
環境	801	周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)	2		1	1	6	6	11	11
	802	席の位置	1	2			1		3	2
	803	椅子・机の形								
	804	椅子・机の高さ								
	805	椅子・机の色								
人間関係	901	他の入居者との関係	2	2			1	3	6	7
	902	スタッフとの関係	1				1		1	4
	903	家族関係							1	1
介護者の対応 その他	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方		2			3	2	6	5
	1101	所持金/経済不安								
		列記なし					1			

			【比率】							
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	92.3	100.0	100.0	100.0
認知能力	101	認知機能							9.1	13.6
	102	認知症の種類								
	103	認知症の症状					7.7			
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	体調	53.8	76.9			76.9	69.2	63.6	63.6
	202	現病・既往歴								
	203	排泄状況	38.5	30.8	50.0	50.0	69.2	61.5	36.4	68.2
	204	水分状態	7.7	15.4			7.7	7.7	9.1	18.2
	205	視力・視覚機能								
	206	体重・BMI	7.7					7.7		
	207	運動量		15.4		50.0	15.4	23.1	9.1	22.7
	208	睡眠時間・状況	7.7	23.1			23.1	23.1	27.3	45.5
	209	手指腕の機能								
	210	薬の種類・服薬状況	7.7	7.7			7.7	7.7	4.5	13.6
	211	麻痺								
	212	味覚・嗅覚								
口腔機能	301	口腔状況	7.7	7.7			38.5	23.1	4.5	18.2
	302	咀嚼力								
	303	嚥下状態・誤嚥							4.5	4.5
心理面	401	気分	30.8	30.8		50.0	7.7	23.1	27.3	40.9
	402	心配ごと・不満状況	15.4	15.4			23.1	7.7	13.6	22.7
	403	本人の気持ち・意志	38.5	23.1	50.0		30.8		13.6	9.1
食事関係	501	食の嗜好・興味・意欲	46.2	23.1	50.0		61.5	61.5	27.3	50.0
	502	最近の食事量	7.7						9.1	
	503	当日の食事量・おやつ量	15.4	15.4	50.0	50.0	15.4	15.4	13.6	22.7
	504	満腹感・空腹感	7.7	7.7			7.7		27.3	9.1
	505	食材の質(形・固さ・味・匂い・温度)		7.7		50.0	30.8	30.8	9.1	18.2
	506	盛付								4.5
	507	食器の配置					7.7			13.6
	508	食器の形状							4.5	
	509	食事時間					7.7		9.1	9.1
食事中の状態	601	食中の様子								
	602	姿勢					15.4	7.7	4.5	
	603	目線	7.7					7.7	9.1	4.5
	604	食事中の会話						7.7		
	605	表情	7.7	7.7			7.7	23.1		
習慣	701	最近の食習慣		7.7			7.7	7.7	13.6	18.2
	702	生活習慣(ここ数年)		15.4				7.7	18.2	13.6
	703	生活歴(幼少期から)								
環境	801	周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)	15.4		50.0	50.0	46.2	46.2	50.0	50.0
	802	席の位置	7.7	15.4			7.7		13.6	9.1
	803	椅子・机の形								
	804	椅子・机の高さ								
	805	椅子・机の色								
人間関係	901	他の入居者との関係	15.4	15.4			7.7	23.1	27.3	31.8
	902	スタッフとの関係	7.7				7.7		4.5	18.2
	903	家族関係							4.5	4.5
介護者の対応 その他	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方		15.4			23.1	15.4	27.3	22.7
	1101	所持金/経済不安								
		列記なし					7.7			

(付表2-3) 食事拒否場面での大分類別ケア列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	15	15	2	2	13	13	20	20
	列記あり	15	15	2	2	12	13	19	20
1100	食事の工夫	8	11		1	24	19	10	21
1200	声かけの工夫	7	10	1	1	3	4	11	20
1300	誘導の工夫	3	5		1	6	5	9	14
1400	環境調整	2	6	1	2	7	9	12	17
1500	活動の工夫	7	8	2	1	6	7	11	13
1600	その他	8	10	2		9	8	13	24
	列記なし(注)					1		1	

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	92.3	100.0	95.0	100.0
1100	食事の工夫	53.3	73.3		50.0	184.6	146.2	50.0	105.0
1200	声かけの工夫	46.7	66.7	50.0	50.0	23.1	30.8	55.0	100.0
1300	誘導の工夫	20.0	33.3		50.0	46.2	38.5	45.0	70.0
1400	環境調整	13.3	40.0	50.0	100.0	53.8	69.2	60.0	85.0
1500	活動の工夫	46.7	53.3	100.0	50.0	46.2	53.8	55.0	65.0
1600	その他	53.3	66.7	100.0		69.2	61.5	65.0	120.0
	列記なし(注)					7.7		5.0	

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表2-4) 食事拒否場面での小分類別ケア方法の変化

大分類	小分類 コード	小分類	【実数】							
			初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	15	15	2	2	13	13	20	20
食事の工夫		列記あり	15	15	2	2	12	13	19	20
	1101	食べやすいよう、盛りつけを工夫					2		1	2
	1102	わびりま着席し、おやつを提供					1			
	1103	水分摂取量を増やした		2				2		3
	1104	外出時、外食に誘導					1			
	1105	一緒に買い物に行き、好きなメニューにする								
	1106	好きな食べ物を見せる		1			2		1	
	1107	好きな献立にする	3	4		1	6	7	3	6
	1108	食事時間の調整	1				1			1
	1109	職員と一緒に食事	1	2			3	4	2	3
	1110	最初だけ介助								
	1111	食器の工夫								1
	1112	食材の形態、色等の工夫	1	3			6	5	2	4
	1113	食事回数の調整					1		1	
	1114	量を減らす	1							1
声かけの工夫	1201	本人ペースで声かけ	4	3			2		6	4
	1202	声かけの内容を工夫	2	2	1			1	4	6
	1203	作業の流れて声かけ		1						1
	1204	食事前から「まめに」声かけ						1		3
	1205	声かけをせず、職員が一緒に								
	1206	好きな話題で声かけ							1	
	1207	家族の話題								
	1208	仲の良い人が声かけ						1		6
	1209	声かけ、会話量の増加	1	3						
	1210	食事の必要性を説明				1	1	1		
	1301	配膳をしてもらう		1						1
	1302	調理を手伝う								
誘導の工夫	1303	おしほりをする								
	1304	食事前にお茶を提供								1
	1305	食事内容、献立の説明					2	1	2	2
	1306	誘導時間の調整	2	2			2	4	5	8
	1307	食事の誘導を促す		1					1	
	1308	誘導者を変更する	1	1			1			2
環境調整	1401	少人数席に入室								1
	1402	広い場所から小さい場所へ入室								
	1403	好きな場所から食事を取る			1		1	2	2	3
	1404	花等をテーブルに置き、落ち着く環境					2			2
	1405	食事メンバー		1			2	3	2	2
	1406	席位置の変更	1	3			2	1	5	5
	1407	静かな環境を調整							1	4
	1408	音楽をかける								
	1409	環境を変える						2		
	1410	明るさの調整								
	1411	周囲の匂いの調整								
活動の工夫	1501	活動量を増やす		1			1			4
	1502	生活のリズム調整		2						2
	1503	静かな、落ち着いた環境をつくり、静養							1	
	1504	ぐっすり眠ってもらうようにした		1						3
	1505	一泊、休養	5	3	2	1	2	2	4	1
	1506	音楽鑑賞	1							1
	1507	趣味活動を実施						1		
	1508	コミュニケーションを促す	1	1			2	3	5	2
	1509	リハビリ								
	1601	受容し、安心してもらった	1							
その他	1602	義理調整		1			2		1	2
	1603	感情的対応								2
	1604	排便調整	3	3			5	4	6	10
	1605	服装の調整			1					
	1606	疼痛管理								
	1607	体調の確認	3	9	1			4	4	10
	1608	水分補給								
	1609	食事の姿勢を調整					1			
		列記なし					1		1	

大分類	小分類 コード	小分類	【比率】							
			初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食事の工夫		列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	92.3	100.0	95.0	100.0
	1101	食べやすいよう、盛りつけを工夫					15.4		5.0	10.0
	1102	わびりま着席し、おやつを提供					7.7	15.4		15.0
	1103	水分摂取量を増やした		13.3				7.7		
	1104	外出時、外食に誘導								
	1105	一緒に買い物に行き、好きなメニューにする								
	1106	好きな食べ物を見せる	6.7				15.4		5.0	
	1107	好きな献立にする	20.0	26.7		50.0	46.2	53.8	15.0	30.0
	1108	食事時間の調整	6.7				7.7			5.0
	1109	職員と一緒に食事	6.7	13.3			23.1	30.8	10.0	15.0
	1110	最初だけ介助					7.7			
	1111	食器の工夫					7.7			5.0
	1112	食材の形態、色等の工夫	6.7	20.0			46.2	38.5	10.0	20.0
	1113	食事回数の調整					7.7		5.0	
	1114	量を減らす	6.7							5.0
声かけの工夫	1201	本人ペースで声かけ	26.7	20.0			15.4		30.0	20.0
	1202	声かけの内容を工夫	13.3	13.3	50.0			7.7	20.0	30.0
	1203	作業の流れて声かけ		6.7						5.0
	1204	食事前から「まめに」声かけ						7.7		15.0
	1205	声かけをせず、職員が一緒に								
	1206	好きな話題で声かけ							5.0	
	1207	家族の話題								
	1208	仲の良い人が声かけ						7.7		30.0
	1209	声かけ、会話量の増加	6.7	20.0						
	1210	食事の必要性を説明				50.0	7.7	7.7		
	1301	配膳をしてもらう		6.7						5.0
	1302	調理を手伝う							5.0	
誘導の工夫	1303	おしほりをする								
	1304	食事前にお茶を提供								5.0
	1305	食事内容、献立の説明					15.4	7.7	10.0	10.0
	1306	誘導時間の調整	13.3	13.3	50.0		15.4	30.8	25.0	40.0
	1307	食事の誘導を促す		6.7			7.7		5.0	10.0
	1308	誘導者を変更する	6.7	6.7			7.7			
環境調整	1401	少人数席に入室							5.0	
	1402	広い場所から小さい場所へ入室								5.0
	1403	好きな場所から食事を取る	6.7	6.7	50.0	50.0	7.7	15.4	10.0	15.0
	1404	花等をテーブルに置き、落ち着く環境		6.7		50.0		7.7	5.0	10.0
	1405	食事メンバー		6.7			15.4	23.1	10.0	10.0
	1406	席位置の変更	6.7	20.0			15.4	7.7	25.0	25.0
	1407	静かな環境を調整							5.0	20.0
	1408	音楽をかける								
	1409	環境を変える						15.4		
	1410	明るさの調整								
	1411	周囲の匂いの調整								
活動の工夫	1501	活動量を増やす		6.7			7.7			20.0
	1502	生活のリズム調整		13.3						10.0
	1503	静かな、落ち着いた環境をつくり、静養							5.0	
	1504	ぐっすり眠ってもらうようにした		6.7				7.7		15.0
	1505	一泊、休養	33.3	20.0	100.0	50.0	15.4	15.4	20.0	5.0
	1506	音楽鑑賞	6.7				7.7			5.0
	1507	趣味活動を実施						7.7		
	1508	コミュニケーションを促す	6.7	6.7			15.4	23.1	25.0	10.0
	1509	リハビリ							5.0	
	1601	受容し、安心してもらった	6.7							
その他	1602	義理調整		6.7			15.4		5.0	10.0
	1603	感情的対応								10.0
	1604	排便調整	20.0	20.0			38.5	30.8	30.0	30.0
	1605	服装の調整			50.0					5.0
	1606	疼痛管理								
	1607	体調の確認	20.0	40.0	50.0		7.7	30.8	20.0	50.0
	1608	水分補給	6.7							5.0
	1609	食事の姿勢を調整					7.7			
		列記なし					7.7		5.0	

(付表3-1) 食事過剰要求場面での大分類別アセスメント視点列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	15	15	1	1	10	10	19	19
	列記あり	14	15	1	1	8	10	18	19
100	認知能力	2	4			5		6	8
200	健康面	4	11			5	16	14	21
300	口腔機能	1				1	3	3	2
400	心理面	5	5				3	7	5
500	食事関係	11	17	1	1	13	15	23	33
600	食事中の状態					2	2	4	3
700	習慣	3	2	1	1	6	2	8	7
800	環境	1	5			1	4	3	8
900	人間関係	1	1			1		3	4
1000	介護者の対応		1			1	1	1	1
1100	その他						1		
	列記なし(注)	1				2		1	

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	93.3	100.0	100.0	100.0	80.0	100.0	94.7	100.0
100	認知能力	13.3	26.7			50.0		31.6	42.1
200	健康面	26.7	73.3			50.0	160.0	73.7	110.5
300	口腔機能	6.7				10.0	30.0	15.8	10.5
400	心理面	33.3	33.3				30.0	36.8	26.3
500	食事関係	73.3	113.3	100.0	100.0	130.0	150.0	121.1	173.7
600	食事中の状態					20.0	20.0	21.1	15.8
700	習慣	20.0	13.3	100.0	100.0	60.0	20.0	42.1	36.8
800	環境	6.7	33.3			10.0	40.0	15.8	42.1
900	人間関係	6.7	6.7			10.0		15.8	21.1
1000	介護者の対応		6.7			10.0	10.0	5.3	5.3
1100	その他						10.0		
	列記なし(注)	6.7				20.0		5.3	

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表3-2) 食事過剰要求場面での小分類別アセスメント視点の変化

【実数】										
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	15	15	1	1	10	10	19	19
		列記あり	14	15	1	1	8	10	18	19
認知能力	101	認知機能	2	4			2		4	6
	102	認知症の種類					1			
	103	認知症の症状							2	2
	104	認知症罹患期間					2			
健康面	201	体調	1	2				1		3
	202	褥瘡・嚥下歴		1			2		4	4
	203	排泄状況						2	3	3
	204	水分状態	2	3				5	2	2
	205	視力・視覚機能								
	206	体重・BMI	1	2			1		1	2
	207	運動量		3			2	4	4	5
	208	睡眠時間・状況						4		1
	209	手指腕の機能								
	210	薬の種類・服薬状況								1
	211	麻痺								
	212	味覚・嗅覚								
口腔機能	301	口腔状況						1		1
	302	咀嚼力	1				1	1	3	1
	303	嚥下状態・誤嚥								
心理面	401	気分		2				2	1	1
	402	心配ごと・不満状況	1	1					4	2
	403	本人の気持ち・意志	4	2				1	2	2
食事関係	501	食の嗜好・興味・意欲		1			2		2	1
	502	最近の食事量	7	6			2	3	6	9
	503	当日の食事量・おやつ量	1	4	1	1	4	5	6	8
	504	満腹感・空腹感	1	1			2	2	3	6
	505	食材の質(形・固さ・味・匂い・温度)		2			1	3	3	4
	506	盛り付け								
	507	食器の配置	1				1		1	2
	508	食事時間	1	3			1		3	3
	508	食事時間								
食事中の状態	601	食中の様子					1		3	2
	602	姿勢						1		
	603	目線						1		
	604	食事中の会話							1	
	605	表情					1			1
	605	表情	1	1	1	1	3	1	5	1
習慣	701	最近の食習慣								
	702	生活習慣(ここ数年)	2	1			1		2	4
	703	生活歴(幼少期から)					2	1	1	2
環境	801	周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)		2			1	3	1	6
	802	席の位置	1	3				1	2	2
	803	椅子・机の形								
	804	椅子・机の高さ								
	805	椅子・机の色								
人間関係	901	他の入居者との関係	1	1			1		2	3
	902	スタッフとの関係							1	1
	903	家族関係							1	
介護者の対応 その他	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方		1			1	1	1	1
	1101	所持金・経済不安								
	1102	コミュニケーション量						1		
		列記なし	1				2		1	

【比率】										
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	93.3	100.0	100.0	100.0	80.0	100.0	94.7	100.0
認知能力	101	認知機能	13.3	26.7			20.0		21.1	31.6
	102	認知症の種類					10.0			
	103	認知症の症状					20.0		10.5	10.5
	104	認知症罹患期間								
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	体調	6.7	13.3				10.0		15.8
	202	褥瘡・嚥下歴		6.7			20.0		21.1	21.1
	203	排泄状況						20.0	15.8	15.8
	204	水分状態	13.3	20.0				50.0	10.5	10.5
	205	視力・視覚機能								
	206	体重・BMI	6.7	13.3			10.0		5.3	10.5
	207	運動量		20.0			20.0	40.0	21.1	26.3
	208	睡眠時間・状況						40.0		5.3
	209	手指腕の機能								
	210	薬の種類・服薬状況								5.3
	211	麻痺								
	212	味覚・嗅覚								
口腔機能	301	口腔状況						10.0		5.3
	302	咀嚼力	6.7				10.0	10.0	15.8	5.3
	303	嚥下状態・誤嚥						10.0		
心理面	401	気分		13.3				20.0	5.3	5.3
	402	心配ごと・不満状況	6.7	6.7					21.1	10.5
	403	本人の気持ち・意志	26.7	13.3				10.0	10.5	10.5
食事関係	501	食の嗜好・興味・意欲		6.7			20.0	20.0	5.3	5.3
	502	最近の食事量	46.7	40.0			20.0	30.0	31.6	47.4
	503	当日の食事量・おやつ量	6.7	26.7	100.0	100.0	40.0	50.0	31.6	42.1
	504	満腹感・空腹感	6.7	6.7			20.0	20.0	15.8	31.6
	505	食材の質(形・固さ・味・匂い・温度)		13.3			10.0	30.0	15.8	21.1
	506	盛り付け								
	507	食器の配置	6.7				10.0		5.3	10.5
	508	食事時間	6.7	20.0			10.0		15.8	15.8
	508	食事時間								
食事中の状態	601	食中の様子					10.0		15.8	10.5
	602	姿勢						10.0		
	603	目線						10.0		
	604	食事中の会話							5.3	
	605	表情					10.0			5.3
	605	表情	6.7	6.7	100.0	100.0	30.0	10.0	26.3	5.3
習慣	701	最近の食習慣								
	702	生活習慣(こ・数年)	13.3	6.7			10.0		10.5	21.1
	703	生活歴(幼少期から)					20.0	10.0	5.3	10.5
環境	801	周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)		13.3			10.0	30.0	5.3	31.6
	802	席の位置	6.7	20.0				10.0	10.5	10.5
	803	椅子・机の形								
	804	椅子・机の高さ								
	805	椅子・机の色								
人間関係	901	他の入居者との関係	6.7	6.7			10.0		10.5	15.8
	902	スタッフとの関係								
	903	家族関係							5.3	5.3
介護者の対応 その他	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方		6.7			10.0	10.0	5.3	5.3
	1101	所持金・経済不安								
	1102	コミュニケーション量						10.0		
		列記なし	6.7				20.0		5.3	

(付表3-3) 食事過剰要求場面での大分類別ケア列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	12	12	1	1	10	10	18	18
	列記あり	12	12	1	1	10	10	17	18
2100	食事の工夫	16	14	1	1	14	23	26	35
2200	声かけの工夫	3	6	1	1	10	7	8	13
2300	食事環境の調整	3	5			3	5	5	8
2400	活動の工夫	1	4			5	5	5	7
2500	その他	1	1				2		5
	列記なし(注)							1	

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.4	100.0
2100	食事の工夫	133.3	116.7	100.0	100.0	140.0	230.0	144.4	194.4
2200	声かけの工夫	25.0	50.0	100.0	100.0	100.0	70.0	44.4	72.2
2300	食事環境の調整	25.0	41.7			30.0	50.0	27.8	44.4
2400	活動の工夫	8.3	33.3			50.0	50.0	27.8	38.9
2500	その他	8.3	8.3				20.0		27.8
	列記なし(注)							5.6	

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表3-4) 食事過剰要求場面での小分類別ケア方法の変化

			【実数】							
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	12	12	1	1	10	10	18	18
		列記あり	12	12	1	1	10	10	17	18
食事の工夫	2101	低カロリーにして太盛りにした	2				3	2	1	3
	2102	カロリーを考慮し、好きなおかず数を増加	1				1	1	1	1
	2103	摂取状態に応じた食材料形調整	1				1	1	3	3
	2104	おやつや代替品を提供	3	3	1	1	3	2	2	6
	2105	水分の摂取を増やす	2				1	5	4	2
	2106	低カロリーの間食や夜食の提供		2					3	3
	2107	食量を小さく、おかわりを増やす。食事数を増やす	2	3			2	1	4	6
	2108	スプーンを小さくする								
	2109	配膳、下膳のタイミングを調整した					1	1	3	4
	2110	盛りつけの工夫								1
	2111	好きなものを提供	2							
	2112	食事時間の調整	2	2			2	4	4	5
	2113	食事回数の調整							1	
	2114	食器の配置を変える	1	1						1
	声かけの工夫	2201	スタッフが一緒に食事をする					2		3
2202		話を聞き取り、会話を多くする	1	2			2	3	1	2
2203		待ってねと声かけ								
2204		別の場所へ移動し会話を促す					2		2	4
2205		味の感想を伺う	1	2			1	3		5
2206		食事以外の話をする					1			1
2207		着席のタイミングを調整した								
2208		声かけをやめ、静かにする								
2209		食事時間の確認や説明を丁寧にする			1	1	2		2	1
2210		ほめる								
食事環境の調整	2301	隣の席から離れる	2	2				1	1	2
	2302	席の変更		3			3	1	3	3
	2303	仲の良い人の隣に座った								1
	2304	テーブル、椅子の調整							1	
	2305	好きな言葉を流す								2
	2306	ベースが同じ人と一緒に						1		2
活動の工夫	2401	食後のレクリエーション活動への誘導		1			2	2	4	4
	2402	外出					1			
	2403	興味のあるものを提供		1				1		2
	2404	針灸トリル								
	2405	役割								
	2406	配膳、下膳を手伝ってもらう								
	2407	買い物につきあってもらう								
	2408	食事の準備や調理、片づけに参加してもらう					2	1		1
	2409	食事前の活動の工夫	1	1						
	2410	休む								
	2411	活動量を増やす		1					1	
その他	2501	献立の掲示や説明	1					1		1
	2502	体重の管理						1		1
	2503	食べ物を視野から取り除く								
	2504	義歯調整								1
	2505	排便調整								2
		列記なし							1	

		【比率】									
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群		
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.4	100.0	
食事の工夫	2101	低カロリーにして大盛りにした	16.7				30.0	20.0	5.6	16.7	
	2102	カロリーを考慮し、好きなおかず数を増加	8.3				10.0	10.0	5.6	5.6	
	2103	摂取状態に応じた食材料形調整	8.3				10.0	10.0	16.7	16.7	
	2104	おやつや代替品を提供	25.0	25.0	100.0	100.0	30.0	20.0	11.1	33.3	
	2105	水分の摂取を増やす	16.7	25.0			10.0	50.0	22.2	11.1	
	2106	低カロリーの間食や夜食の提供		16.7				60.0	16.7	16.7	
	2107	食器を小さく、おかわりを増やす、食事数を増やす	16.7	25.0			20.0	10.0	22.2	33.3	
	2108	スプーンを小さくする									
	2109	配膳、下膳のタイミングを調整した					10.0	10.0	16.7	22.2	
	2110	盛りつけの工夫								5.6	
	2111	好きなものを提供	16.7								
	2112	食事時間の調整	16.7	16.7			20.0	40.0	22.2	27.8	
	2113	食事回数の調整							5.6		
	2114	食膳の配置を変える	8.3	8.3						5.6	
声かけの工夫	2201	スタッフが一緒に食事をする	8.3				20.0		16.7		
	2202	訴えを受理し、会話を多くする	8.3	16.7			20.0	30.0	5.6	11.1	
	2203	待てねと声かけ									
	2204	別の場所へ移動し会話する					20.0		11.1	22.2	
	2205	味の感想を伺う	8.3	16.7			10.0	30.0	27.8		
	2206	食事以外の話をする					10.0	10.0	5.6		
	2207	着席のタイミングを調整した									
	2208	声かけをやめ、静かにする									
	2209	食事時間の確認や説明を丁寧にする	16.7	100.0	100.0	20.0		11.1	5.6		
	2210	ほめる									
	食事環境の調整	2301	膳の席から離れる	16.7	16.7				10.0	5.6	11.1
2302		席の変更	8.3	25.0			30.0	10.0	16.7	16.7	
2303		仲の良い人の隣に座った						10.0	5.6	5.6	
2304		テーブル、椅子の調整							5.6		
2305		好きな音楽を流す						10.0			
2306		ベースが同じ人と一緒に						10.0		11.1	
活動の工夫	2401	食後のレクリエーション活動への誘導	8.3				20.0	20.0	22.2	22.2	
	2402	外出					10.0				
	2403	興味のあるものを提供		8.3				10.0		11.1	
	2404	計算ドリル									
	2405	夜間									
	2406	配膳、下膳を手伝ってもらう					10.0				
	2407	買い物につきあってもらう									
	2408	食事の準備や調理、片づけに参加してもらう					20.0	10.0	5.6		
	2409	食事前の活動の工夫	8.3	8.3							
	2410	休む									
	2411	活動量を増やす		8.3					5.6		
その他	2501	服立の指示や説明	8.3					10.0		5.6	
	2502	体重の管理						10.0		5.6	
	2503	なべ物を煮炊きから取り除く		8.3							
	2504	義歯調整							5.6		
	2505	排泄調整							11.1		
		列記なし						5.6			

(付表4-1) 放尿場面での大分類別アセスメント視点列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	4	4	1	1	3	3	8	8
	列記あり	4	4	1	1	3	3	7	8
100	認知能力	2	1			2		5	1
200	健康面					5	2	3	4
300	能力・機能					1		4	1
400	心理面		2			1		1	2
500	排泄行動	1	2	1	1	4	4	5	9
600	放尿時の状態	1					2	1	3
700	生活習慣			1	1	1		4	5
800	環境	1	3			4	1	2	7
900	人間関係								1
1000	介護者の対応	1				1	1	1	1
	列記なし(注)							1	

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	87.5	100.0
100	認知能力	50.0	25.0			66.7		62.5	12.5
200	健康面					166.7	66.7	37.5	50.0
300	能力・機能					33.3		50.0	12.5
400	心理面		50.0			33.3		12.5	25.0
500	排泄行動	25.0	50.0	100.0	100.0	133.3	133.3	62.5	112.5
600	放尿時の状態	25.0					66.7	12.5	37.5
700	生活習慣			100.0	100.0	33.3		50.0	62.5
800	環境	25.0	75.0			133.3	33.3	25.0	87.5
900	人間関係								12.5
1000	介護者の対応	25.0				33.3	33.3	12.5	12.5
	列記なし(注)							12.5	

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表4-2) 放尿場面での小分類別アセスメント視点の変化

【実数】										
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	4	4	1	1	3	3	8	8
		列記あり	4	4	1	1	3	3	7	8
認知能力	101	認知機能					2		5	1
	102	認知症の種類								
	103	見当識	2	1						
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	服薬状況					1		1	
	202	現病・既往歴					2		1	1
	203	失禁有無					1	2		
	204	水分状態					1		1	2
	205	便の状態								
	206	睡眠時間・状況								1
	207	体重								
能力・機能	301	歩行・下肢機能							1	
	302	視覚機能							1	1
	303	言語能力								
	304	上肢機能								
	305	尿意・排泄感覚					1		2	
心理面	401	気分		1			1			
	402	本人の気持ち・意志		1					1	2
排泄行動	501	排泄・排尿時間			1	1	1		2	2
	502	排泄間隔	1	2			2	2	2	5
	503	排泄頻度						1	1	
	504	排泄場所					1			2
	505	抵抗が始まった時期								
	506	排泄量						1		
放尿時の状態	601	放尿時の様子	1					2	1	2
	602	放尿時の表情								1
生活習慣	701	生活状況(数日内)			1					1
	702	生活習慣(ここ数年)				1			3	4
	703	生活歴(幼少期から)					1		1	
環境	801	トイレの場所	1	1			2	1	1	3
	802	トイレの表示		1						2
	803	トイレの形・材質・色							1	1
	804	トイレ内の室温					1			
	805	トイレ内の雰囲気		1			1			1
	806	トイレの扉								
人間関係	901	他の入居者との関係								
	902	スタッフとの関係								
	903	家族関係								1
介護者の対応	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方	1				1	1	1	1
		列記なし							1	

【比率】										
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	87.5	100.0
認知能力	101	認知機能					66.7		62.5	12.5
	102	認知症の種類								
	103	見当識	50.0	25.0						
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	服薬状況					33.3		12.5	
	202	現病・既往歴					66.7		12.5	12.5
	203	失禁有無					33.3	66.7		
	204	水分状態					33.3		12.5	25.0
	205	便の状態								
	206	睡眠時間・状況								12.5
	207	体重								
能力・機能	301	歩行・下肢機能							12.5	
	302	視覚機能							12.5	12.5
	303	言語能力								
	304	上肢機能								
	305	尿意・排泄感覚					33.3		25.0	
心理面	401	気分		25.0			33.3			
	402	本人の気持ち・意志		25.0					12.5	25.0
排泄行動	501	排泄・排尿時間			100.0	100.0	33.3		25.0	25.0
	502	排泄間隔	25.0	50.0			66.7	66.7	25.0	62.5
	503	排泄頻度						33.3	12.5	
	504	排泄場所					33.3			25.0
	505	抵抗が始まった時期								
	506	排泄量						33.3		
放尿時の状態	601	放尿時の様子	25.0					66.7	12.5	25.0
	602	放尿時の表情								12.5
生活習慣	701	生活状況(数日内)			100.0					12.5
	702	生活習慣(ここ数年)				100.0			37.5	50.0
	703	生活歴(幼少期から)					33.3		12.5	
環境	801	トイレの場所	25.0	25.0			66.7	33.3	12.5	37.5
	802	トイレの表示		25.0						25.0
	803	トイレの形・材質・色							12.5	12.5
	804	トイレ内の室温					33.3			
	805	トイレ内の雰囲気		25.0			33.3			12.5
	806	トイレの扉								
人間関係	901	他の入居者との関係								
	902	スタッフとの関係								
	903	家族関係								12.5
介護者の対応	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方	25.0				33.3	33.3	12.5	12.5
		列記なし							12.5	

(付表4-3) 放尿場面での大分類別ケア列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	4	4	1	1	3	3	9	9
	列記あり	4	4	1	1	3	3	8	9
9100	誘導の工夫	3	2	1	1	5	7	9	15
9200	環境調整	1	3	1	1	5	1	3	4
9300	その他	1	1			2		3	2
	列記なし(注)							1	

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	88.9	100.0
9100	誘導の工夫	75.0	50.0	100.0	100.0	166.7	233.3	100.0	166.7
9200	環境調整	25.0	75.0	100.0	100.0	166.7	33.3	33.3	44.4
9300	その他	25.0	25.0			66.7		33.3	22.2
	列記なし(注)							11.1	

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表4-4) 放尿場面での小分類別ケア方法の変化

【実数】

大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	4	4	1	1	3	3	9	9
		列記あり	4	4	1	1	3	3	8	9
誘導の工夫	9101	排尿パターンに応じ	2	2			2	3	1	5
	9102	誘導回数を増やす			1	1		2	1	2
	9103	状態に応じた					1	2	1	6
	9104	トイレが見えるよう								
	9105	トイレに誘導する	1				2		6	1
	9106	本人だけにそっと								
	9107	同性誘導								1
環境調整	9201	ポータブルトイレ					1			
	9202	トイレの位置調整		1			2	1	1	
	9203	夜間照明			1	1				2
	9204	トイレ表示の工夫	1	1			1		1	1
	9205	目の届く居室や環境		1			1			
	9206	排尿器の変更								1
その他	9301	薬調整、受診					1			
	9302	繰り返し説明							1	
	9303	放尿箇所の工夫								
	9304	放尿場所の遮断	1	1			1			
	9305	オムツパッドへの変更								
	9306	活動量の増加								
	9307	受容、会話増加								2
	9308	水分調整							1	
		列記なし							1	

【比率】

大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	88.9	100.0
誘導の工夫	9101	排尿パターンに応じ	50.0	50.0			66.7	100.0	11.1	55.6
	9102	誘導回数を増やす			100.0	100.0		66.7	11.1	22.2
	9103	状態に応じた					33.3	66.7	11.1	66.7
	9104	トイレが見えるよう								
	9105	トイレに誘導する	25.0				66.7		66.7	11.1
	9106	本人だけにそっと								
	9107	同性誘導								11.1
環境調整	9201	ポータブルトイレ					33.3			
	9202	トイレの位置調整		25.0			66.7	33.3	11.1	
	9203	夜間照明			100.0	100.0			11.1	22.2
	9204	トイレ表示の工夫	25.0	25.0			33.3		11.1	11.1
	9205	目の届く居室や環境		25.0			33.3			
	9206	排尿器の変更								11.1
その他	9301	薬調整、受診					33.3		11.1	
	9302	繰り返し説明							11.1	
	9303	放尿箇所の工夫								
	9304	放尿場所の遮断	25.0	25.0			33.3			
	9305	オムツパッドへの変更								
	9306	活動量の増加								
	9307	受容、会話増加								22.2
	9308	水分調整							11.1	
		列記なし							11.1	

(付表5-1) 排泄介護拒否場面での大分類別アセスメント視点列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	9	9	1	1	9	9	9	9
	列記あり	8	9	1	1	8	9	8	9
100	認知能力	2				3		2	4
200	健康面	1				4	1	3	1
300	能力・機能	2	2			2	2		1
400	心理面	2	1			5	10	8	8
500	排泄行動	3	4	1	1	2	4	1	6
600	抵抗時の状態						1		2
700	生活習慣	1	3			1	1		1
800	環境		1			1	2		1
900	人間関係	2	3			4	4		4
1000	介護者の対応	4	2			4	8	5	6
1100	その他						1		
	列記なし(注)	1				1		1	

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	88.9	100.0	100.0	100.0	88.9	100.0	88.9	100.0
100	認知能力	22.2				33.3		22.2	44.4
200	健康面	11.1				44.4	11.1	33.3	11.1
300	能力・機能	22.2	22.2			22.2	22.2		11.1
400	心理面	22.2	11.1			55.6	111.1	88.9	88.9
500	排泄行動	33.3	44.4	100.0	100.0	22.2	44.4	11.1	66.7
600	抵抗時の状態						11.1		22.2
700	生活習慣	11.1	33.3			11.1	11.1		11.1
800	環境		11.1			11.1	22.2		11.1
900	人間関係	22.2	33.3			44.4	44.4		44.4
1000	介護者の対応	44.4	22.2			44.4	88.9	55.6	66.7
1100	その他						11.1		
	列記なし(注)	11.1				11.1		11.1	

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表5-2) 排泄介護拒否場面での小分類別アセスメント視点の変化

【実数】										
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	9	9	1	1	9	9	9	9
		列記あり	8	9	1	1	8	9	8	9
認知能力	101	認知機能	2				1		2	3
	102	認知症の種類					1			
	103	見当識					1			1
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	服薬状況								
	202	現病・既往歴					1		1	
	203	栄養有無					1			
	204	水分状態								
	205	便の状態								
	206	体重								
	207	睡眠時間・状況								
	208	皮膚疾患					1			
	209	排泄状況								
	210	体調	1				1	1	2	1
能力・機能	301	歩行・下肢機能								
	302	視覚機能					1			
	303	言語能力								
	304	上肢機能								
	305	尿意・排泄感覚	2	2			1	2		1
心理面	401	気分					1	3	1	1
	402	本人の気持ち・意志	2	1			4	6	7	7
	403	興味・関心						1		
排泄行動	501	排泄・排尿時間	1		1		1	3	1	2
	502	排泄間隔	2	1			1	1		
	503	排泄頻度								1
	504	排泄場所								1
	505	抵抗が始まった時期								1
	506	排泄に関する生活習慣			1					
	507	パッドの必要性		1						
	508	交換の時間帯		1						1
	601	抵抗時の様子								1
抵抗時の状態	602	抵抗時の表情						1		1
生活習慣	701	生活状況(数日内)	1	1						1
	702	生活習慣(ここ数年)					1	1		
	703	生活歴(幼少期から)		1						
環境	801	交換場所								
	802	施設環境		1			1	2		1
人間関係	901	他の入居者との関係		1			1			
	902	スタッフとの関係	2	2			3	4		4
	903	家族関係								
介護者の対応	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方	2	1			3	5	2	4
	1002	介護者の性別	2	1			1	3	3	2
その他	1101	性格						1		
	1102	衣類の汚れ								
		列記なし	1				1		1	

【比率】										
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	88.9	100.0	100.0	100.0	88.9	100.0	88.9	100.0
認知能力	101	認知機能	22.2				11.1		22.2	33.3
	102	認知症の種類					11.1			
	103	見当識					11.1			11.1
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	服薬状況								
	202	現病・既往歴					11.1		11.1	
	203	栄養有無					11.1			
	204	水分状態								
	205	便の状態								
	206	体重								
	207	睡眠時間・状況								
	208	皮膚疾患					11.1			
	209	排泄状況								
	210	体調	11.1				11.1	11.1	22.2	11.1
能力・機能	301	歩行・下肢機能								
	302	視覚機能					11.1			
	303	言語能力								
	304	上肢機能								
	305	尿意・排泄感覚	22.2	22.2			11.1	22.2		11.1
心理面	401	気分					11.1	33.3	11.1	11.1
	402	本人の気持ち・意志	22.2	11.1			44.4	66.7	77.8	77.8
	403	興味・関心						11.1		
排泄行動	501	排泄・排尿時間	11.1		100.0		11.1	33.3	11.1	22.2
	502	排泄間隔	22.2	11.1			11.1	11.1		
	503	排泄頻度		11.1						11.1
	504	排泄場所								11.1
	505	抵抗が始まった時期								11.1
	506	排泄に関する生活習慣			100.0					
	507	パッドの必要性		11.1						
	508	交換の時間帯		11.1						11.1
	601	抵抗時の様子								11.1
抵抗時の状態	602	抵抗時の表情						11.1		11.1
生活習慣	701	生活状況(数日内)	11.1	11.1						11.1
	702	生活習慣(ここ数年)		11.1			11.1	11.1		
	703	生活歴(幼少期から)		11.1						
環境	801	交換場所								
	802	施設環境		11.1			11.1	22.2		11.1
人間関係	901	他の入居者との関係		11.1			11.1			
	902	スタッフとの関係	22.2	22.2			33.3	44.4		44.4
	903	家族関係								
介護者の対応	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方	22.2	11.1			33.3	55.6	22.2	44.4
	1002	介護者の性別	22.2	11.1			11.1	33.3	33.3	22.2
その他	1101	性格						11.1		
	1102	衣類の汚れ								
		列記なし	11.1				11.1		11.1	

(付表5-3) 排泄介護拒否場面での大分類別ケア列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	8	8	1	1	9	9	9	9
	列記あり	8	8	1	1	9	9	9	9
7100	声かけ・誘導の工夫	7	11	3	3	13	12	7	15
7200	介助方法の工夫	1	5	1		7	10	6	3
7300	介助者の工夫	6	5			4	10	5	7
7400	環境調整							2	5
7500	その他								2
	列記なし(注)								

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
7100	声かけ・誘導の工夫	87.5	137.5	300.0	300.0	144.4	133.3	77.8	166.7
7200	介助方法の工夫	12.5	62.5	100.0		77.8	111.1	66.7	33.3
7300	介助者の工夫	75.0	62.5			44.4	111.1	55.6	77.8
7400	環境調整							22.2	55.6
7500	その他								22.2
	列記なし(注)								

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表5-4) 排泄介護拒否場面での小分類別ケア方法の変化

【実数】

大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	8	8	1	1	9	9	9	9
		列記あり	8	8	1	1	9	9	9	9
声かけ・誘導の工夫	7101	トイレの言葉禁止	1		1					
	7102	薬の塗布					1			
	7103	トイレに誘う			1			3		1
	7104	排泄パターンに応じ	1	1			1			1
	7105	本人だけに声かけ		3			1	2	1	2
	7106	時間を置き繰り返し返す	1	2	1	1	2	1	1	3
	7107	衛生・疾病に関する説明				1	2	1		
	7108	家族からの誘導								
	7109	全員に声かけ								
	7110	職員と一緒にトイレへ					1			
	7111	好きな話題で声かけ		1					1	
	7112	検査のため								
	7113	衛生状態の確認	1							
	7114	笑顔でやさしく	1				1	1	2	2
	7115	その他	1	3		1	3	4	2	6
	7116	食後に誘う								
	7117	定期的に時間を決めて誘導	1	1			1			
介助方法の工夫	7201	トイレ時の下着交換							1	
	7202	事前に確認		1				1	1	
	7203	着替えの流れ		1			2	4		
	7204	交換後の処理をすばやく								
	7205	説明し、自分で			1		1	1	1	
	7206	すばやく		1						1
	7207	室温、毛布等の工夫		1						
	7208	好きな話題で会話しながら					1			
	7209	洗濯の勧め								
	7210	定時交換						1	1	
	7211	気分の良い時に					1		1	2
	7212	その他		1			2	2	1	
	7213	パットを見せる								
	7214	以前の方法と同じ方法で	1							
介助者の工夫	7301	信頼関係のある職員が	1	4			1	6	1	3
	7302	ケア方法の統一	1							
	7303	介助者の変更	3	1			3	3	3	3
	7304	その他	1					1	1	1
環境調整	7401	安心できる場所で							2	3
	7402	パット、下着の保管方法								
	7403	その他								2
その他	7501	医師からの指示								
	7502	家族の面会を増やす								
	7503	その他								2
	7504	コミュニケーション量を増やす								
		列記なし								

		【比率】								
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
声かけ・誘導の工夫	7101	トイレの言葉禁止	12.5		100.0					
	7102	薬の塗布					11.1			
	7103	トイレに誘う			100.0			33.3		11.1
	7104	排泄パターンに応じ	12.5	12.5			11.1			11.1
	7105	本人だけに声かけ		37.5			11.1	22.2	11.1	22.2
	7106	時間を置き繰り返す	12.5	25.0	100.0	100.0	22.2	11.1	11.1	33.3
	7107	衛生・疾病に関する説明				100.0	22.2	11.1		
	7108	家族からの誘導								
	7109	全員に声かけ								
	7110	職員と一緒にトイレへ					11.1			
	7111	好きな話題で声かけ		12.5					11.1	
	7112	検査のため								
	7113	衛生状態の確認	12.5							
	7114	笑顔でやさしく	12.5				11.1	11.1	22.2	22.2
	7115	その他	12.5	37.5		100.0	33.3	44.4	22.2	66.7
	7116	食後に誘う								
	7117	定期的に時間を決めて誘導	12.5	12.5			11.1			
介助方法の工夫	7201	トイレ時の下着交換								11.1
	7202	事前に確認		12.5				11.1	11.1	
	7203	着替えの流れ		12.5			22.2	44.4		
	7204	交換後の処理をすばやく								
	7205	説明し、自分で			100.0		11.1	11.1	11.1	
	7206	すばやく		12.5						11.1
	7207	室温、毛布等の工夫		12.5				11.1		
	7208	好きな話題で会話しながら					11.1			
	7209	洗濯の勧め								
	7210	定時交換						11.1	11.1	
	7211	気分の良い時に					11.1		11.1	22.2
	7212	その他		12.5			22.2	22.2	11.1	
	7213	パットを見せる								
	7214	以前の方法と同じ方法で	12.5							
介助者の工夫	7301	信頼関係のある職員が	12.5	50.0			11.1	66.7	11.1	33.3
	7302	ケア方法の統一	12.5							
	7303	介助者の変更	37.5	12.5			33.3	33.3	33.3	33.3
	7304	その他	12.5					11.1	11.1	11.1
環境調整	7401	安心できる場所で							22.2	33.3
	7402	パット、下着の保管方法								
	7403	その他								22.2
その他	7501	医師からの指示								
	7502	家族の面会を増やす								
	7503	その他								22.2
	7504	コミュニケーション量を増やす								
		列記なし								

(付表6-1) 排泄誘導拒否場面での大分類別アセスメント視点列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	9	9	1	1	10	10	11	11
	列記あり	8	9	1	1	10	10	10	11
100	認知能力	1	1			2	5	4	6
200	健康面	7	8			3	7	2	1
300	能力・機能		1			1	1	2	2
400	心理面	5	6			7	9	9	9
500	排泄行動	2	1		1	4	5	5	12
600	抵抗時の状態	1							
700	生活習慣		2	1				1	1
800	環境		2	1			2	3	3
900	人間関係	1	1			1		3	3
1000	介護者の対応	4	3			7	9	9	9
1100	その他					1	1	1	
	列記なし(注)	1						1	

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	88.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	90.9	100.0
100	認知能力	11.1	11.1			20.0	50.0	36.4	54.5
200	健康面	77.8	88.9			30.0	70.0	18.2	9.1
300	能力・機能		11.1			10.0	10.0	18.2	18.2
400	心理面	55.6	66.7			70.0	90.0	81.8	81.8
500	排泄行動	22.2	11.1		100.0	40.0	50.0	45.5	109.1
600	抵抗時の状態	11.1							
700	生活習慣		22.2	100.0				9.1	9.1
800	環境		22.2	100.0			20.0	27.3	27.3
900	人間関係	11.1	11.1			10.0		27.3	27.3
1000	介護者の対応	44.4	33.3			70.0	90.0	81.8	81.8
1100	その他					10.0	10.0	9.1	
	列記なし(注)	11.1						9.1	

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表6-2) 排泄誘導拒否場面での小分類別アセスメント視点の変化

			【実数】							
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	9	9	1	1	10	10	11	11
		列記あり	8	9	1	1	10	10	10	11
認知能力	101	認知機能					2	5	4	5
	102	認知症の種類								
	103	見当識	1	1						1
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	服薬状況								1
	202	現病・既往歴		1						
	203	失禁有無								
	204	水分状態	2	2			1	2	1	
	205	便の状態								
	206	失禁状況	2	2			1	1		
	207	睡眠時間・状況	1	1					1	
	208	皮膚疾患					1	1		
	209	排泄状況	1							
	210	体調	1	2				3		
能力・機能	301	歩行・下肢機能								
	302	視覚機能								
	303	言語能力								
	304	上肢機能								
	305	尿意・排泄感覚		1			1	1	2	2
心理面	401	気分	2	2				2	3	3
	402	本人の気持ち・意志	3	4			7	7	6	6
	403	興味・関心								
排泄行動	501	排泄・排尿時間					1	1	1	2
	502	排泄間隔	2	1			2	2	3	4
	503	排泄頻度								
	504	排泄場所								1
	505	抵抗が始まった時期								
	506	排泄に関する生活習慣				1	1	1		1
	507	パッドの必要性								
	508	誘導の時間帯						1	1	4
抵抗時の状態	601	抵抗時の様子								
	602	抵抗時の表情	1							
生活習慣	701	生活状況(数日内)				1				1
	702	生活習慣(ここ数年)								
	703	生活歴(幼少期から)		1						
環境	801	交換場所							1	
	802	施設環境		2	1			2	2	3
人間関係	901	他の入居者との関係								
	902	スタッフとの関係	1	1			1		2	2
	903	家族関係							1	1
介護者の対応	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方	3	3			6	6	6	7
	1002	介護者の性別	1				1	3	3	2
その他	1101	性格					1	1	1	
		列記なし	1						1	

			【比率】							
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	88.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	90.9	100.0
認知能力	101	認知機能					20.0	50.0	36.4	45.5
	102	認知症の種類								
	103	見当識	11.1	11.1						9.1
	104	認知症罹患期間								
健康面	201	服薬状況								9.1
	202	現病・既往歴		11.1						
	203	失禁有無								
	204	水分状態	22.2	22.2			10.0	20.0	9.1	
	205	便の状態								
	206	失禁状況	22.2	22.2			10.0	10.0		
	207	睡眠時間・状況	11.1	11.1					9.1	
	208	皮膚疾患					10.0	10.0		
	209	排泄状況	11.1							
	210	体調	11.1	22.2				30.0		
能力・機能	301	歩行・下肢機能								
	302	視覚機能								
	303	言語能力								
	304	上肢機能								
	305	尿意・排泄感覚		11.1			10.0	10.0	18.2	18.2
心理面	401	気分	22.2	22.2				20.0	27.3	27.3
	402	本人の気持ち・意志	33.3	44.4			70.0	70.0	54.5	54.5
	403	興味・関心								
排泄行動	501	排泄・排尿時間					10.0	10.0	9.1	18.2
	502	排泄間隔	22.2	11.1			20.0	20.0	27.3	36.4
	503	排泄頻度								
	504	排泄場所								9.1
	505	抵抗が始まった時期								
	506	排泄に関する生活習慣				100.0	10.0	10.0		9.1
	507	パッドの必要性								
	508	誘導の時間帯						10.0	9.1	36.4
抵抗時の状態	601	抵抗時の様子								
	602	抵抗時の表情	11.1							
生活習慣	701	生活状況(数日内)				100.0				9.1
	702	生活習慣(ここ数年)		11.1					9.1	
	703	生活歴(幼少期から)		11.1						
環境	801	交換場所							9.1	
	802	施設環境		22.2	100.0			20.0	18.2	27.3
人間関係	901	他の入居者との関係								
	902	スタッフとの関係	11.1	11.1			10.0		18.2	18.2
	903	家族関係							9.1	9.1
介護者の対応	1001	スタッフの声かけ内容・見守り方	33.3	33.3			60.0	60.0	54.5	63.6
	1002	介護者の性別	11.1				10.0	30.0	27.3	18.2
その他	1101	性格					10.0	10.0	9.1	
		列記なし	11.1						9.1	

(付表6-3) 排泄誘導拒否場面での大分類別ケア列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	9	9	1	1	10	10	11	11
	列記あり	9	9	1	1	9	10	11	11
8100	誘導時間	9	8	1	1	10	10	10	19
8200	誘導理由	2	3			1	3	5	3
8300	誘導者の調整	4	4			2	3	2	2
8400	誘導時の声かけ		5	1	1	2	13	4	6
8500	介助方法の工夫	2	3			4	10	3	7
8600	コミュニケーション		3			1	1	2	4
8700	環境	2	8	1		3	2	3	4
8800	その他								
	列記なし(注)					1			

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	90.0	100.0	100.0	100.0
8100	誘導時間	100.0	88.9	100.0	100.0	100.0	100.0	90.9	172.7
8200	誘導理由	22.2	33.3			10.0	30.0	45.5	27.3
8300	誘導者の調整	44.4	44.4			20.0	30.0	18.2	18.2
8400	誘導時の声かけ		55.6	100.0	100.0	20.0	130.0	36.4	54.5
8500	介助方法の工夫	22.2	33.3			40.0	100.0	27.3	63.6
8600	コミュニケーション		33.3			10.0	10.0	18.2	36.4
8700	環境	22.2	88.9	100.0		30.0	20.0	27.3	36.4
8800	その他								
	列記なし(注)					10.0			

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表6-4) 排泄誘導拒否場面での小分類ケア方法の変化

			【実数】							
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	9	9	1	1	10	10	11	11
		列記あり	9	9	1	1	9	10	11	11
誘導時間	8101	排泄パターンに応じ	3	1			2	2	5	4
	8102	定時声かけ	2	2			2	1		3
	8103	本人の行動・状態に応じて	2	3		1	6	4	4	5
	8104	移動時		2				1		3
	8105	気分の良いときに	2		1		2	2		4
	8106	外出してから								
誘導理由	8201	トイレ以外の理由で誘導	2	2			1	3	3	2
	8202	トイレ備品の使用について声かけ								
	8203	衛生・疾病の説明								
	8204	トイレを見せ認識を促す		1					2	1
誘導者の調整	8301	他者と一緒に		1			2	3	1	1
	8302	職員と一緒に	2	1						
	8303	家族による説明・誘導								
	8304	違う職員が誘う	2	2					1	1
誘導時の声かけ	8401	会話をしながら		2				1		
	8402	慣れた言葉					1			
	8403	トイレという言葉を使用しない		1				2	1	2
	8404	説明と納得			1	1		4	1	
	8405	着替えの促し						1		1
	8406	好きな話題で		1						
	8407	やさしく、笑顔で					1	5	2	3
	8408	他の人に気づかれないように								
介助方法の工夫	8501	おしりの状態をみる		1				1		
	8502	すばやく								
	8503	パットをすばやく片付ける								
	8504	見守り、外でまつ						1		2
	8505	極力本人で、部分介助						1		
	8506	静かなところで介助								
	8507	介助者の性別考慮	2	2			4	7	3	5
	8508	パット交換は職員で								
コミュニケーション	8601	賞賛、ほめる								
	8602	お金の心配払拭								
	8603	本人の思いを傾聴する		2					1	
	8604	わかりやすく伝える						1		2
	8605	慰め								
	8606	日頃のコミュニケーション量増やす		1						
	8607	信頼関係の構築					1		1	2
環境	8701	トイレ表示の工夫	1	1			1			
	8702	排泄用具の代替								
	8703	その他	1	4	1		2	2	3	3
	8704	室温調整		1						1
	8705	トイレを清潔にする		1						
その他	8801	活動量の調整								
		列記なし					1		1	

			【比率】							
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	90.0	100.0	100.0	100.0
誘導時間	8101	排泄パターンに応じ	33.3	11.1			20.0	20.0	45.5	36.4
	8102	定時声かけ	22.2	22.2			20.0	10.0	9.1	27.3
	8103	本人の行動・状態に応じて	22.2	33.3		100.0	60.0	40.0	36.4	45.5
	8104	移動時		22.2				10.0		27.3
	8105	気分の良いときに	22.2		100.0			20.0		36.4
	8106	外出してから								
誘導理由	8201	トイレ以外の理由で誘導	22.2	22.2			10.0	30.0	27.3	18.2
	8202	トイレ備品の使用について声かけ								
	8203	衛生・疾病の説明								
	8204	トイレを見せ認識を促す		11.1					18.2	9.1
誘導者の調整	8301	他者と一緒に		11.1			20.0	30.0	9.1	9.1
	8302	職員と一緒に	22.2	11.1						
	8303	家族による説明・誘導								
	8304	違う職員が誘う	22.2	22.2					9.1	9.1
誘導時の声かけ	8401	会話をしながら		22.2				10.0		
	8402	慣れた言葉					10.0			
	8403	トイレという言葉を使用しない		11.1				20.0	9.1	18.2
	8404	説明と納得			100.0	100.0		40.0	9.1	
	8405	着替えの促し						10.0		9.1
	8406	好きな話題で		11.1						
	8407	やさしく、笑顔で		11.1			10.0	50.0	18.2	27.3
	8408	他の人に気づかれないように								
介助方法の工夫	8501	おしりの状態をみる		11.1				10.0		
	8502	すばやく								
	8503	パットをすばやく片付ける								
	8504	見守り、外でまつ						10.0		18.2
	8505	極力本人で、部分介助						10.0		
	8506	静かなところで介助								
	8507	介助者の性別考慮	22.2	22.2			40.0	70.0	27.3	45.5
	8508	パット交換は職員で								
コミュニケーション	8601	賞賛、ほめる								
	8602	お金の心配払拭								
	8603	本人の思いを傾聴する		22.2					9.1	
	8604	わかりやすく伝える						10.0		18.2
	8605	慰め								
	8606	日頃のコミュニケーション量増やす		11.1						
	8607	信頼関係の構築					10.0		9.1	18.2
環境	8701	トイレ表示の工夫	11.1	11.1			10.0			
	8702	排泄用具の代替		11.1						
	8703	その他	11.1	44.4	100.0		20.0	20.0	27.3	27.3
	8704	室温調整		11.1						9.1
	8705	トイレを清潔にする		11.1						
その他	8801	活動量の調整								
		列記なし					10.0			

(付表7-1) 入浴拒否場面での大分類別アセスメント視点列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	15	15	5	5	20	20	23	23
	列記あり	14	15	5	5	19	20	22	23
100	認知能力				2		4	3	3
200	健康面	2	5	5	4	8	20	15	26
300	能力・機能								
400	心理面	8	8	6	4	13	17	21	18
500	入浴スタイル	9	16	5	2	13	25	24	25
600	拒否時の状態	1		1		1	2		
700	入浴習慣	6	3	2	1	6	2	4	9
800	人間関係	3	2		1	6	8	6	15
900	介護者の対応	5	6	1	2	8	7	15	12
1000	その他	1			3	3	4	5	7
	列記なし(注)	1				1		1	

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	93.3	100.0	100.0	100.0	95.0	100.0	95.7	100.0
100	認知能力				40.0		20.0	13.0	13.0
200	健康面	13.3	33.3	100.0	80.0	40.0	100.0	65.2	113.0
300	能力・機能								
400	心理面	53.3	53.3	120.0	80.0	65.0	85.0	91.3	78.3
500	入浴スタイル	60.0	106.7	100.0	40.0	65.0	125.0	104.3	108.7
600	拒否時の状態	6.7		20.0		5.0	10.0		
700	入浴習慣	40.0	20.0	40.0	20.0	30.0	10.0	17.4	39.1
800	人間関係	20.0	13.3		20.0	30.0	40.0	26.1	65.2
900	介護者の対応	33.3	40.0	20.0	40.0	40.0	35.0	65.2	52.2
1000	その他	6.7			60.0	15.0	20.0	21.7	30.4
	列記なし(注)	6.7				5.0		4.3	

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表7-2) 入浴拒否場面での小分類別アセスメント視点の変化

【実数】										
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	15	15	5	5	20	20	23	23
		列記あり	14	15	5	5	19	20	22	23
認知能力	101	認知機能				2		2	1	1
	102	認知症の種類						2		1
	103	見当識							1	
	104	妄想の有無							1	1
健康面	201	現病・既往歴				1				
	202	バイタル・体調	2	3	2	2	6	12	10	12
	203	失禁の有無					2	2	1	4
	204	排泄状況		1			1	3	2	2
	205	清潔度			2			1		2
	206	食欲						1		1
	207	睡眠時間・状況				1				
	208	皮膚疾患		1	1		1	1	1	3
	209	生理の有無								
	210	ADL身体機能						1	1	1
能力・機能	301	歩行・下肢機能								
	302	着脱能力								
	303	言語理解								
	304	上肢機能								
心理面	401	気分	3	3	3	1	3	8	7	3
	402	本人の気持ち・意志	5	5	3	3	9	7	13	14
	403	興味・関心					1	2	1	1
入浴スタイル	501	入浴時間帯	4	2		1	5	7	4	7
	502	入浴のこだわり	1	1			2	2	2	1
	503	入浴人数	1	1			1	1	2	2
	504	浴槽の形					1	1	1	1
	505	浴室の温度		3			2	5	5	4
	506	湯温		2				4	3	2
	507	シャワーかどうか								
	508	浴室環境		2	2	1	1	3	3	5
	509	入浴時間帯・入浴時間		1	1				3	1
	510	入浴回数・間隔	2	2	2		3	2	1	2
	511	浴室の場所	1	2						
拒否時の状態	601	入浴拒否の開始時期			1					
	602	拒否時の表情	1				1	1		
	603	拒否時の言動						1		
入浴習慣	701	入浴習慣(自宅)	1		1		1		2	3
	702	浴室環境(自宅)					1		2	1
	703	生活歴(幼少期から)		2						1
	704	過去の入浴体験	5	1	1	1	4	2		4
人間関係	801	他の入居者との関係					3	4	3	2
	802	スタッフとの関係	3	2		1	3	4	3	12
	803	家族関係								1
介護者の対応	901	スタッフの声かけ内容・見守り方	2	5		2	7	6	10	11
	902	介護者の性別	3	1	1		1	1	5	1
	903	介助者の人数								
その他	1001	性格				2	1		2	1
	1002	性別				1		4	1	3
	1003	下着の状態					1		1	
	1004	趣味							1	1
	1005	着替えのストック								
	1006	生活状況	1				1			1
		列記なし	1				1		1	

【比率】										
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		有効回答数	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			93.3	100.0	100.0	100.0	95.0	100.0	95.7	100.0
認知能力	101	認知機能				40.0		10.0	4.3	4.3
	102	認知症の種類						10.0		4.3
	103	見当識							4.3	4.3
	104	妄想の有無							4.3	4.3
健康面	201	現病・既往歴				20.0				4.3
	202	バイタル・体調	13.3	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0	43.5	52.2
	203	失禁の有無						10.0	4.3	17.4
	204	排泄状況		6.7			5.0	15.0	8.7	8.7
	205	清潔度			40.0			5.0		8.7
	206	食欲								4.3
	207	睡眠時間・状況				20.0				
	208	皮膚疾患		6.7	20.0		5.0	5.0	4.3	13.0
	209	生理の有無								
	210	ADL身体機能						5.0	4.3	4.3
能力・機能	301	歩行・下肢機能								
	302	着脱能力								
	303	言語理解								
	304	上肢機能								
心理面	401	気分	20.0	20.0	60.0	20.0	15.0	40.0	30.4	13.0
	402	本人の気持ち・意志	33.3	33.3	60.0	60.0	45.0	35.0	56.5	60.9
	403	興味・関心					5.0	10.0	4.3	4.3
入浴スタイル	501	入浴時間帯	26.7	13.3		20.0	25.0	35.0	17.4	30.4
	502	入浴のこだわり	6.7	6.7				10.0	8.7	4.3
	503	入浴人数	6.7	6.7			5.0	5.0	8.7	8.7
	504	浴槽の形					5.0	5.0	4.3	4.3
	505	浴室の温度		20.0			10.0	25.0	21.7	17.4
	506	湯温		13.3				20.0	13.0	8.7
	507	シャワーかどうか								
	508	浴室環境		13.3	40.0	20.0	5.0	15.0	13.0	21.7
	509	入浴時間帯・入浴時間		6.7	20.0				13.0	4.3
	510	入浴回数・間隔	13.3	13.3	40.0		15.0	10.0	4.3	8.7
	511	浴室の場所	6.7	13.3						
拒否時の状態	601	入浴拒否の開始時期			20.0					
	602	拒否時の表情		6.7			5.0	5.0		
	603	拒否時の言動						5.0		
入浴習慣	701	入浴習慣(自宅)		6.7		20.0		5.0	8.7	13.0
	702	浴室環境(自宅)					5.0		8.7	4.3
	703	生活歴(幼少期から)		13.3						4.3
	704	過去の入浴体験	33.3	6.7	20.0	20.0	20.0	10.0		17.4
人間関係	801	他の入居者との関係					15.0	20.0	13.0	8.7
	802	スタッフとの関係	20.0	13.3		20.0	15.0	20.0	13.0	52.2
	803	家族関係								4.3
介護者の対応	901	スタッフの声かけ内容・見守り方	13.3	33.3		40.0	35.0	30.0	43.5	47.8
	902	介護者の性別	20.0	6.7	20.0		5.0	5.0	21.7	4.3
	903	介助者の人数								
その他	1001	性格				40.0	5.0		8.7	4.3
	1002	性別				20.0		20.0	4.3	13.0
	1003	下着の状態					5.0		4.3	
	1004	趣味							4.3	4.3
	1005	着替えのストック								4.3
	1006	生活状況	8.7				5.0			4.3
		列記なし	6.7				5.0		4.3	

(付表7-3) 入浴拒否場面での大分類別ケア列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	15	15	5	5	20	20	24	24
	列記あり	15	15	5	5	20	20	24	24
4100	声かけの工夫	4	2	1	1	5	6	6	13
4200	誘導の工夫	12	8	7	5	13	16	17	24
4300	入浴前の工夫	4	7	3	3	8	9	13	14
4400	入浴時間の調整	4	1	1	1	4	9	4	7
4500	入浴方法の工夫	3	1	3	4	3	7	2	8
4600	入浴メンバーの調整	1	3		1	7	9	5	7
4700	入浴環境の調整	4	8	2	5	7	16	9	13
4800	介助者の調整	3	6	2	1	11	14	10	16
4900	その他	6	7	3	2	2	5	9	13
	列記なし(注)								

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
4100	声かけの工夫	26.7	13.3	20.0	20.0	25.0	30.0	25.0	54.2
4200	誘導の工夫	80.0	53.3	140.0	100.0	65.0	80.0	70.8	100.0
4300	入浴前の工夫	26.7	46.7	60.0	60.0	40.0	45.0	54.2	58.3
4400	入浴時間の調整	26.7	6.7	20.0	20.0	20.0	45.0	16.7	29.2
4500	入浴方法の工夫	20.0	6.7	60.0	80.0	15.0	35.0	8.3	33.3
4600	入浴メンバーの調整	6.7	20.0		20.0	35.0	45.0	20.8	29.2
4700	入浴環境の調整	26.7	53.3	40.0	100.0	35.0	80.0	37.5	54.2
4800	介助者の調整	20.0	40.0	40.0	20.0	55.0	70.0	41.7	66.7
4900	その他	40.0	46.7	60.0	40.0	10.0	25.0	37.5	54.2
	列記なし(注)								

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表8-1) 洗髪拒否場面での大分類別アセスメント視点列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	2	2	0	0	7	7	3	3
	列記あり	2	2			6	7	3	3
100	認知能力								
200	健康面	1	2			2	5	4	3
300	能力・機能					1			
400	心理面	1	1			4	8	2	2
500	入浴・洗髪方法					2	11	3	3
600	拒否時の状態					4	1		
700	入浴習慣	1	1			2	3	1	2
800	人間関係		1				1	1	
900	介護者の対応		1			1	2	1	1
1000	その他								
	列記なし(注)					1			

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0			85.7	100.0	100.0	100.0
100	認知能力								
200	健康面	50.0	100.0			28.6	71.4	133.3	100.0
300	能力・機能					14.3			
400	心理面	50.0	50.0			57.1	114.3	66.7	66.7
500	入浴・洗髪方法					28.6	157.1	100.0	100.0
600	拒否時の状態					57.1	14.3		
700	入浴習慣	50.0	50.0			28.6	42.9	33.3	66.7
800	人間関係		50.0				14.3	33.3	
900	介護者の対応		50.0			14.3	28.6	33.3	33.3
1000	その他								
	列記なし(注)					14.3			

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表8-2) 洗髪拒否場面での小分類別アセスメント視点の変化

【実数】										
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	2	2	0	0	7	7	3	3
		列記あり	2	2			6	7	3	3
認知能力	101	認知機能								
	102	認知症の種類								
	103	見当識								
	104	妄想の有無								
	104	妄想の有無								
健康面	201	現病・既往歴	1	1						
	202	バイタル・体調					2	4	2	2
	203	失禁有無								
	204	排泄状況								1
	205	清潔度								
	206	食欲								
	207	睡眠時間・状況								
	208	皮膚疾患		1				1	2	
	209	生理								
	209	生理								
能力・機能	301	歩行・下肢機能								
	302	着脱能力								
	303	言語理解					1			
	304	上肢機能								
心理面	401	気分						3		2
	402	本人の気持ち・意志	1	1			4	4	2	
	403	興味・関心						1		
入浴・洗髪方法	501	入浴時間帯						1		
	502	入浴のこだわり						1		
	503	入浴人数								
	504	浴槽の形								
	505	浴槽の温度						4	1	1
	506	湯温						3	1	1
	507	シャワーかどうか								
	508	洗髪した日								
	509	シャワーの水圧						1		
	510	シャンプーの種類								
	511	床屋に行った日								1
	512	洗髪場所								
	513	洗髪方法					1	1	1	
	513	洗髪方法								
	601	洗髪拒否の開始時期								
	602	洗髪への反応・様子					4	1		
入浴習慣	701	洗髪習慣(自宅での方法)	1				1			1
	702	浴室環境(自宅)						2		
	703	生活歴(幼少期から)								
	704	過去の入浴体験		1			1	1	1	1
人間関係	801	他の入居者との関係								
	802	スタッフとの関係		1				1	1	
	803	家族関係								
介護者の対応	901	スタッフの声かけ内容・見守り方		1			1	2	1	1
	902	介護者の性別								
	903	介助者の人数								
その他	1001	性格								
	1002	性別								
	1003	下着の状態								
	1004	趣味								
		列記なし					1			

【比率】										
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	100.0	100.0			85.7	100.0	100.0	100.0
認知能力	101	認知機能								
	102	認知症の種類								
	103	見当識								
	104	妄想の有無								
	104	妄想の有無								
健康面	201	現病・既往歴	50.0	50.0						
	202	バイタル・体調					28.6	57.1	66.7	66.7
	203	失禁有無								
	204	排泄状況								33.3
	205	清潔度								
	206	食欲								
	207	睡眠時間・状況								
	208	皮膚疾患		50.0				14.3	66.7	
	209	生理								
	209	生理								
能力・機能	301	歩行・下肢機能								
	302	着脱能力								
	303	言語理解					14.3			
	304	上肢機能								
心理面	401	気分						42.9		66.7
	402	本人の気持ち・意志	50.0	50.0			57.1	57.1	66.7	
	403	興味・関心						14.3		
入浴・洗髪方法	501	入浴時間帯						14.3		
	502	入浴のこだわり						14.3		
	503	入浴人数								
	504	浴槽の形								
	505	浴槽の温度						57.1	33.3	33.3
	506	湯温						42.9	33.3	33.3
	507	シャワーかどうか								
	508	洗髪した日					14.3			
	509	シャワーの水圧						14.3		
	510	シャンプーの種類								33.3
	511	床屋に行った日								
	512	洗髪場所								
	513	洗髪方法					14.3	14.3	33.3	
	513	洗髪方法								
	601	洗髪拒否の開始時期								
	602	洗髪への反応・様子					57.1	14.3		33.3
入浴習慣	701	洗髪習慣(自宅での方法)	50.0				14.3			33.3
	702	浴室環境(自宅)						28.6		
	703	生活歴(幼少期から)								
	704	過去の入浴体験		50.0			14.3	14.3	33.3	33.3
人間関係	801	他の入居者との関係								
	802	スタッフとの関係		50.0				14.3	33.3	
	803	家族関係								
介護者の対応	901	スタッフの声かけ内容・見守り方		50.0			14.3	28.6	33.3	33.3
	902	介護者の性別								
	903	介助者の人数								
その他	1001	性格								
	1002	性別								
	1003	下着の状態								
	1004	趣味								
		列記なし					14.3			

(付表8-3) 洗髪拒否場面での大分類別ケア列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	2	2	0	0	7	7	3	3
	列記あり	2	2			7	7	3	3
6100	声かけ・誘導の工夫	1	1			2	7	4	5
6200	洗髪方法の工夫	2	2			8	11	6	5
6300	洗髪環境の調整		1			2	5	1	3
6400	介助者の工夫						3		
6500	その他	1	1			4	4	2	
	列記なし(注)								

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0
6100	声かけ・誘導の工夫	50.0	50.0			28.6	100.0	133.3	166.7
6200	洗髪方法の工夫	100.0	100.0			114.3	157.1	200.0	166.7
6300	洗髪環境の調整		50.0			28.6	71.4	33.3	100.0
6400	介助者の工夫						42.9		
6500	その他	50.0	50.0			57.1	57.1	66.7	
	列記なし(注)								

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表8-4) 洗髪拒否場面での小分類別ケア方法の変化

【実数】										
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	2	2	0	0	7	7	3	3
		列記あり	2	2			7	7	3	3
声かけ・誘導の工夫	6101	声かけの態度を工夫					1		1	2
	6102	単純な声かけ							1	
	6103	おれやねぎらい						1	1	
	6104	家族からの依頼								
	6105	歌をつたいながら								
	6106	好きな話題で会話しながら					1	1		
	6107	仲の良い人から誘導		1				3		1
	6108	入浴という言葉を選んだ誘導								2
	6109	その他	1					2	1	
洗髪方法の工夫	6201	顔に湯がかからない工夫					5	6	2	1
	6202	一部分から								
	6203	湯船につかったり、洗身してから						1		
	6204	不安を除きながら					1	1	2	3
	6205	洗髪後の手入れを行う	1				1	1	1	
	6206	髪を染めるため								
	6207	介助者が一緒に						1		
	6208	自分の方法で、任せる							1	1
	6209	湯舟の中で								
	6210	洗身と続けて								
	6211	素早く行う					1	1		
	6212	洗髪時間の調整								
	6213	湯おけ、手ぬぐい等の工夫								
	6214	その他	1	2						
洗髪環境の調整	6301	好きなシャンプー、リンスを使用					1	2	1	1
	6302	浴室温度調整					1	1		2
	6303	湯温調整						1		
	6304	その他		1				1		
介助者の工夫	6401	仲の良い人と一緒に入浴						2		
	6402	1人で								
	6403	家族と								
	6404	介助者の工夫								
	6405	複数のスタッフ								
	6406	その他						1		
その他	6501	洗髪の効能を説明					2	3		
	6502	コンプレックスを確認								
	6503	信頼関係の構築					1		1	
	6504	医者の指示								
	6505	その他	1	1			1	1	1	
		列記なし								

【比率】										
大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0
声かけ・誘導の工夫	6101	声かけの態度を工夫					14.3		33.3	66.7
	6102	単純な声かけ							33.3	
	6103	おれやねぎらい						14.3	33.3	
	6104	家族からの依頼								
	6105	歌をうたいながら								
	6106	好きな話題で会話しながら					14.3	14.3		
	6107	仲の良い人から誘導		50.0				42.9		33.3
	6108	入浴という言葉を選んだ誘導								66.7
	6109	その他	50.0					28.6	33.3	
洗髪方法の工夫	6201	顔に湯がかからない工夫					71.4	85.7	66.7	33.3
	6202	一部分から								
	6203	湯船につかったり、洗身してから						14.3		
	6204	不安を除きながら					14.3	14.3	66.7	100.0
	6205	洗髪後の手入れを行う	50.0				14.3	14.3	33.3	
	6206	髪を染めるため								
	6207	介助者が一緒に						14.3		
	6208	自分の方法で、任せる							33.3	33.3
	6209	湯舟の中で								
	6210	洗身と続けて								
	6211	素早く行う					14.3	14.3		
	6212	洗髪時間の調整								
	6213	湯おけ、手ぬぐい等の工夫								
	6214	その他	50.0	100.0						
洗髪環境の調整	6301	好きなシャンプー、リンスを使用					14.3	28.6	33.3	33.3
	6302	浴室温度調整					14.3	14.3		66.7
	6303	湯温調整						14.3		
	6304	その他		50.0				14.3		
介助者の工夫	6401	仲の良い人と一緒に入浴						28.6		
	6402	1人で								
	6403	家族と								
	6404	介助者の工夫								
	6405	複数のスタッフ								
	6406	その他						14.3		
その他	6501	洗髪の効能を説明					28.6	42.9		
	6502	コンプレックスを確認								
	6503	信頼関係の構築					14.3		33.3	
	6504	医師の指示								
	6505	その他	50.0	50.0			14.3	14.3	33.3	
		列記なし								

(付表9-1) 清拭拒否場面での大分類別アセスメント視点列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	2	2	0	0	0	0	2	2
	列記あり	2	2					2	2
100	認知能力							1	2
200	健康面		1					1	1
300	能力・機能								
400	心理面	1	1					3	2
500	清拭方法	1	1					1	2
600	拒否時の状態								
700	入浴習慣							2	2
800	人間関係	1	1					1	1
900	介護者の対応							3	2
1000	その他							1	
	列記なし(注)								

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0					100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0					100.0	100.0
100	認知能力							50.0	100.0
200	健康面		50.0					50.0	50.0
300	能力・機能								
400	心理面	50.0	50.0					150.0	100.0
500	清拭方法	50.0	50.0					50.0	100.0
600	拒否時の状態								
700	入浴習慣							100.0	100.0
800	人間関係	50.0	50.0					50.0	50.0
900	介護者の対応							150.0	100.0
1000	その他							50.0	
	列記なし(注)								

(注) 大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表9-2) 清拭拒否場面での小分類別アセスメント視点の変化

【実数】										
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	2	2	0	0	0	0	2	2
		列記あり	2	2					2	2
認知能力	101	認知機能							1	1
	102	認知症の種類								
	103	見当識								1
	104	妄想の有無								
健康面	201	現病・既往歴								
	202	バイタル		1					1	
	203	失禁の有無								
	204	排泄状況								
	205	清潔度								1
	206	食欲								
	207	睡眠時間・状況								
	208	皮膚疾患								
	209	生理								
能力・機能	301	歩行・下肢機能								
	302	着脱能力								
	303	言語理解								
	304	上肢機能								
心理面	401	気分							1	1
	402	本人の気持ち、意志	1	1					2	1
	403	興味・関心								
清拭方法	501	清拭時間帯	1						1	1
	502	清拭タオルの温度								1
	503	室温		1						
	504	環境、雰囲気								
拒否時の状態 入浴習慣	601	清拭拒否の開始時期								
	701	入浴習慣(自宅)								1
	702	浴室環境(自宅)							1	
	703	生活歴(幼少期から)								
	704	過去の入浴体験							1	1
人間関係	801	他の入居者との関係								
	802	スタッフとの関係	1	1					1	1
	803	家族関係								
介護者の対応	901	スタッフの声かけ内容・見守り方							1	1
	902	介護者の性別							2	1
	903	介助者の人数								
その他	1001	性別								
	1002	性別								
	1003	下着の状態							1	
	1004	趣味								
	1005	着替えのストック								
		列記なし								

【比率】										
大分類	小分類コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0					100.0	100.0
		列記あり	100.0	100.0					100.0	100.0
認知能力	101	認知機能							50.0	50.0
	102	認知症の種類								
	103	見当識								50.0
	104	妄想の有無								
健康面	201	現病・既往歴								
	202	バイタル		50.0					50.0	
	203	失禁の有無								
	204	排泄状況								
	205	清潔度								50.0
	206	食欲								
	207	睡眠時間・状況								
	208	皮膚疾患								
	209	生理								
能力・機能	301	歩行・下肢機能								
	302	着脱能力								
	303	言語理解								
	304	上肢機能								
心理面	401	気分							50.0	50.0
	402	本人の気持ち、意志	50.0	50.0					100.0	50.0
	403	興味・関心								
清拭方法	501	清拭時間帯	50.0						50.0	50.0
	502	清拭タオルの温度								50.0
	503	室温		50.0						
	504	環境、雰囲気								
拒否時の状態 入浴習慣	601	清拭拒否の開始時期								
	701	入浴習慣(自宅)								50.0
	702	浴室環境(自宅)							50.0	
	703	生活歴(幼少期から)								
	704	過去の入浴体験							50.0	50.0
人間関係	801	他の入居者との関係								
	802	スタッフとの関係	50.0	50.0					50.0	50.0
	803	家族関係								
介護者の対応	901	スタッフの声かけ内容・見守り方							50.0	50.0
	902	介護者の性別							100.0	50.0
	903	介助者の人数								
その他	1001	性別								
	1002	性別								
	1003	下着の状態							50.0	
	1004	趣味								
	1005	着替えのストック								
		列記なし								

(付表9-3) 清拭拒否場面での大分類別ケア列記数の変化

【実数】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	2	2	0	0	1	1	2	2
	列記あり	2	2			1	1	2	2
5100	声かけの工夫					1			1
5200	誘導の工夫								2
5300	清拭方法の工夫	2	1				1		3
5400	清拭環境の調整		1						
5500	介助者の工夫	1	1					2	2
5600	その他							2	
	列記なし(注)								

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、回答者数を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

【比率】

大分類 コード	大分類名	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
		使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
	有効回答数	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0
	列記あり	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0
5100	声かけの工夫					100.0			50.0
5200	誘導の工夫								100.0
5300	清拭方法の工夫	100.0	50.0				100.0		150.0
5400	清拭環境の調整		50.0						
5500	介助者の工夫	50.0	50.0					100.0	100.0
5600	その他							100.0	
	列記なし(注)								

(注)大分類は、個別分類の延べ回答数を積算したものであり、100%を上回る場合がある

「列記なし」は、課題として認めたものの、具体的内容を列記していないもの

(付表9-4) 清拭拒否場面での小分類別ケア方法の変化

【実数】

大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	2	2	0	0	1	1	2	2
		列記あり	2	2			1	1	2	2
声かけの工夫	5101	声かけの態度の工夫								
	5102	声かけを簡単に								
	5103	おれやねがらいを								
	5104	本人のペースで声かけ								1
	5105	好きな話題をしながら								
	5106	温泉に誘う								
	5107	脱衣時に誘う					1			
誘導の工夫	5201	家族からの依頼								
	5202	内科受診のため								
	5203	薬を塗るため								
	5204	清潔、血行など効果を説明								1
	5205	他者から誘導								
	5206	介助者と一緒に								
	5207	入浴前に活動(散歩)する								1
	5208	医者の指示と伝える								
清拭方法の工夫	5301	暖かいタオルを渡し自分で								2
	5302	部分から開始	1					1		
	5303	トイレ時に実施								
	5304	清拭時間を本人のペースで								1
	5305	気持ちをくつろがせる	1	1						
清拭環境の調整	5401	温度調節		1						
	5402	清拭布の温度								
	5403	清拭場所の調整								
	5404	1人で								
介助者の工夫	5501	信頼関係が出来ている介助者	1	1					2	2
	5502	複数のスタッフ								
	5503	家族の協力								
その他	5601	コンプレックスを確認								
	5602	バイタル測定							1	
	5603	コミュニケーション							1	
	5604	その他								
		列記なし								

【比率】

大分類	小分類 コード	小分類	初任者チェック表使用群		初任者チェック表未使用群		介護経験1年～3年群		介護経験4年以上群	
			使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後	使用前	20日後
		有効回答数	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0
		列記あり	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0
声かけの工夫	5101	声かけの態度の工夫								
	5102	声かけを簡単に								
	5103	おれやねがらいを								
	5104	本人のペースで声かけ								50.0
	5105	好きな話題をしながら								
	5106	温泉に誘う								
	5107	脱衣時に誘う					100.0			
誘導の工夫	5201	家族からの依頼								
	5202	内科受診のため								
	5203	薬を塗るため								
	5204	清潔、血行など効果を説明								50.0
	5205	他者から誘導								
	5206	介助者と一緒に								
	5207	入浴前に活動(散歩)する								50.0
	5208	医者の指示と伝える								
清拭方法の工夫	5301	暖かいタオルを渡し自分で								100.0
	5302	部分から開始	50.0					100.0		
	5303	トイレ時に実施								
	5304	清拭時間を本人のペースで								50.0
	5305	気持ちをくつろがせる	50.0	50.0						
清拭環境の調整	5401	温度調節		50.0						
	5402	清拭布の温度								
	5403	清拭場所の調整								
	5404	1人で								
介助者の工夫	5501	信頼関係が出来ている介助者	50.0	50.0					100.0	100.0
	5502	複数のスタッフ								
	5503	家族の協力								
その他	5601	コンプレックスを確認								
	5602	バイタル測定							50.0	
	5603	コミュニケーション							50.0	
	5604	その他								
		列記なし								

2. 調査の流れ

～認知症介護チェックシートモニター調査の流れ～

1. 事前調査①

- ①チェックシート未使用者も含めた対象者全員への事前調査実施
- *調査回答者は参考本や資料などを参考にせず、自分の考えだけで記入する。

3. 調査票①の回収と返送

- ・調査票①はできるだけ早く回収し、センター宛に着払いで返送をお願いいたします。
- *調査票の返送時、チェックシート使用者と未使用者の調査票が分かるように、分けてまとめて返送してください。
- *経験年数については、1年未満とそれ以外と一緒にまとめてもかまいません。

4. チェックシート及び解説集の使用開始

- ・チェックシート及び解説集を使用しない対象者については、配布しないでください。可能であれば、チェックシート使用対象者とは別のケアチームが望ましいです。
- ・設定された9つの課題について、ケアをした後に、該当する課題のチェックシートにチェックしてもらってください。
- *チェックシート及び解説集については、対象者数分配布していますが、解説集巻末のコピー用チェックシートを必要数分コピーして使用してください。（コピーに係る軽費については、センター宛に請求してください）
- *チェックシートの記入については、該当課題へのケアを実施した都度にチェックを行ってもらうようにしてください。その際、1日の業務終了後にチェックしてもらうことも可能です。
- *解説集については、自由に参考にしてもらってかまいません。
- *チェックシートへのチェックは、該当課題に対して行ったケアや視点について、チェックシートの中から該当するものにチェックしてもらってください。
- *チェックシートについても、後日、回収しますので、できるだけ記入者氏名を記入してもらい、記入者ごとにまとめておいてください。

5. 中間調査

- ・使用開始してから10日目に中間調査を実施してください。
- ・調査票②をチェックシート未使用者を含む対象者全員に実施してください。
- *1回目の調査と同じ課題の調査用紙に回答してもらってください。
- *1回目の調査と同様にできるだけ、その場で記入してもらい、その場で回収してください。
- *調査票の氏名欄の記入漏れが無いか確認してください。

6. 調査票②の回収と返送

- ・調査票②もできるだけ早く回収し、センター宛に着払いで返送をお願いいたします。
- *調査票の返送時、チェックシート使用者と未使用者の調査票が分かるように、分けてまとめて返送してください。
- *経験年数については、1年未満とそれ以外と一緒にまとめてもかま

いません。

7. 記入済みチェックシートの回収と返送

- ・記入済みのチェックシートについて、記入者ごとに、記入日順にしてまとめて返送してください。
- *返送時は、調査票③と一緒に着払いで、センター宛に返送してください。
- *記入済みチェックシートについては、氏名や記入日のもれが無いか確認して、記入漏れがないようにしてください。

8. チェックシート及び解説集の使用終了

- ・3週間後にチェックシートの記入を終了してください。
- *残りの記入済みチェックシートを記入者毎にまとめて、記入日順にして返送してください。
- *返送時は着払いで、センター宛まで返送してください。
- *返送時の封筒代や調査に係った経費については、精算して請求書を送付してください。

9. 事後調査の実施と返送

- ・チェックシート記入終了直後あるいは、翌日に調査票③を実施してください。
- *調査票③をチェックシート未使用者も含めた、対象者全員に実施してください。
- *調査は本や資料などを参考にせず、自分の考えだけで記入してもらってください。
- *1回目、2回目の調査と同じ課題の調査用紙に回答してもらってください。
- *1回目、2回目の調査と同様にできるだけ、その場で記入してもらい、その場で回収してください。
- *氏名の記入漏れがないか確認してください。
- *調査票の返送時、チェックシート使用者と未使用者の調査票が分かるように、分けてまとめて返送してください。
- *記入済みチェックシートと一緒に、センター宛で、着払いにて返送をお願いいたします。

3. 調 査 票

認知症高齢者の支援方法に関する調査

一 調 査 票 ① 一

<ご記入に際してのお願い>

1. 選択による回答の場合はあてはまる番号を○で囲み、() 内にはなるべく具体的にその内容をご記入ください。
2. 回答の判断に迷われた時は、ご記入者の判断基準で回答してください。
3. ご記入がすみしましたら、お手数ですが、事業所の調査担当者の方にお渡ししてください。調査担当者の方は、回答者全員分をまとめて各調査票の指定期日までにご返送をお願いいたします。
4. 記入上の不明な点、調査についてお問い合わせは、下記までお願いします。

認知症介護研究・研修仙台センター
〒989-3201 宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘6-149-1
TEL:022-303-7550 FAX 022-303-7570
E-mail tecchan@dcnet.gr.jp 担当：阿部・工藤

I。調査票に記入される方についてお伺いします。

記入者について該当する項目にご記入ください。
選択による回答はあてはまるところに○を、それ以外については回答をご記入ください。

記入日	2011年 月 日		
氏 名		施設名	
年 齢	歳	性 別	1. 男性 2. 女性
学 歴	1. 高校 2. 専門学校（福祉系） 3. 専門学校（福祉系以外） 4. 短大（福祉系） 5. 短大（福祉系以外） 6. 大学（福祉系） 7. 大学（福祉系以外） 8. その他（ ）		
卒業後年数	年 ヶ月	入職年齢 （今の施設）	歳
職 務 名	1. ケアワーカー 2. ソーシャルワーカー（相談員） 3. ケアマネージャー（計画作成担当者） 4. 看護師 5. その他（ ）		
資 格（複数回答可）	1. 看護師（准看護師） 2. 介護福祉士 3. 社会福祉士 4. ケアマネージャー 5. ヘルパー 6. 理学療法士 7. 作業療法士 8. 栄養士 9. 社会福祉主事 10. その他（ ）		

現在の施設での勤続年数	年	ヶ月
今までの介護業務の総経験年数	年	ヶ月
今までの認知症介護の総経験年数	年	ヶ月
● 所属している事業所の種類 1. 介護老人福祉施設 2. 介護老人福祉施設（ユニット型） 3. 認知症対応型共同生活介護事業所 4. 小規模多機能型居宅介護事業所 5. 通所介護 6. その他（ ）		
● 所属事業所の開設年数	年	ヶ月
● 所属事業所全体の利用者定員	名	
● あなたが所属しているユニットやフロアのスタッフは、あなたを入れて何人いますか。（出勤者ではなく、登録職員数）	常 勤	名
	非常勤	名
● あなたが所属しているユニットやフロアの利用者定員は何名ですか	名	

Ⅱ。認知症介護に関する教育や研修の状況についてお伺いします。
 あてはまる番号に○をつけるか、適当な数字を記入してください。

● 現在所属している事業所以外で、過去に認知症に関する研修や講義等は受けたことがありますか あてはまるもの全てに○をつけてください。
1. 学校（高校、専門学校、短大、大学）で学んだことがある 2. 他の事業所の事業所内研修で学んだことがある 3. 地域で行っている認知症の講演会やセミナーに参加したことがある 4. 民間が行っている認知症の研修に参加したことがある→（研修名： ） 5. その他（ ）
● あなたが所属する事業所の中で、研修会はどれくらい行われていますか。（事業所内研修会のみ）
1. 全く行われていない 2. たまに不定期で行われている 3. 年に1回行われている 4. 年に2回行われている 5. 年に3回行われている 6. 年に4回行われている 7. 2ヶ月に1回行われている 8. 毎月行われている 9. 月に数回、頻繁に行われている
● 平成22年度1年間に、事業所内で行われた研修会全ての中で、認知症に関する研修は何回くらいありますか。（参加していないものも含む）
認知症に関する研修 ____回 / 平成22年度に行われた事業所内の研修全て ____回
● 現在所属している事業所内で行われ、参加した研修会全ての中で、認知症に関する研修は何回ありましたか。（過去の研修を含む）
参加した認知症に関する研修 ____回 / 参加した事業所内の研修全て ____回
● 現在の事業所内で実施され、参加した認知症に関する研修は、どのような内容でしたか。 あてはまるもの全てに○をつけてください。（過去に受けた研修全て）
1. 認知症の基礎知識 2. 認知症高齢者の心理 3. 認知症に関する法制度 4. 介護家族の理解 5. 認知症介護の理念 6. 認知症高齢者の生活支援 7. コミュニケーション 8. BPSDの対応 9. 三大介護の方法 10. リスクマネジメント 11. 環境づくり 12. ケアマネジメント 13. パーソンセンタードケア 14. 地域支援 15. サービスや資源の理解 16. センター方式 17. ひもときシート 18. バリデーションセラピー 19. その他（ ）

●現在の事業所に勤務してから、事業所外で行われ、参加した研修会全ての中で、認知症に関する研修会に何回参加しましたか。（過去の研修を含む）

認知症に関する研修 回 / 参加した事業所外の研修全て 回

●事業所外で実施された、今まで参加した認知症に関する研修は、どのような内容でしたか。
 あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 認知症の基礎知識
2. 認知症高齢者の心理
3. 認知症に関する法制度
4. 介護家族の理解
5. 認知症介護の理念
6. 認知症高齢者の生活支援
7. コミュニケーション
8. BPSDの対応
9. 三大介護の方法
10. リスクマネジメント
11. 環境づくり
12. ケアマネジメント
13. パーソンセンタードケア
14. 地域支援
15. サービスや資源の理解
16. センター方式
17. ひもときシート
18. バリテーションセラピー
19. タクティールケア
20. 認知症介護実践者研修
21. 認知症介護実践リーダー研修
22. その他（ ）

● 認知症介護について、職場の先輩あるいはリーダーの指導方法はどのようなですか。
あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 特に助言や指導はない
2. 質問をすればアドバイスしてくれる
3. 業務中に、適時、指導や助言をしてくれる
4. ケアカンファレンスや会議の時に指導や助言をしてくれる
5. 時間を決めて定期的に、相談したり、指導してくれる機会がある
6. 教育や指導の担当者がいて、好きなときに相談できる
7. マンツーマンの指導担当者がいる
8. その他（

●先輩やリーダーの指導に満足していますか。不満を選択した方は理由も記入してください。

1. とても満足 2. まあまあ満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満
不満の理由()

●自己学習についてお伺いします。
認知症や介護についてどのように勉強していますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 自分では特に勉強していない
2. 本や書籍、雑誌、映像教材等を利用して勉強している
3. 個人で、勉強会や研修会に参加するようにしている
4. 先輩のケアやケアプランを見ながら勉強している
5. その他（

●認知症について、自分で勉強する時にどのような内容について勉強していますか

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------------|
| 1. 認知症の種類 | 2. 認知症の症状 | 3. 認知症高齢者の心理 |
| 4. 家族の心理や支援方法 | 5. 認知症介護の理念 | 6. 認知症高齢者の生活支援 |
| 7. コミュニケーション | 8. BPSDの対応 | 9. 三大介護の方法 |
| 10. リスクマネジメント | 11. 環境づくり | 12. ケアマネジメント |
| 13. パーソンセンタードケア | 14. 地域支援 | 15. サービスや資源の理解 |
| 16. センター方式 | 17. ひもときシート | 18. バリデーションセラピー |
| 19. タクティールケア | 20. 認知症介護実践者研修 | 21. 認知症介護実践リーダー研修 |
| 22. その他（ ） | | |

●認知症介護について、今まで最も役に立った教材や方法について教えてください。

1. 本 → ()
2. 雑誌 → ()
3. 映像教材 → ()
4. 研修会、勉強会 → ()
5. その他 ()

Ⅲ. 現在、あなたが関わっている高齢者の方々について、以下のような場面は見られますか。
 あてはまるもの全てに○をつけてください。
 ○をつけた場面については、指定ページの調査にお答えください。
 あてはまる場面が複数ある場合は、該当する調査すべてについてお答えください。
 あてはまらない場面に関する調査については回答しなくても結構です。

生活上の課題	よく 見られる	調査 ページ
【食事の中断】 食事中に、急に食事を止めてしまい全く何にも手をつけなくなってしまう		p 4
【食事の拒否】 食事に誘っても、食べたくないと食事を食べない		p 5
【食事の過剰要求】 自分の食事が終わっても、他人の食事を取って食べたり、食べるものを要求する。		p 6
【放尿】 廊下の端や、庭の隅っこなどトイレ以外のところであちこちにおしっこをしてしまう		p 7
【排泄介護の拒否】 おむつにおしっこをしたまま何時間も経っているので、交換しようとする、抵抗し、交換ができない		p 8
【排泄誘導の拒否】 失禁が多くなってきたので、トイレに行くよう促すと嫌がって、抵抗する		p 9
【入浴の拒否】 入浴に誘うといつも入浴を嫌がり、何日もお風呂に入っていない		p 10
【洗髪の拒否】 入浴時、洗髪を嫌がり、1週間以上洗髪をしていない		p 11
【清拭の拒否】 入浴が嫌いなため、清拭をしようとする、嫌がり、何日も清拭できない		p 12

【食事の中断】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、食事中に、急に食事を止めてしまい全く何にも手をつけなくなってしまいました。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	最近の食事量			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	一端、席を離れ、しばらくしてから食事に誘ってみる	無理強いせずに、本人の気持ちを尊重することが重要だから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【食事の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、食事に誘っても、食べたくないと食事を食べません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	最近の食事量			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	自分の部屋に移動して、食事を勧めてみる	大勢で食べると落ち着かないかもしれないので
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【食事の過剰要求】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、自分の食事が終わっても、他人の食事を取って食べたり、何回も食べるものを要求してきます。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 最近の食事量			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	一端、席を離れ、好きな活動に誘ってみる	食事への興味が強すぎるので、 興味の対象を変えてみるため
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【放尿】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、廊下の端や、庭の隅っこなど、トイレ以外のところで
あちこちにおしっこをします。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	トイレの表示		

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例)	トイレの表示を大きく、見やすいように「便所」と書いてはる	トイレの場所がわかりにくいかもしれないので
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【排泄介護の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、おむつにおしっこをしたまま、何時間も経っているので交換しようとする、抵抗し、交換ができません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 排尿の感覚や自覚			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	排尿のリズムを確認し、時間を決めてトイレに誘ってみる	排尿の感覚がないかもしれないので
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【排泄誘導の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、失禁が多くなってきたので、トイレに行くよう促すと嫌がって抵抗します。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 職員への信頼感			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	信頼関係ができている仲の良い職員が誘ってみる	信頼関係ができていないことで、抵抗感があるかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【入浴の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、入浴に誘うといつも入浴を嫌がり、何日もお風呂に入っていません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	過去の入浴習慣			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例)	脱衣所や浴室を暖かくしてみる	浴室が寒いのかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【洗髪の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、入浴時、洗髪を嫌がり、1週間以上も洗髪をしていません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 過去の洗髪習慣			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	床屋に誘って、洗髪してもらう	床屋だと安心するかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【清拭の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、入浴が嫌いなため、清拭をしようとすると、嫌がり、何日も清拭ができません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 清拭時の誘い方			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	排泄時の介助の時に、一緒に身体も拭いてみる	排泄介助の時なら、納得するかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

年度末の大変お忙しい中、ご協力、誠にありがとうございました。

質問項目が大変多く、ご負担をおかけしましたことをお詫びもうしあげます。

ご回答いただきましたデータは、大変貴重な情報として厳重に管理させていただくとともに、認知症の方へのよりよい支援方法を探求するために、活用させていただきたいと思います。

認知症高齢者の支援方法に関する調査

一 調 査 票 ② 一

＜ご記入に際してのお願い＞

1. 選択による回答の場合はあてはまる番号を○で囲み、（ ）内にはなるべく具体的にその内容をご記入ください。
2. 回答の判断に迷われた時は、ご記入者の判断基準で回答してください。
3. ご記入がすみましたら、お手数ですが、事業所の調査担当者の方にお渡ししてください。調査担当者の方は、回答者全員分をまとめて各調査票の指定期日までにご返送をお願いいたします。
4. 記入上の不明な点、調査についてお問い合わせは、下記までお願いします。

認知症介護研究・研修仙台センター
〒989-3201 宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘6-149-1
TEL:022-303-7550 FAX 022-303-7570
E-mail tecchan@dcnet.gr.jp 担当：阿部・工藤

調査票に記入される方についてお伺いします。

記入者について該当する項目にご記入ください。
選択による回答はあてはまる場所に○を、それ以外については回答をご記入ください。

記入日	2011年 月 日		
氏 名		施設名	

- I. 1回目の調査で回答した調査と同じ調査ページを選択して、回答してください。
 1回目の調査で選択した課題に○をつけてください。
 ○をつけた課題の調査ページについて、回答してください。

生活上の課題	1回目に 選択した 課題	調査 ページ
【食事の中断】 食事中に、急に食事を止めてしまい全く何にも手をつけなくなってしまう		p 4
【食事の拒否】 食事に誘っても、食べたくないと食事を食べない		p 5
【食事の過剰要求】 自分の食事が終わっても、他人の食事を取って食べたり、食べるものを要求する。		p 6
【放尿】 廊下の端や、庭の隅っこなどトイレ以外のところであちこちにおしっこをしてしまう		p 7
【排泄介護の拒否】 おむつにおしっこをしたまま何時間も経っているので、交換しようとする、抵抗し、交換ができない		p 8
【排泄誘導の拒否】 失禁が多くなってきたので、トイレに行くよう促すと嫌がって、抵抗する		p 9
【入浴の拒否】 入浴に誘うといつも入浴を嫌がり、何日もお風呂に入っていない		p 10
【洗髪の拒否】 入浴時、洗髪を嫌がり、1週間以上洗髪をしていない		p 11
【清拭の拒否】 入浴が嫌いなため、清拭をしようとする、嫌がり、何日も清拭できない		p 12

【食事の中断】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、食事中に、急に食事を止めてしまい全く何にも手をつけなくなってしまいました。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	最近の食事量			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	一端、席を離れ、しばらくしてから食事に誘ってみる	無理強いせずに、本人の気持ちと尊重することが重要だから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【食事の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、 食事に誘っても、食べたくないと食事を食べません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	最近の食事量			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例)	自分の部屋に移動して、食事を勧めてみる	大勢で食べると落ち着かないかもしれないので
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【食事の過剰要求】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、自分の食事が終わっても、他人の食事を取って食べたり、何回も食べるものを要求してきます。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	最近の食事量			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例)	一端、席を離れ、好きな活動に誘ってみる	食事への興味が強すぎるので、 興味の対象を変えてみるため
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【放尿】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、廊下の端や、庭の隅っこなど、トイレ以外のところであちこちにおしっこをしまいます。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) トイレの表示			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	トイレの表示を大きく、見やすいように「便所」と書いてはる	トイレの場所がわかりにくいかもしれないので
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【排泄介護の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、おむつにおしっこをしたまま、何時間も経っているので交換しようとする、抵抗し、交換ができません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	排尿の感覚や自覚		

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	排尿のリズムを確認し、時間を決めてトイレに誘ってみる	排尿の感覚がないかもしれないので
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【排泄誘導の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、失禁が多くなってきたので、トイレに行くよう促すと嫌がって抵抗します。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 職員への信頼感			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	信頼関係ができている仲の良い職員が誘ってみる	信頼関係ができていないことで、抵抗感があるかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【入浴の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、入浴に誘うといつも入浴を嫌がり、何日もお風呂に入っていません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 過去の入浴習慣			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	脱衣所や浴室を暖かくしてみる	浴室が寒いのかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【洗髪の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、入浴時、洗髪を嫌がり、1週間以上も洗髪をしていません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 過去の洗髪習慣			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	床屋に誘って、洗髪してもらう	床屋だと安心するかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【清拭の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、入浴が嫌いなため、清拭をしようとすると、嫌がり、何日も清拭ができません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 清拭時の誘い方			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	排泄時の介助の時に、一緒に身体も拭いてみる	排泄介助の時なら、納得するかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

年度末の大変お忙しい中、ご協力、誠にありがとうございました。

質問項目が大変多く、ご負担をおかけしましたことをお詫びもうしあげます。

ご回答いただきましたデータは、大変貴重な情報として厳重に管理させていただくとともに、認知症の方へのよりよい支援方法を探求するために、活用させていただきたいと思います。

認知症高齢者の支援方法に関する調査

一 調 査 票 ③ 一

＜ご記入に際してのお願い＞

1. 選択による回答の場合はあてはまる番号を○で囲み、（ ）内にはなるべく具体的にその内容をご記入ください。
2. 回答の判断に迷われた時は、ご記入者の判断基準で回答してください。
3. ご記入がすみましたら、お手数ですが、事業所の調査担当者の方にお渡ししてください。調査担当者の方は、回答者全員分をまとめて各調査票の指定期日までにご返送をお願いいたします。
4. 記入上の不明な点、調査についてお問い合わせは、下記までお願いします。

認知症介護研究・研修仙台センター
〒989-3201 宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘6-149-1
TEL:022-303-7550 FAX 022-303-7570
E-mail tecchan@dcnet.gr.jp 担当：阿部・工藤

調査票に記入される方についてお伺いします。

記入者について該当する項目にご記入ください。
選択による回答はあてはまるところに○を、それ以外については回答をご記入ください。

記入日	2011年 月 日		
氏 名		施設名	

- I. 1回目と2回目の調査で回答した調査と同じ調査ページを選択して、回答してください。
 1回目と2回目の調査で選択した課題に○をつけてください。
 ○をつけた課題の調査ページについて、回答してください。

生活上の課題	1回目 2回目 に 選択した 課題	調査 ページ
【食事の中断】 食事中に、急に食事を止めてしまい全く何にも手をつけなくなってしまう		p 4
【食事の拒否】 食事に誘っても、食べたくないと食事を食べない		p 5
【食事の過剰要求】 自分の食事が終わっても、他人の食事を取って食べたり、食べるものを要求する。		p 6
【放尿】 廊下の端や、庭の隅っこなどトイレ以外のところであちこちにおしっこをしてしまう		p 7
【排泄介護の拒否】 おむつにおしっこをしたまま何時間も経っているので、交換しようとする、抵抗し、交換ができない		p 8
【排泄誘導の拒否】 失禁が多くなってきたので、トイレに行くよう促すと嫌がって、抵抗する		p 9
【入浴の拒否】 入浴に誘うといつも入浴を嫌がり、何日もお風呂に入っていない		p 10
【洗髪の拒否】 入浴時、洗髪を嫌がり、1週間以上洗髪をしていない		p 11
【清拭の拒否】 入浴が嫌いなため、清拭をしようとする、嫌がり、何日も清拭できない		p 12

【食事の中断】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、食事中に、急に食事を止めてしまい全く何にも手をつけなくなってしまいました。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	最近の食事量			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	一端、席を離れ、しばらくしてから食事に誘ってみる	無理強いせずに、本人の気持ちと尊重することが重要だから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【食事の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、 食事に誘っても、食べたくないと食事を食べません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	最近の食事量			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例)	自分の部屋に移動して、食事を勧めてみる	大勢で食べると落ち着かないかもしれないので
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【食事の過剰要求】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、自分の食事が終わっても、他人の食事を取って食べたり、何回も食べるものを要求してきます。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例)	最近の食事量			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例)	一端、席を離れ、好きな活動に誘ってみる	食事への興味が強すぎるので、 興味の対象を変えてみるため
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【放尿】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、廊下の端や、庭の隅っこなど、トイレ以外のところであちこちにおしっこをしています。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) トイレの表示			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	トイレの表示を大きく、見やすいように「便所」と書いてはる	トイレの場所がわかりにくいかもしれないので
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【排泄介護の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、おむつにおしっこをしたまま、何時間も経っているので交換しようとする、抵抗し、交換ができません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 排尿の感覚や自覚			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	排尿のリズムを確認し、時間を決めてトイレに誘ってみる	排尿の感覚がないかもしれないので
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【排泄誘導の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、失禁が多くなってきたので、トイレに行くよう促すと嫌がって抵抗します。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 職員への信頼感			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	信頼関係ができている仲の良い職員が誘ってみる	信頼関係ができていないことで、抵抗感があるかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【入浴の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、入浴に誘うといつも入浴を嫌がり、何日もお風呂に入っていません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 過去の入浴習慣			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	脱衣所や浴室を暖かくしてみる	浴室が寒いのかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【洗髪の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、入浴時、洗髪を嫌がり、1週間以上も洗髪をしていません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 過去の洗髪習慣			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	床屋に誘って、洗髪してもらう	床屋だと安心するかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

【清拭の拒否】場面への支援に関する調査

〇〇さんは、入浴が嫌いなため、清拭をしようとすると、嫌がり、何日も清拭ができません。

- ① あなたがこのような状況に関わる時に、何に着目しますか。
又、どのような情報が必要だと思いますか。
思い付くものをできるだけ多く挙げて、以下の記入欄に記入してください。

例) 清拭時の誘い方			

- ② あなたはこのような状況について、どのようなケアをしますか。
又、その理由はなんですか
思い付くものをできるだけ具体的に、たくさん挙げて記入してください。

ケアの方法		理 由
例	排泄時の介助の時に、一緒に身体も拭いてみる	排泄介助の時なら、納得するかもしれないから
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

年度末の大変お忙しい中、ご協力、誠にありがとうございました。

質問項目が大変多く、ご負担をおかけしましたことをお詫びもうしあげます。

ご回答いただきましたデータは、大変貴重な情報として厳重に管理させていただくとともに、認知症の方へのよりよい支援方法を探求するために、活用させていただきたいと思います。

平成 22 年度 認知症介護研究・研修仙台センター
運営事業費研究事業

認知症介護における初任者養成手法の開発に関する研究

平成 23 年 3 月発行

発行者 認知症介護研究・研修仙台センター
センター長 加藤 伸 司
制 作 株式会社 ホクトコーポレーション
仙台市青葉区上愛子字堀切 1-13
TEL (022) 391-5661 (代)
